

「超少子高齢化地域での先進的がん医療人養成（北信がんプロ）」

外部評価委員会議事次第

日 時：平成31年3月8日(金曜日) 14時30分～16時00分
場 所：金沢大学医学類B棟1階応接室

(進行) 統括コーディネーター 金沢大学附属病院がんセンター教授 矢野 聖二

I. 開会挨拶

金沢大学基幹教育改革・附属病院担当理事 大竹 茂樹

II. 議 事

1. 配付資料確認
2. 外部評価の手順、確認 (資料1)
3. 活動状況報告（北信がんプロ全体） (資料2)
(発表30分、質疑応答15分 計45分)
4. 活動状況報告（連携各大学） (資料3)
(発表5分程度、質疑応答5分 計60分程度)
 - ① 信州大学 包括的がん治療学教授 小泉 知展
 - ② 富山大学 附属病院臨床腫瘍部教授 林 龍二
 - ③ 福井大学 がん診療推進センター教授 片山 寛次
 - ④ 金沢医科大学 腫瘍内科学教授 元雄 良治
 - ⑤ 石川県立看護大学 成人看護学領域教授 牧野 智子
 - ⑥ 金沢大学 附属病院がんセンター教授 矢野 聖二
5. 評価委員・コーディネーター意見交換
6. 各外部評価委員からの講評
7. 松浦成昭外部評価委員長 講評（総括）

III. 閉会挨拶

金沢大学医薬保健学総合研究科長 堀 修

IV. 閉 会 (16:00 終了予定)

配付資料

- 資料 1 外部評価委員会の手順、確認
- 資料 2 「超少子高齢化地域での先進的がん医療人養成（北信がんプロ）」
活動状況報告資料（北信がんプロ全体 パワーポイント資料）
- 資料 3 「超少子高齢化地域での先進的がん医療人養成（北信がんプロ）」
活動状況報告資料（連携各大学（信州大・富山大・福井大・金沢医科大・
石川看護大・金沢大） パワーポイント資料）
- 資料 4 外部委員評価記入用紙（委員用）（総括）

（参考資料）

- 資料 5 「超少子高齢化地域での先進的がん医療人養成（北信がんプロ）」
文部科学省 平成 29 年度多様な新ニーズに対応する「がん専門人材（が
んプロフェッショナル）養成プラン」公募申請書
- 資料 6 「超少子高齢化地域での先進的がん医療人養成（北信がんプロ）」
採択時の推進委員会からのコメント

外部評価の評価手順（平成30年度）

1. 外部評価委員会の各評価委員による評価

各評価委員がそれぞれ、委員個々の評価結果報告書を作成する。

(1) 評価にあたっては、「外部評価報告（委員提出用）」を用いて、中間評価（内部点検）活動状況と評価、運営協議会によるプレゼンテーション・質疑応答に基づき評価を行う。

(2) 当該評価報告書は、本プログラム担当ががんプロ事務局へメール等で提出し、事務局で一時お預かりした後、全ての委員からの報告が揃い次第、外部評価委員会委員長へメールにて送付・提出する。

※ 各委員からの外部評価報告 がんプロ事務局へ提出 3月18日（月）17時まで

2. 外部評価委員長による外部評価委員会評価結果（案）の作成

各評価委員からの評価報告を受けて、委員長が外部評価委員会としての評価結果（案）を作成する。その後、評価結果（案）を各評価委員へ送付し、評価委員は評価結果（案）を確認する。

各評価委員は、修正意見及び質問等があれば、その旨を任意の書式により記述し、事務局へ提出する。事務局は、意見等を整理して評価委員へ送付する。

評価委員長は、必要に応じて修正意見を踏まえた評価結果（修正案）を作成し、各評価委員へ送付する。委員長は、メール等で対応できない場合、審議の必要があると認めた場合は、外部評価委員会を再度開催する。

最終的に外部評価委員会としての外部評価結果を作成し、事務局へ通知する。

※ 外部評価（総括） 最終提出締切日 3月22日（金）17時まで

お忙しいところ、誠に恐縮ですが、文科省への取組調査等の報告期限もあり、上記日程にてご対応いただきたく、よろしくお願い致します。

諸事情により、ご対応が困難な場合は、お知らせください。

【問い合わせ先】金沢大学がんプロ事務局 担当 石塚・内山
TEL 076(234)4205、076(265)2854 FAX 076(265)2855
mail:gpro@med.kanazawa-u.ac.jp

平成31年3月8日（金）（金沢大学医学類B棟 応接室）

「超少子高齢化地域での先進的がん医療人養成」

北信がんプロ活動状況報告

事業責任者 矢野 聖二

金沢大学附属病院がんセンター

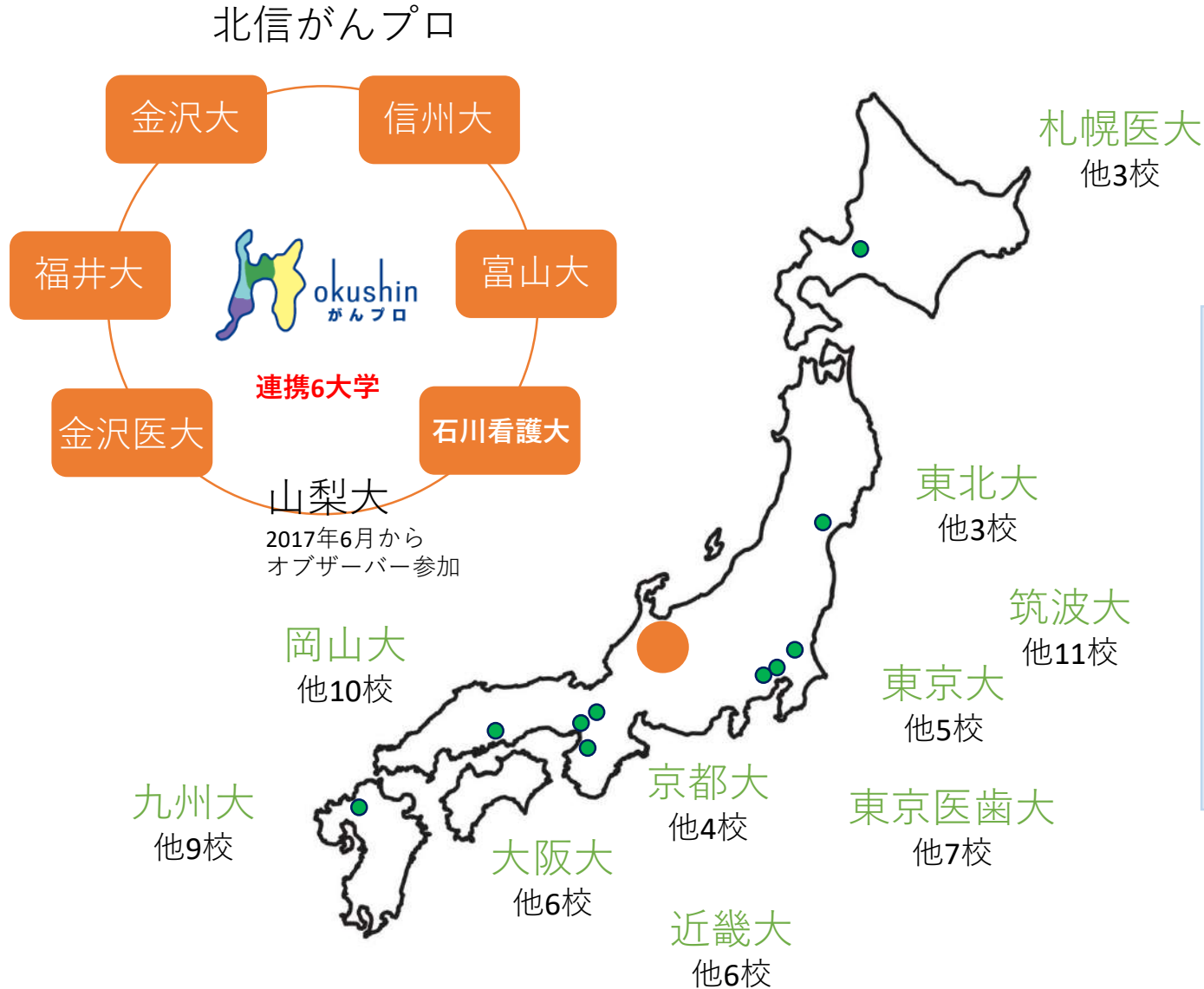
金沢大学がん進展制御研究所 腫瘍内科

WPI 金沢大学ナノ生命科学研究所

発表内容

- 1、北信がんプロの事業概要
- 2、北信がんプロの予算
- 3、H29年度外部評価委員会の結果
- 4、北信がんプロ事業計画と進捗
 - (1)教育コース受入れ状況と講義について
 - (2)地域がんデータベース
 - (3)スタッフ研修
 - (4)市民公開講座、啓発活動
- 5、今後の予定

全国11の「がんプロ」チーム



北信がんプロの事業

金沢大・がん進展制御研究所
国立がん研究センター

① 講義

全国e-learningクラウド
(筑波大学が主管)

がんゲノム、小児・AYA・希少がん、
ライフステージに関する教材を
教員が作成

④ スタッフ研修 (FD)

地域でのFD研修
がん拠点病院や
大学プログラムと連
携した研修会を実施

海外FD研修
ライフステージを
テーマとした研修
を今年度に予定
海外連携施設

② 演習 (多職種連携)

北信オンコロジーセミナー
ライフステージ事例検討会
(TV会議システムを使用)



⑤ 人材交流

国際シンポジウム

合同シンポジウム

他のがんプロ拠点
他の人材育成プログラム
「未来医療」、「認プロ」
「スーパードクター」等

北信4県のがん拠点病院等

北信4県の医師会

北信4県の自治体

③ 地域がん医療の特徴把握

地域がんデータベース
(院内がん登録データを活用)

小児・AYA世代・高齢者の
がんデータの把握→対策立案

⑥ 市民啓発・教育

市民公開講座・WEBでの広報
アンケートでニーズの把握

患者会

北信4県の自治体

北信4県の医師会

北信4県のがん拠点病院等

北信がんプロの教育に関する基本構想

北信地域における多様な新ニーズに対応できる知識を相互補完的に習得

1、北信6大学の強み

- ・ 金沢大：先進的な集学的個別化ゲノム医療
- ・ 信州大：がん診療に詳しい認定遺伝カウンセラー養成、
小児・AYA世代がん診療、
- ・ 金沢医大：希少がん病理診断や就学的治療・就労支援
- ・ 富山大：高齢者がん対策、福井大：先進的在宅緩和ケア、
- ・ 石川看護大：患者のライフステージに合わせた全人的ケア・認定看護師養成)

2、各々の強みを生かした相互補完的教育プログラムを20コース新設

(本科10コース、インテンシブ10コース)

大学の枠を超えて履修できる共通選択科目や単位互換を導入

3、TV会議システムを活用した遠隔教育システムの構築

多職種が最先端のゲノム医療、小児・AYA世代・高齢者がんや希少がん症例の研究、診断、治療、緩和ケア、就労支援等を効率的に学習

北信がんプロ実施体制

金沢大 信州大 富山大 福井大 金沢医大 石川看護大

学長連絡協議会

外部評価委員会

北信がんプロ運営協議会

- ・ 6大学
- ・ 地域医療機関
- ・ 医師会
- ・ 自治体
- ・ 患者会 等

総務委員会 教務委員会 オンコロジーセミナー委員会 がんデータベース委員会 広報委員会 企画委員会 **多職種連携会議**

運営一般 カリキュラム E-learning教材 など 演習計画 データベース作成法 解析法決定 成果発表法など管理 WEB管理 印刷物作成 など シンポジウム 市民公開講座 FD研修など 看護、保健、薬学系の事案 事例検討会の計画 など

各種委員会 委員リスト

大学名	総務委員会	教務委員会	広報委員会	がんデータベース委員会	オンコロジーセミナー委員会	企画委員会	多職種連携委員会
金沢大学	矢野 聖二	溝上 敦	大島 正伸	中田 光俊	矢野 聖二	絹谷 清剛	稲垣 美智子
	中田 光俊	鈴木 健之	吉崎 智一	土屋 弘行	中田 光俊	谷本 梓	多崎 恵子
		田嶋 敦		谷本 梓			武村 哲浩
		松下 良					松下 良
		武村 哲浩					崔 吉道
							笠島 里美
							徳丸 季聡
信州大学	田中 榮司	田中 榮司	塩沢 丹里	小泉 知展	小泉 知展	伊藤 研一	内田 緑
	小泉 知展	中沢 洋三		野見山 哲生	中沢 洋三		間宮 敬子
		小泉 知展		中沢 洋三	塩沢 丹里		
				塩沢 丹里	伊藤 研一		
				伊藤 研一			
富山大学	(主)林 龍二	(主)北村 寛	(主)新田 淳美	(主)林 龍二	(主)藤井 努	(主)北村 寛	(主)安田 智美
	(副)新田 淳美	(副)籾 秀人	(副)長田 拓哉	(副)関根 道和	(副)梶浦 新也	(副)櫻井 宏明	(副)八塚 美樹
							新田 淳美
福井大学	片山 寛次	小林 基弘	片山 寛次	吉田 好雄	片山 寛次	谷澤 昭彦	上野 栄一
	谷澤 昭彦	磯見 智恵	上野 栄一	黒川 哲司	谷澤 昭彦	山下 芳範	繁田 里美
	磯見 智恵	片山 寛次					
金沢医科大学	元雄 良治	下平 滋隆	犀川 太	西野 善一	安本 和生	山田 壮亮	影近 謙治
	下平 滋隆	川端 浩	新井田 要	浦本 秀隆	木南 伸一	川崎 康弘	北村 佳子
石川県立看護大学	石垣 和子	牧野 智恵	林 静子		今方 裕子	牧野 智恵	牧野 智恵
	牧野 智恵	金谷 雅代	磯 光江			松本 智里	金谷 雅代

会議はTV会議システムで開催

北信がんプロ

連携校責任者

福井大



片山寛次

金沢医大



元雄良治

金沢大



矢野聖二

石川看護大



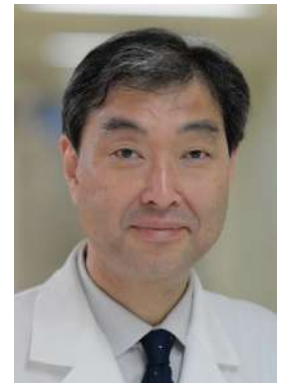
牧野智恵

富山大



林 龍二

信州大



小泉知展

北信がんプロ事務局(金沢大内)



内山 恵

石塚靖志

横川直子

発表内容

1、北信がんプロの事業概要

2、北信がんプロの予算

3、H29年度外部評価委員会の結果

4、北信がんプロ事業計画と進捗

(1)教育コース受入れ状況と講義について

(2)地域がんデータベース

(3)スタッフ研修

(4)市民公開講座、啓発活動

5、今後の予定

北信がんプロ 平成29年度予算内訳

(千円)

	共通	金沢大	信州大	富山大	福井大	医科大	看護大	合計
直接経費	27,053	24,390	15,871	12,371	13,626	11,007	12,272	116,590
間接経費	6,000	5,510	3,800	0	0	0	0	15,310
総事業費 間接経費含	35,557	29,900	19,000	12,230	13,626	11,007	10,580	131,900

北信がんプロ 平成30年度予算内訳

H29年度と比較し23%減額

(単位:千円)

	共通	金沢大	信州大	富山大	福井大	金沢 医科大	石川 看護大	合計
直接経費	25,998	12,000	19,580	9,580	13,992	8,570	6,700	96,420
間接経費	3,000	2,000	—	—	—	—	—	5,000
事業額	28,998	14,000	19,580	9,580	13,992	8,570	6,700	101,420

北信がんプロ 2019年度予算内訳

H30年度と比較し14.3%減額

(単位:千円)

	共通	金沢大	信州大	富山大	福井大	金沢 医科大	石川 看護大	合計
直接経費	22,369	10,800	16,700	7,700	11,500	7,700	6,100	82,869
間接経費	2,000	2,000	—	—	—	—	—	4,000
事業額	24,369	12,800	16,700	7,700	11,500	7,700	6,100	86,869

発表内容

- 1、北信がんプロの事業概要
- 2、北信がんプロの予算
- 3、H29年度外部評価委員会の結果**
- 4、北信がんプロ事業計画と進捗
 - (1)教育コース受入れ状況と講義について
 - (2)地域がんデータベース
 - (3)スタッフ研修
 - (4)市民公開講座、啓発活動
- 5、今後の予定

H29年度外部評価委員会

外部評価結果（総括）

外部評価委員

松浦成昭 全国がんプロ協議会会長
 石岡千加史 東北大学教授
 眞島善幸 患者会 NPOパンキャンジャパン理事長
 澁谷武志 シブヤEDI代表取締役

「超少子高齢化地域での先進的がん医療人養成（北信がんプロ）」

外部評価委員会議事次第

日時：平成30年3月16日（金曜日） 13時00分～15時30分
 場所：金沢大学医学類B棟1階応接室

（進行）統括コーディネーター 金沢大学附属病院がんセンター教授 矢野 聖二

I. 開会挨拶

金沢大学基幹教育改革・附属病院担当理事 大竹 茂樹

II. 議 事

1. 配付資料確認
2. 外部評価の手順、確認 (資料1)
3. 活動状況報告（北信がんプロ全体） (資料2)
 （発表30分、質疑応答15分 計45分）
4. 活動状況報告（連携各大学） (資料3)
 （発表5分程度、質疑応答5分 計60分程度）

① 信州大学 包括的がん治療学教授	小泉 知展
② 富山大学 附属病院臨床腫瘍学教授	林 龍二
③ 福井大学 がん診療推進センター教授	片山 寛次
④ 金沢医科大学 再生医療学教授	下平 滋隆
⑤ 石川県立看護大学 成人看護学領域教授	牧野 智子
⑥ 金沢大学 附属病院がんセンター教授	矢野 聖二
5. 評価委員・コーディネーター意見交換
6. 各外部評価委員からの講評
7. 松浦成昭外部評価委員長 講評（総括）

III. 閉会挨拶

金沢大学医薬保健学総合研究科長 堀 修

IV. 閉 会 (15:30 終了予定)

【評価結果】

- 問題や不十分な点はない。
- 一部問題や不十分な点がある。
- 全体的に不十分であるか、一部に重大な問題がある。

【実施状況に関するコメント】

北陸および信州地区の連携6大学がそれぞれの特徴を活かし連携しながら、第3期がんプロの事業のスタートを順調に切ったと全体的に評価できる。第3期がんプロのテーマであるゲノム医療、小児・AYA世代のがん、希少がん、ライフステージに対応するがん医療に対応する医療人の養成を6大学がそれぞれ分担する形を取っていることも優れた点である。事業計画によく練られた内容と新しい発想の取組みも盛り込まれて、非常に優れた内容である。初年度の取組み内容は、6大学の連携体制の構築、スタッフ研修、人材交流、市民啓発などが中心であるが、5年間の準備状況として高く評価できる。

（優れた点）

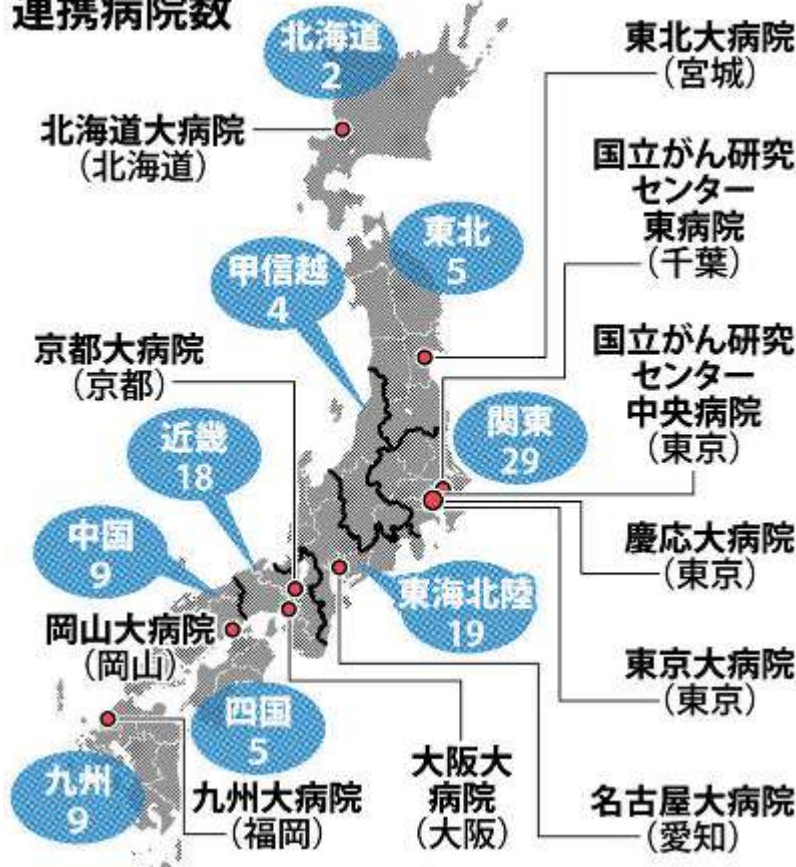
超少子高齢化地域としてモデルになる北信地域におけるがん医療人材の養成は今後の地域や国全体のモデルになると考えられ、評価できる。
 がん登録データをベースにがん対策に活用するプランも評価できる。
 海外FD研修などで海外交流を深めている点が評価できる。
 テレビ会議システムを利用して、大学およびがん拠点病院、協力病院などが参加する症例検討会を開催して、北信地域のがん医療のレベルアップと均てん化に貢献している。
 今年度は準備期間で、受入れはインテンシブコースのみであるが、おおむね目標とした受入れ人数を達成している。次年度から本格的な教育が始まるので、多くの受入れ人数を期待したい。

（改善を要する点）

ホームページを一新して内容がわかりやすく、見やすくなった点は良いが、作成中の所がいくつかあり、情報提供の上で遅れているので、改善をお願いしたい。
 E-ラーニングが教育の中心であり、良い内容のものを多数作成して大変な努力とは思いますが、少し整備が遅れていて不十分な所があるので次年度の教育に間に合うように準備頂きたい。
 第2期がんプロの大学院生が在籍しているので、引き続き教育に励んで頂くとともに、第3期がんプロとの関連（別個にやるのか、移行するのか）についても考慮、記載頂きたい。
 ゲノム人材養成がにわかに重要課題として浮かび上がってきているが、北信がんプロではゲノム人材のコースが大学院2コース、インテンシブ1コースのみと少ない。ゲノム医療の実現のためにはゲノム医療の専門家だけでなく、関係する幅広い医療スタッフにある程度の知識を普及啓発する活動も必要なので、可能であればインテンシブコースの形で追加することを考慮頂きたい。また、がんプロにおけるゲノム医療人材養成の取組みとゲノム医療連携病院としてゲノム医療実践との関連性を考慮しながら事業を進めて頂きたい。
 多くのセミナー、シンポジウムを開催している点を評価するが、これらの開催はがんプロ事業の一環であるということ意識して、がんプロの広報にも努めて頂くようお願いしたい。

北信がんプロの5大学病院はがんゲノム医療連携病院に指定されている

がんゲノム医療の中核拠点病院と連携病院数



連携病院	中核拠点病院
金沢大学	国立がんセンター東病院 慶應義塾大学病院
信州大学	岡山大学病院
富山大学	京都大学医学部附属病院
福井大学	京都大学医学部附属病院 名古屋大学医学部附属病院
金沢医科大学	慶應義塾大学病院



審査委員会(2018/2/14)

発表内容

- 1、北信がんプロの事業概要
- 2、北信がんプロの予算
- 3、H29年度外部評価委員会の結果
- 4、北信がんプロ事業計画と進捗**
 - (1)教育コース受入れ状況と講義について**
 - (2)地域がんデータベース
 - (3)スタッフ研修
 - (4)市民公開講座、啓発活動
- 5、今後の予定

北信がんプロ教育コース

本科生コース 平成30年4月受入れ開始 計10コース

	教育コース	対象	H29	H30	H31	H32	H33	合計
金沢大	先端的个人化医療コース	医師・歯科医師	0	5	5	5	5	20
	がん個別化薬物療法薬剤師リーダーコース	薬剤師	0	1	2	2	2	7
	個別化高度化を担う医療技術・医学物理人材育成コース	医学物理士	0	2	2	2	2	8
信州大	ゲノム医療に精通したがん治療医育成コース	医師	0	2	2	2	2	8
	がん診療に詳しい認定遺伝カウンセラー養成コース	多職種	0	1	1	1	1	4
富山大	高齢がん患者対策専門コース	医師	0	4	4	4	4	16
	個別化医療で支えることができる高度薬剤師養成コース	薬剤師	0	1	1	1	1	4
福井大	地域がん専門医養成コース	医師	0	2	2	2	2	8
金沢医大	がんプロフェッショナルがん専門医リーダー養成コース	医師	0	2	2	2	2	8
石川看護大	がんライフステージコース	看護師	0	2	2	2	2	8
合計			0	22	23	23	23	91

インテンシブコース 平成29年10月受入れ開始（一部平成30年4月開始）計10コース

	教育コース	対象	H29	H30	H31	H32	H33	合計
金沢大	がんゲノム医療生涯教育コース	医師・歯科医師	2	6	6	6	6	26
	がん個別化薬物療法実践薬剤師コース	薬剤師	0	2	2	2	2	8
	がんゲノム多職種連携入門コース	多職種	0	10	10	10	10	40
富山大	高齢がん患者対策専門コース	医師	2	2	2	2	2	10
	個別化医療で支える専門的薬剤師養成コース	薬剤師	1	2	2	2	2	9
	在宅がん緩和リハビリテーションコース	看護師	0	1	2	2	2	7
福井大	在宅栄養管理コース	医師等	0	12	22	22	22	78
	在宅緩和医療	医師等	0	24	24	24	24	96
金沢医大	がん集学的治療医養成コース	医師	1	2	2	2	2	9
石川看護大	がんライフケアコース	多職種	2	5	5	5	5	22
合計			8	56	67	67	67	265

北信がんプロの教育コース（受入目標と実績）

本科生コース(平成30年4月受入開始)

(平成31年3月5日現在)

コース名	職種	受入目標人数						受入実績						
		H29	H30	H31	H32	H33	合計	H29	H30	H31	H32	H33	合計	
金沢大	先端の個別化医療	医師	0	5	5	5	5	20	0	9				9
	個別化薬物療法	薬剤師	0	1	2	2	2	7	0	1				1
	高度化医学物理士	医学物理士	0	2	2	2	2	8	0	3				3
信州大	ゲノムがん治療医	医師	0	2	2	2	2	8	0	2				2
	遺伝カウンセラー	遺伝カウンセラー	0	1	1	1	1	4	0	1				1
富山大	高齢がん患者対策	医師	0	4	4	4	4	16	0	6				6
	個別化医療薬剤師	薬剤師	0	1	1	1	1	4	0	1				1
福井大	地域がん専門医	医師	0	2	2	2	2	8	0	3				3
金沢医大	がん専門医リーダー	医師	0	2	2	2	2	8	0	2				2
石川看護大	がんライフステージ	看護師	0	2	2	2	2	8	0	2				1
		合計	0	22	23	23	23	91	0	30	0	0	0	30

インテンシブコース 平成29年10月受入開始(一部30年4月受入開始)

コース名	職種	受入目標人数						受入実績						
		H29	H30	H31	H32	H33	合計	H29	H30	H31	H32	H33	合計	
金沢大	がんゲノム生涯教育	医師	2	6	6	6	6	26	2	12				14
	個別化薬物実践	薬剤師	0	1	3	4	4	12	0	4				4
	がんゲノム多職種連携入門	多職種	0	10	10	10	10	40	0	32				32
富山大	高齢がん患者対策	医師	2	2	2	2	2	10	2	2				4
	高齢対策薬剤師	薬剤師	1	2	2	2	2	9	2	5				7
	在宅緩和リハ	看護師	0	1	2	2	2	7	0	6				6
福井大	在宅栄養管理	多職種	0	12	22	22	22	78	0	24				24
	在宅緩和医療	多職種	0	24	24	24	24	96	0	25				25
金沢医大	がん集学的治療	医師	1	2	2	2	2	9	1	2				3
石川看護大	がんライフケア	多職種	2	5	5	5	5	22	3	10				13
		合計	8	65	78	79	79	309	10	122	0	0	0	132

がんプロ全国e-learningクラウド

All Japan e-learning cloud for cancer professional multidisciplines

参加大学一覧

List of participation universities



User ID :

Password :

[パスワードを忘れた方はこちら](#)
Reset your password

Login

- [ブラウザチェック](#)
Check your browser
- [e-learning講義項目一覧](#)
Course list



がんプロフェッショナル養成プラン がんプロ全国 e-learning クラウド

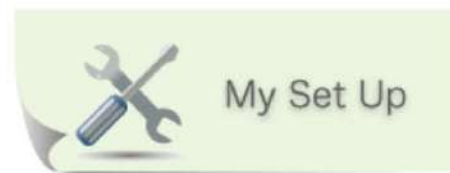
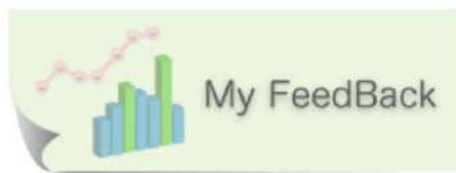
あなたは 矢野 聖二 としてログインしています。(ログアウト)
北陸(金沢大学) / 臨床医学-内科系

HOME

My Feedback

聴講画面

◀戻る | 教員 ホーム



あなたのログイン回数



あなたのログイン回数は、2回です

15 _____

10 _____

養成コース選択
3期 先進的個別化医療コース (本科 医師)

固定科目

- がんゲノム学特論
- 小児・AYA・希少がん特論
- 老年医療学特論
- 在宅緩和ケア特論
- 腫瘍薬物学特論
- 腫瘍放射線医学特論
- がん緩和医療学特論
- 腫瘍病理学特論
- 臨床腫瘍学特論
- がん外科学特論
- 分子腫瘍学特論
- 臨床統計学特論
- 臨床栄養学特論
- 腫瘍病理学演習
- 分子生物学入門
- 臨床統計学演習

アラカルト選択科目

- 選択科目
- 自由選択科目

3期がんプロの新科目

特別講座

- e-learningクラウド会議
(2014/09/06)

HOME

My Feedback

聴講画面

◀戻る | 教員 ホーム > 聴講科目選択 > 科目マトリックス : 小児・AYA・希少がん特論

聴講状況一覧

entry

未聴講



聴講中



済 聴講終了

▲ 「ミニテストなし」

講義の字幕表示 : 英語 中国語 日本語
(contents caption: English Chinese Japanese)

養成コース選択

3期 先端的個別化医療コース (本科 医師)

固定科目

小児・AYA・希少がん特論

※朱色背景の講義項目は別項目にリンクしています

聴講 状況	講義項目	順天堂	女子医	東医歯	慶應	近畿	京都	GLOBAL	
		北海道	東北	関東	東京	北陸	関西	中国・四国	九州
		金沢大	富山大	福井大	金沢医科大	石川看護大	信州大	北信1	北信2
小 1	小児・AYA世代の特徴						<input type="checkbox"/>		
小 2	小児・AYA世代のがん治療総論		<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>		
小 3	小児・AYA世代腫瘍各論1 (この時期特有の腫瘍)		<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>		
小 4	小児・AYA世代腫瘍各論2 (この時期に起きる成人腫瘍)					<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
小 5	希少がん(小児・AYA世代以外)			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>		
小 6	晩期合併症と長期フォローアップの問題点 (1)				<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
小 7	晩期合併症と長期フォローアップの問題点 (2)				<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
小 8	小児・AYA世代のがん患者・家族に対する支援 (1)		<input type="checkbox"/>				<input type="checkbox"/>		
小 9	小児・AYA世代のがん患者・家族に対する支援 (2)				<input type="checkbox"/>			22	

HOME

My Feedback

聴講画面

«戻る | 教員 ホーム > 聴講科目選択 > 科目マトリックス: 小児・AYA・希少がん特論 > 講義聴講: 1 小児・AYA世代の特徴 / 北陸合同1

共通/専門	科目名	講義項目名	講義番号	拠点名	大学名
共通	小児・AYA・希少がん特論	1 小児・AYA世代の特徴	共通9-1	北信	北信1

聴講画面

view

講義動画の字幕表示(Caption:) なし(None) 英語(English) 中国語(Chinese) 日本語(Japanese) ※音声は変わりません(The sound dose not change)





小児、AYA世代の身体的特徴

小児およびAYA(Adolescent and Young Adult)世代の診療を行なうために必要な身体的特徴の概論を学ぶ

福井大学医学部附属病院 小児科

鈴木孝二



再生中 00:05 / 14:19

⏮
🔊
🔍

HOME

My Feedback

聴講画面

«戻る | 教員 ホーム > 聴講科目選択 > 科目マトリックス : 老年医療学特論

聴講状況一覧

entry

未聴講 聴講中 済 聴講終了 ▲ 「ミニテストなし」

講義の字幕表示: 英語 中国語 日本語
(contents caption: English Chinese Japanese)

養成コース選択
3期 先端的个人化医療コース (本科 医師)

固定科目
老年医療学特論

※朱色背景の講義項目は別項目にリンクしています

聴講状況	講義項目	順天堂	女子医	東医歯	慶應	近畿	京都	GLOBAL	
		北海道	東北	関東	東京	北陸	関西	中国・四国	九州
		金沢大	富山大	福井大	金沢医科大	石川看護大	信州大	北信1	北信2
	ラ 1 ライフステージに応じたがん予防医学				<input type="checkbox"/>		<input checked="" type="checkbox"/>		
	ラ 2 ライフステージにおける壮年期がん医療								
	ラ 3 ライフステージにおける高齢者がん医療-機能・合併症の特徴と評価		<input type="checkbox"/>				<input type="checkbox"/>		
	ラ 4 ライフステージにおける高齢者がん医療-治療の特徴		<input type="checkbox"/>				<input type="checkbox"/>		
	ラ 5 ライフステージに応じた包括的支援								
	ラ 6 ライフステージにおける終末期のがん医療								
	ラ 7 社会とがん医療								
	ラ 8 ライフステージに応じたがん医療の臨床試験			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>		

HOME

My Feedback

聴講画面

◀戻る | 教員 ホーム > 聴講科目選択 > 科目マトリックス: 老年医療学特論 > 講義聴講: 1 ライフステージに応じたがん予防医学 / 北陸合同1

共通/専門	科目名	講義項目名	講義番号	拠点名	大学名
共通	老年医療学特論	1 ライフステージに応じたがん予防医学	共通10-1	北信	北信1

聴講画面

view

講義動画の字幕表示(Caption): なし(None) 英語(English) 中国語(Chinese) 日本語(Japanese) ※音声は変わりません(The sound dose not change)





ライフステージに応じたがん予防医学
一次予防のエビデンス

金沢医科大学医学部
公衆衛生学
西野 善一



再生中 0:06 / 7:00

音量: [Progress bar]

ヘルプ: [i icon]

視聴サポート

support

がんプロフェッショナル養成プラン がんプロ全国 e-learning クラウド

あなたは 矢野 聖二 としてログインしています。(ログアウト)
北陸 (金沢大学) / 臨床医学-内科系

HOME

My Feedback

聴講画面

«戻る | 教員 ホーム > 聴講科目選択 > 科目マトリックス : がんゲノム学
特論

聴講状況一覧

entry

未聴講

聴講中

聴講終了

▲ 「ミニテストなし」

講義の字幕表示 : 英語 中国語 日本語
(contents caption: English Chinese Japanese)

養成コース選択

3期 先端的個別化医療コース (本科 医師)

固定科目

がんゲノム学特論

※朱色背景の講義項目は別項目にリンクしています

聴講 状況	講義項目	順天堂	女子医	東医歯	慶應	近畿	京都	GLOBAL	
		北海道	東北	関東	東京	北陸	関西	中国・四国	九州
		金沢大	富山大	福井大	金沢医科大	石川看護大	信州大	北信1	北信2
	ゲ 1 ゲノム医学の基礎とがんゲノム							<input type="checkbox"/>	
	ゲ 2 がんゲノム医療総論							<input type="checkbox"/>	
	ゲ 3 がんゲノム医療の実際 : 1 体細胞変異がん (1)							<input type="checkbox"/>	
	ゲ 4 がんゲノム医療の実際 : 2 体細胞変異がん (2)							<input type="checkbox"/>	
	ゲ 5 がんゲノム医療の実際 : 3 家族性腫瘍・遺伝性腫瘍 (胚細胞変異がん)						<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	ゲ 6 ゲノム医療と倫理・法律・社会的問題								



ミニテスト



アンケート



質問掲示板

現在行われているがんゲノム医療（治療）



● 認可された治療薬がある場合

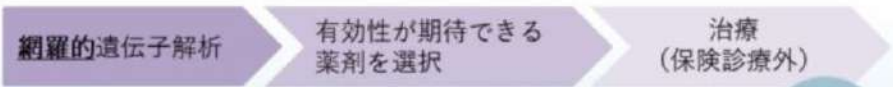


腫瘍組織・細胞を採取して測定

血液・血漿を採取して測定



● 認可された治療薬がない場合

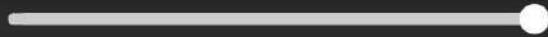


次世代シーケンスによる全ゲノム/全エクソンの遺伝子異常の解析



再生中

1:39 / 3:14



HOME

My Feedback

聴講画面

<<戻る | 教員 ホーム > 聴講科目選択 > 科目マトリックス:がんゲノム学特論

聴講状況一覧



未聴講 聴講中 聴講終了 ▲「ミニテストなし」

講義の字幕表示: 英語 中国語 日本語
(contents caption: English Chinese Japanese)

養成コース選択
3期 先端的个人別化医療コース (本科 医師)

固定科目
がんゲノム学特論

※朱色背景の講義項目は別項目にリンクしています

聴講 状況	講義項目	順天堂	女子医	東医歯	慶應	近畿	京都	GLOBAL	
		北海道	東北	関東	東京	北陸	関西	中国・四国	九州
		金沢大	富山大	福井大	金沢医科大	石川看護大	信州大	北信1	北信2
	ゲ 1ゲノム医学の基礎とがんゲノム				<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>		
	ゲ 2がんゲノム医療総論				<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>		
	ゲ 3がんゲノム医療の実際: 1 体細胞変異がん(1)				<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>		
	ゲ 4がんゲノム医療の実際: 2 体細胞変異がん(2)				<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>		
	ゲ 5がんゲノム医療の実際: 3 家族性腫瘍・遺伝性腫瘍(胚細胞変異がん)				<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			
	ゲ 6ゲノム医療と倫理・法律・社会的問題								
	ゲ 7がんゲノム医療に必要な体制と人材								
	ゲ 8がんゲノム医療の応用と将来								

担当者: 矢野 聖二

内容:

登録日: 2018年3月23日

時間: 59分11秒

【アンケート結果】聴講回数6

1. 話し方	★★★★★
2. 教材	★★★★★
3. 講義内容の充実度	★★★★★
4. 講義内容の鮮度	★★★★★
5. 総合評価	★★★★★

北信オンコロジーセミナー（多職種連携演習）

- ・ 目的：最先端のゲノム医療、小児・AYA世代・高齢者がん、希少がん症例の研究、診断、治療、緩和ケア、就労支援等を効率的に学習する演習

がんの病態、診断、治療に主眼をおいたセミナー

- ・ 対象：北信がんプロ受講生および北信地域の医療機関の多職種

- ・ 開催方法：がんプロTV会議システム

- ・ 開催頻度：3か月に1回
(5年間で18回)



第一回 29.12.8 (金)
(金沢大主催) 90名

第二回 29.3.26 (火)
(富山大主催) 92名

第三回 30.6.29 (金)
(金沢医科大主催) 107名

第四回 30.9.21 (金)
(福井大主催) 55名

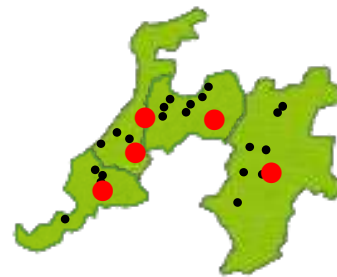
第五回 30.11.22 (木)
(信州大主催) 60名

第六回 31.2.7 (木)
(金沢大主催) 85名

参加者合計 489名

がん診療連携拠点病院等との 診療連携ネットワーク

大学 7拠点*¹
がん診療連携拠点病院等 26拠点
(平成30年8月現在) *¹山梨大学含む



ライフステージ事例検討会（多職種連携演習）

石川県立看護大が中心

平成30年度 石川県立看護大学
超少子高齢化地域での先進的がん医療人養成（北信がんプロ）

テレビ会議システムを利用した

ライフステージ事例検討会

多職種とともに日頃のがん患者への関わりをふり返りましょう！

北信4県のテレビ会議システムが設置されている施設を利用して行います！
施設の垣根を越えて、日頃のがん患者さんやご家族へのケアについて意見交換しましょう！

◆開催日程（8回予定）

平成30年 6月5日(火) 7月3日(火) 8月7日(火)
10月2日(火) 11月6日(火) 12月4日(火)
平成31年 2月12日(火) 3月5日(火)



◆開催時間 17時45分～19時15分

(事例検討：60分、ミニレクチャー：30分)

◆対象 看護師、医療従事者

がん看護専門看護師申請予定者
休職中の看護師で復職を予定している方

◆会場 開催予定施設のテレビ会議システム設置室

※開催予定施設につきましては、裏面をご覧ください。

◆参加費 無料

- #### ◆内容
- 事例検討：外来化学療法、在宅の患者支援
倫理調整、家族看護、緩和ケアなど
 - ミニレクチャー：OCNSの他、医師や薬剤師がミニレクチャーを担当します

お近くの開催予定会場からの参加をお待ちしております！
詳細はホームページをご覧ください。
石川県立看護大学
<http://www.shikawanu.ac.jp/>
北信がんプロ
<http://gan-pro.net/>



◆アドバイザー◆

- ・牧野智恵：石川県立看護大学 成人看護学 教授（がん看護専攻）
- ・各施設のがん看護専門看護師（OCNS）、医師、薬剤師

- #### ◆参加申込先 外部施設から参加される方は前日までに開催予定施設までご連絡下さい。

※開催予定施設、連絡先は裏面をご覧ください

- #### ◆お問い合わせ先
- 石川県立大学法人 石川県立看護大学 総務課
〒929-1210 石川県がほく市学園台1-1 TEL (076)281-8300 FAX (076)281-8319

企画・運営 石川県立看護大学



主催：超少子高齢化地域での先進的がん医療人養成（北信がんプロ）
（石川県立看護大学・金沢大学・金沢医科大学・福井大学・富山大学・信州大学 共同企画事業）

参加対象：医師、看護師、薬剤師、理学・作業療法士、ソーシャルワーカーなど

（開催予定）

29年度	8回
30年度	8回
31年度	12回
32年度	6回
33年度	6回
計	40回



（H29年度 参加人数）

第1回	65名
第2回	96名
第3回	56名
第4回	92名
第5回	66名
第6回	64名
第7回	中止
第8回	113名
計	552名

（H30年度 参加人数）

第1回	97名
第2回	85名
第3回	89名
第4回	102名
第5回	118名
第6回	83名
第7回	71名
第8回	名
計	645名

発表内容

- 1、北信がんプロの事業概要
- 2、北信がんプロの予算
- 3、H29年度外部評価委員会の結果
- 4、北信がんプロ事業計画と進捗
 - (1)教育コース受入れ状況と講義について
 - (2)地域がんデータベース**
 - (3)スタッフ研修
 - (4)市民公開講座、啓発活動
- 5、今後の予定

地域がんデータベース

金沢医大



西野善一

目的: 北信地域のがん患者さん、がん医療の特徴を明らかにする



将来のがん対策立案に活用する

28のがん拠点病院/北信4県

院内がん登録データ **35,000人/年**

がん種別罹患数、年齢分布、
発見ステージ、初回治療の種類

解析対象案

- 高齢者がん(80歳、85歳、90歳)
- 小児・AYAがん
- 希少がん(肉腫・原発不明)
- 障がい者がん
- 甲状腺がん分子標的薬使用症例
- 免疫チェックポイント阻害薬使用症例
(メラノーマ、肺がん、腎がん、頭頸部がん、胃がんなど)



北信地域でのがん対策立案に活用

小児・AYA世代のがん症例 (2015年金沢大学附属病院)

全年齢 (2234例)

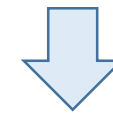
小児 (25例)

AYA (161例)

部位	性別	小児 (25例)		AYA (161例)						合計
		0~5歳	6~10歳	11~15歳	16~20歳	21~25歳	26~30歳	31~35歳	36~40歳	
全部位	男	3	4	3	8	2	8	8	19	55
	女	4	5	6	6	11	13	37	49	131
	計	7	9	9	14	13	21	45	68	186

読み取れること

- ・全年齢のうち**8%**！
- ・年代順にがんが多い！
- ・AYA世代には**子宮頸がん**が多い！
- ・おそらく妊娠時の検診で発見！

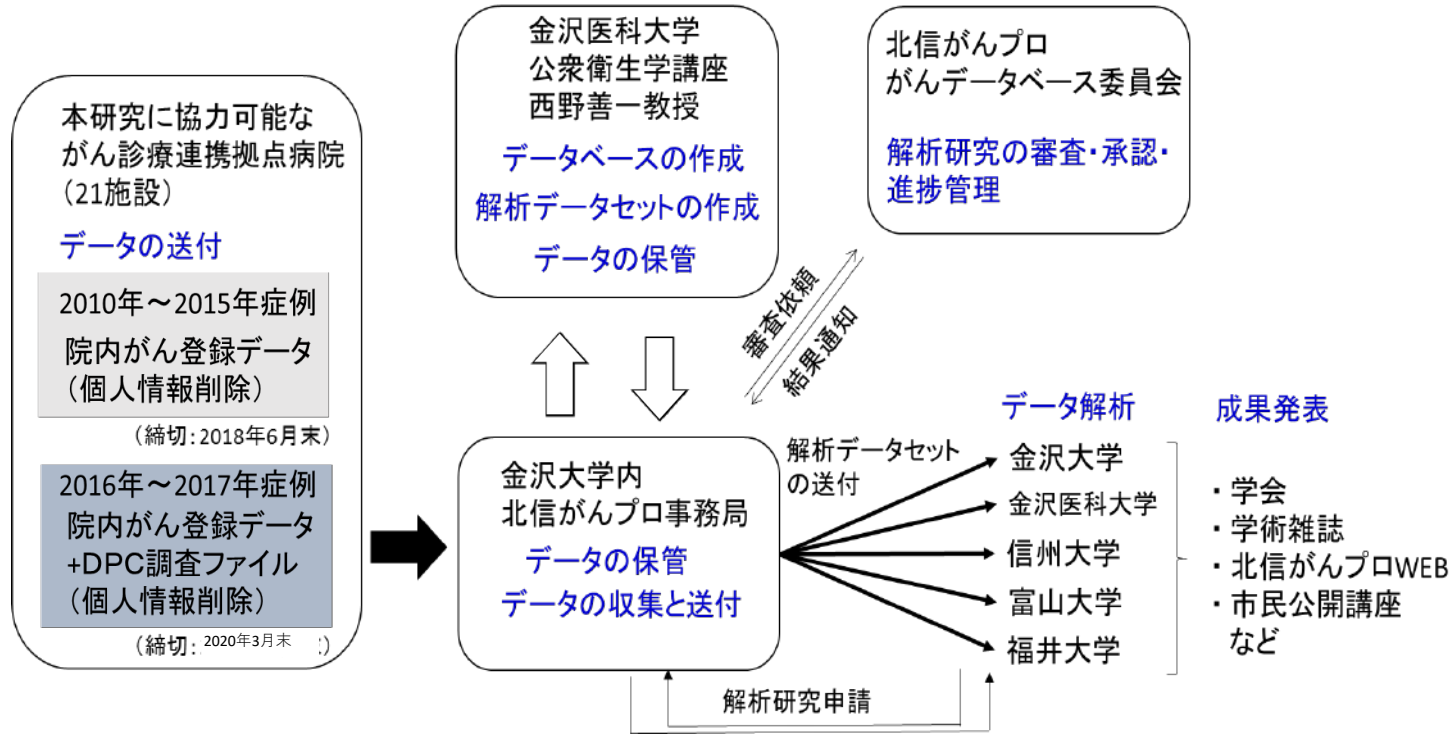


行政が考えるべき対策

妊娠時の**検診**は必ず・精度高く！**精度管理**に注力！ 33

1. 子宮頸がん (23.1%)
2. 脳・髄膜腫瘍 (15.1%)
3. 白血病 (11.8%)
4. 甲状腺がん (10.2%)

地域がんデータベースの計画と進捗



別紙様式3

審査結果通知書

審査番号 2750-1
平成30年 4月10日

申請者 矢野 聖二 殿
(研究実施責任者)

金沢大学がん進展制御研究所長
平尾 敦

課題名 : 北信地域におけるがん医療の実態を把握するデータベース構築

上記課題にかかる実施計画等について、金沢大学医学倫理審査委員会委員長から審査結果の報告があり、次のとおり判定しましたので通知します。

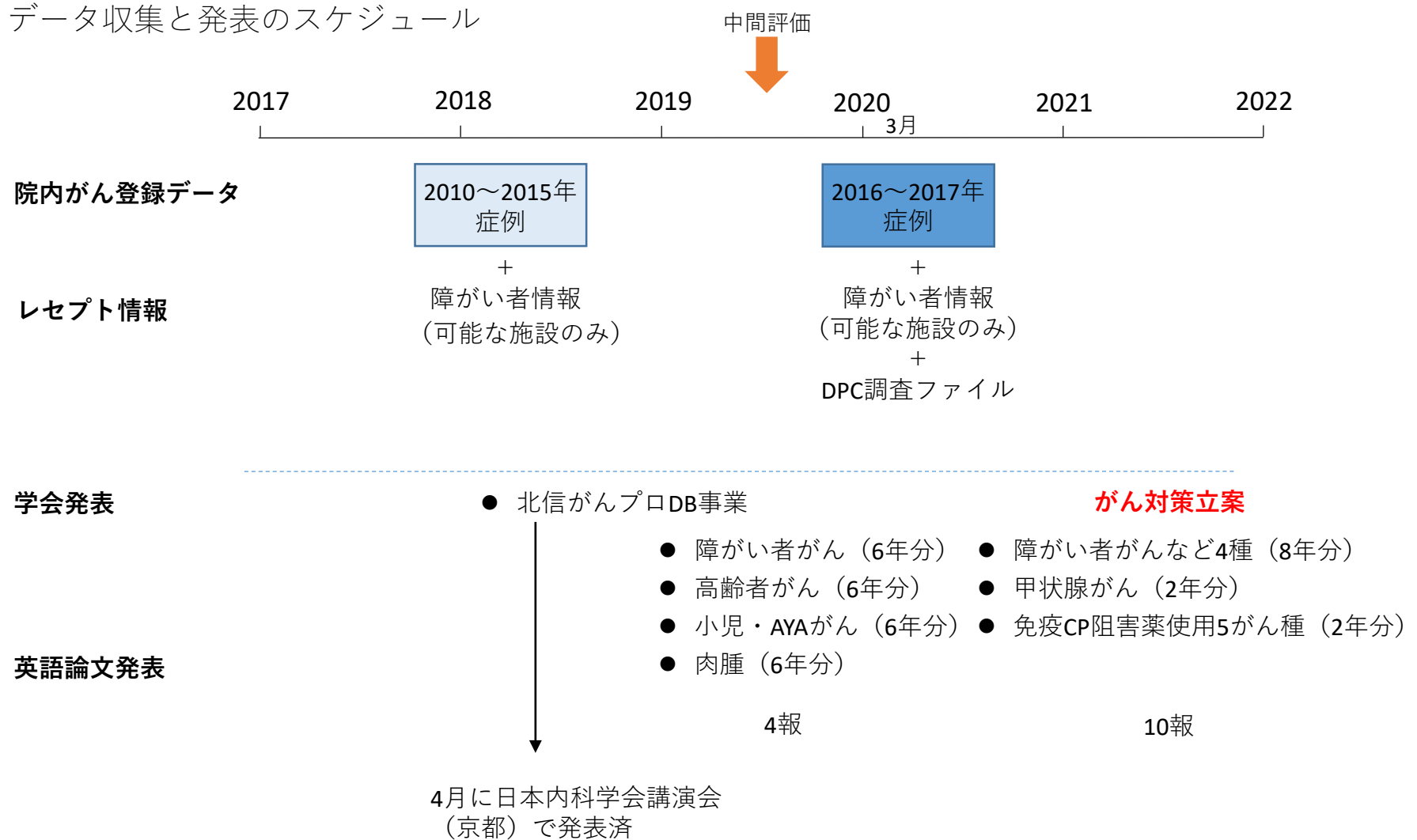
判 定	非 該 当	<input checked="" type="radio"/> 承 認	条件付承認	変更の勧告	不 承 認
-----	-------	--------------------------------------	-------	-------	-------

勧告あるいは理由
特段の意見なし。

- 結果通知
- ### 協力施設(21)
- 長野県：信州大学病院、佐久総合病院、諏訪赤十字病院、相澤病院、
長野赤十字病院、長野市民病院
- 富山県：富山大学病院、富山市民病院、黒部市民病院、富山労災病院、
厚生連高岡病院、高岡市民病院、砺波総合病院、富山県立中央病院
- 石川県：金沢大学病院、金沢医科大学病院、石川県立中央病院、金沢医療センター
- 福井県：福井大学病院、福井県立病院、敦賀医療センター

地域がんデータベースの年次計画

データ収集と発表のスケジュール



発表内容

- 1、北信がんプロの事業概要
- 2、北信がんプロの予算
- 3、H29年度外部評価委員会の結果
- 4、北信がんプロ事業計画と進捗
 - (1)教育コース受入れ状況と講義について
 - (2)地域がんデータベース
 - (3)スタッフ研修**
 - (4)市民公開講座、啓発活動
- 5、今後の予定

海外FD研修会(ワシントンDC)

メインテーマ **がんゲノム医療**

日程 H30年2月12日～17日

訪問先 国立ヒトゲノム研究所
(National Human Genome
Research Institute (NHGRI))
国立がん研究所
(National Cancer Institute)

参加者

	大学/病院	役職
1	金沢大学	特任助教
2	金沢大学	主任
3	金沢大学	薬剤師
4	金沢大学	助教
5	金沢大学	准教授
6	金沢大学	助教
7	金沢大学	准教授
8	信州大学	准教授
9	富山大学	講師
10	福井大学	助教
11	福井大学	准教授
12	金沢医科大学	教授

若手スタッフが
中心



海外FD研修会(メルボルン)



石川看護大
牧野智恵

メインテーマ **ライフステージに応じた先進的緩和ケア**

日程 H30年3月24日～30日

訪問先
モナッシュ大学
ビクトリア州保健福祉局
ロイヤル・メルボルン病院
モナッシュ・ヘルス
エップワース・ヘルスケア
バンキシア・パリアティブケアサービス

参加者

	大学/病院	役職
1	石川看護大	教授
2	石川看護大	助教
3	石川看護大	教授
4	石川看護大	講師
5	石川看護大	講師
6	石川看護大	特任助手
7	金沢大	緩和ケア認定看護師
8	信州大	薬剤師
9	信州大	緩和ケア部門 教授
10	富山大	緩和ケア認定看護師
11	富山大	助教
12	福井大	緩和ケア認定看護師
13	福井大	副看護師長
14	金沢医科大学	講師



参加者は成果報告として、H30年度に北信がんプロのスタッフ対象にFD講習会を担当

平成30年5月9日(水)に海外FD研修報告会を
連携6大学のTV会議で実施



アメリカ／がんゲノム医療 オーストラリア／緩和ケア

海外FD研修報告会

日程

5月9日(水)

18:00~20:00

第1部 18:00~18:45

アメリカ/ワシントンDC 視察 報告
視察施設: 国立ヒトゲノム研究所、国立がん研究所

第2部 18:50~19:35

オーストラリア/メルボルン 視察 報告
視察施設: ビクトリア州保健福祉局、
ロイヤル・メルボルン病院、モナシュこども病院他

【会場】

各大学・各医療施設等
がんプロテレビ会議室

【金沢大学会場】

医学類教育棟 地下大多目的室

→→→→→
本年度は、富山大学・金沢医科大学が主催で開催いたします。
詳細は、決定後、ご案内させていただきます。

→→→→→

超少子高齢化地域での先進的がん医療人養成
北信がんプロ事務局
金沢大学大学院医薬保健学総合研究科内
〒920-8640 金沢市宝町13-1
TEL076(234)4205/(265)2854 FAX076(265)2855
E-mail gpro@med.kanazawa-u.ac.jp http://www.gan-pro.net/



参加者ほぼ全員がスライドで成果を発表

3月27日a.m

Monash Children's Hospital



石川県立看護大学
金谷 雅代
樋口 麻衣子

研修成果を連携6大学のスタッフに還元

がんプロ海外FD研修に参加して 菅 幸生 (薬学系)

印象に残った点

- ゲノム研究の実施と並行して、得られたゲノム研究の成果を迅速に社会や医療へ還元することも組織（NIH）の任務となっていること
- 同じ組織に属している研究者が一つの建物に固まらず、組織横断的に配置され、専門が違う研究者間の交流が盛んであること

研修に行って良かった点

- NIHで最先端のゲノム研究に取り組んでいる研究者の熱意を肌で感じることができ、研究に対するモチベーションが高まった
- 海外（特に、米国）の研究者との共同研究は、NIHからのファンドを得られる機会となることを知ることができた

改善すべき点

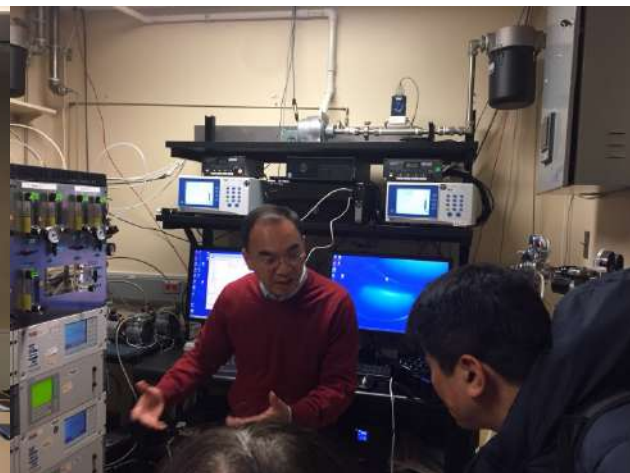
- 具体例を含めた最新の研究成果に触れる機会の多いプログラムとすること
- ゲノム医療に関する臨床研究の現場（病院）の見学があると良い



NIH第1ビルディング



集合写真@NIAID



Discussion@NIDDK



石川県立看護大学

金谷 雅代

樋口 麻衣子

3月27日a.m

Monash Children's Hospital

・ 治療だけではなく、それぞれの生活や時間を大切にしている視点が伝わってきた。日本ではまだ治療への対応が中心で、病院の中では退院するまで管理の視点が強い部分を感じた。

・ 患者だけではなく、地域のドクターに向けても24時間の相談体制を整えていたことは、日本も在宅に向けて動いている中で、必要となってくると考えられた。

平成30年度 海外FD研修会（台湾）

メインテーマ **ゲノム医療を含むがん高度医療、研究施設の視察**

日程 H30年11月13日～17日

訪問先

高雄醫學大學

- ・大学及び附属病院概要の紹介
- ・ゲノム・プロテオミクス医学実験室
- ・脂質科学・老化研究センター実験室

高雄醫學大學附設中和紀念醫院

- ・臨床医学研究部、橋渡し研究センター
- ・高医がんセンター&婦人乳房センター

高雄市立小港醫院、高雄市立大同醫院



参加者

	大学/病院	役職
1	金沢医科大学	学長
2	金沢医科大学	教授
3	金沢医科大学	教授
4	金沢医科大学	教授
5	金沢医科大学	教授
6	金沢医科大学	特任教授
7	金沢医科大学	教授
8	金沢医科大学	教授
9	金沢医科大学	講師
10	金沢大学	助教
11	金沢大学	特任助教
12	金沢大学	看護師
13	信州大学	教授
14	信州大学	医員
15	国立病院機構七尾病院	診療部長



11月14日(水)

高雄医科大学及び附属病院の概要の説明を受け、実際に脂質科学・老化研究センターや附属中和紀念病院臨床医学研究部、同病院高度がんセンター等を視察。午後より北信がんプロ代表団と高雄医学大学の学術討論会を開催。

金沢医科大学から「がんゲノム医療」に関する発表を、高雄医科大学からは「肺癌治療および大腸癌治療」に関する先進的内容の発表がなされ、活発な討論を得た。

11月15日(木)

高雄市直小港病院、娜路湾デイケアステーション、高雄医学大学附属中和紀念病院クリニカルスキルセンターを視察。

11月16日(金)

大同病院、同病院がんセンター、大同福楽学堂デイケアステーション及び金齡書房を視察。

【参加者の感想】

- ・生命統計学、動物施設、バイオバンク、基礎と臨床との連携などの研究支援体制を実地に学べたことは、貴重な経験であった。
- ・マウスモデルを用いた熱帯地域特有の腸内細菌の研究を行っている先生や、ミクログリア細胞による脳内の炎症反応の制御機構の解明研究を行っている先生との意見交換は貴重な内容であった。
- ・日本とは異なる多民族、言語、宗教を持つ国民性を大事した研修は貴重であった。



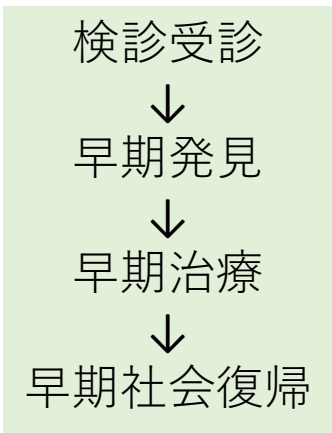
発表内容

- 1、北信がんプロの事業概要
- 2、北信がんプロの予算
- 3、H29年度外部評価委員会の結果
- 4、北信がんプロ事業計画と進捗
 - (1)教育コース受入れ状況と講義について
 - (2)地域がんデータベース
 - (3)スタッフ研修
 - (4)市民公開講座、啓発活動**
- 5、今後の予定

合同市民公開講座

(参加人数:157名)

目的：市民への啓蒙
がん教育



の流れを作る

- ・ 年1回ずつ
- ・ 場所は毎年持ちまわり
- ・ 毎回全大学関係者が1名は出席
- ・ 順番は石川→福井→長野→富山



第1回北信がんプロ合同市民公開講座

がん になって になる前に 考える?

平成29年 10月29日(日)
14:00 ▶ 16:15
(開場・受付開始13:00)

入場無料 定員500名

金沢大学医学展と同時開催
金沢大学宝町キャンパス・十全講堂
〒920-8640 石川県金沢市宝町13-1

▶ 参加お申込みについては裏面をご確認ください ◀

清水 健 (元読売テレビキャスター)

- 2001年、読売テレビに入社し、アナウンサーとなる。
- 2015年、妻・奈緒さん、長男を出産した3か月後に、乳がんのため逝去。(享年29)
- 2016年、「112日間のママ」を小学館から刊行。

また、一般社団法人清水健基金を設立し、代表理事に就く。手記、講演会の収益などは、入院施設の充実、がん撲滅、難病対策などへの団体へ寄付している。



開会 開会挨拶 山崎 光悦 (金沢大学長)

第1部

北信がんプロってなんだ?
座長 小泉 知展 (福井大学包括的がん治療学教授)
演者 矢野 聖二 (金沢大学附属病院がんセンター教授
北信がんプロ統括コーディネーター)

第2部

最新のがんの診断や治療を理解しよう!
座長 片山 寛次 (福井大学がん診療推進センター教授)
岩城 直子 (石川県立看護大学成人看護学准教授)

**講演1:「がんの薬物療法って
どんな意味があるの?」**
元雄 良治 (金沢医科大学腫瘍内科学教授)

第2部

**講演2:「免疫チェックポイント
阻害薬ってどんな薬?」**
林 龍二 (富山大学附属病院臨床腫瘍学教授)

講演3:「必ず受けよう がん検診!」
加藤 駿一 (金沢大学医学類2年)
田中 大貴 (金沢大学医学類5年)

第3部

**特別講演 『大切な人の「想い」とともに』
~112日間のママ~**
座長 蒲田 敏文 (金沢大学附属病院長)
和田 真由美 (前の会 代表)

演者 清水 健 (元読売テレビキャスター)

閉会 閉会挨拶 大竹 茂樹 (金沢大学理事)

主催 北信がんプロ
(超少子高齢化地域での先進的がん医療人養成)、
金沢大学医学展実行委員会、北信新聞社

共催 石川県がん診療連携協議会、金沢大学がん連携研究部、
金沢大学附属病院先端医療センター、北信がん研究推進機構、
北信がん研究推進協議会、テレビ金沢、エフエム石川、
未来医療研究人材養成拠点形成事業

後援 石川県、金沢市、石川県医師会、金沢市医師会、
石川県看護協会、テレビ金沢、エフエム石川、
金沢ケーブルテレビネット、北信放送



お問い合わせ先 超少子高齢化地域での先進的がん医療人養成 (北信がんプロ事務局)
〒920-8640 石川県金沢市宝町13-1 金沢大学大学院医薬保健学総合研究棟内
TEL:076(265)2854、076(234)4205 FAX:076(265)2855
http://www.gan-pro.net/ Eメール: gpro@ms.d.kanazawa-u.ac.jp

平成30年度 福井大学
第2回 合同市民公開講座
12月16日開催

第2回北信がんプロ合同市民公開講座・県民公開シンポジウム

がん診療最前線

北陸・信州4県におけるがんの最新医療についてお話しいたします。

納
得
で
き
る
医
療
を
求
め
て
。



◎福井県県民ホール（アオッサ8階） 定員：300名

◎平成30年12月16日（日） 15:30～17:30（予定）
開場=15:00

参加費無料

開会挨拶 福井大学医学部附属病院 がん診療推進センター 教授 片山 寛次

講演1. 「がん治療で大切なこと
—早期からの緩和ケア・がんの標準治療とは—」
富山大学附属病院 臨床腫瘍部 副部長 梶浦 新也氏

講演2. 「がん登録情報から地域のがんを考える」
信州大学医学部包括的がん治療学 教授 小泉 知展氏

講演3. 「がんゲノム外来開始について」
福井大学医学部附属病院 がん診療推進センター 助教 根来 英樹氏

講演4. 「がんゲノムと再生医療を融合させた
新学域:ゲノム再生医療の実践」

金沢医科大学医学部再生医療学 教授 下平 滋隆氏

講演5. 「いま保険診療でできる免疫療法の威力」

金沢大学附属病院 がんセンター 教授 矢野 聖二氏

質疑応答 がんに対するQ&A(事前募集)

参加ご希望の方は、裏面のお申込方法をご覧ください。

お問い合わせ:

福井新聞社営業局「がん診療最前線」係

〒910-8552 福井市大和田2丁目801

Tel.0776-57-5152 Fax.0776-57-5166 E-mail. gpro@fukuihimbun.co.jp

※駐車場台数に限りがありますので、できるだけ公共交通機関でご来場ください。

県民の皆さまが対象です。

この講座は、がんと向き合っている患者さんやご家族の方はもちろん、一般の方にもご参加いただける公開講座です。

主催

超少子高齢化地域での
先進的がん医療人養成
(北信がんプロ)

共催: 福井新聞社 後援: 福井県医師会、福井県薬剤師会、福井県看護協会、福井県病院薬剤師会、福井県がん診療連携協議会

国内の学会と合同の市民公開講座

日本医学会総会2019

日本癌治療学会

平成30年度 第1回北信がんプロ 市民公開講座 in 金沢
第30回日本医学会総会2019中部ブレイブ

明治維新から150年 激動するがん医療の 流れを知ろう

入場無料 定員500名

平成30年10月28日(日)
14時00分～16時30分
(開場:受付開始 13時00分～)

場所 金沢大学宝町キャンパス 十全講堂
〒920-8640 石川県金沢市宝町13-1

開会 14時00分 開会挨拶 石川県医師会会長 安田 健二

第1部 14時10分～15時15分
 会長 金沢大学附属病院 がんセンター 河崎 洋志 金沢大学附属病院 がんセンター 矢野 聖二
もっと知りたい がんゲノム医療
金沢でもがんゲノム医療が受けられるのでしょうか
 講演1 **ガッテン! ゲノム変異の意味**
 金沢大学がん基質制御研究センター 松本 邦夫
 講演2 **これが金沢でのがんゲノム医療です**
 金沢大学附属病院がんセンター 竹内 伸司
 講演3 **がんが遺伝するかお悩みの方へ**
 金沢大学附属病院遺伝診療部 渡邊 晋
 講演4 **免疫療法の実力とがんゲノム医療との接点**
 金沢大学医学部6年 齋藤 克晃 金沢大学医学部4年 毎田 彩季

第2部 15時30分～16時20分
**特別講演 大切にしたい自分の体
～2度の子宮がんを経験して～**
 会長 金沢大学附属病院院長 薮田 敏文 金沢医科大学前講師 清川 悦子
 講師 女優 原千晶

開会 16時20分 開会挨拶 第30回日本医学会総会2019中部 川部 勤

主催:北信がんプロ(超少子高齢化地域での先進的がん医療人養成)、金沢大学医学部実行委員会
 共催:第30回日本医学会総会2019中部、石川県医師会、石川県がん診療連携協議会、金沢大学がん基質制御研究所、
 金沢大学附属病院先端医療開発センター、北陸臨床がん医療連携、北陸認知症プロフェッショナル医療連携センター、北陸新聞社
 後援:石川県、金沢市、金沢市医師会、石川県看護協会、アトレ金沢、エフエム石川、金沢ケーブルテレビ、北陸放送

参加お申し込みについては「北信がんプロ」ホームページまたはチラシをご確認ください

お問い合わせ・お申し込み先
超少子高齢化地域での先進的がん医療人養成 金沢大学 北信がんプロ事務局
 〒920-8640 石川県金沢市宝町13-1 TEL 076(264)2206、076(265)2854 FAX 076(265)2856
 http://www.gan-pro.com/ e-mail: gpro@med.kanazawa-u.ac.jp

第18回 日本癌治療学会 市民公開講座

開会 13:00 開会挨拶 窪田 敏文 (金沢大学附属病院 院長)

第1部 13:15～15:15 座長:溝上 敦 (金沢大学泌尿器科 准教授 教授)

講演1 「進行卵巣癌のマネージメント」
 水本 泰成 金沢大学附属病院婦人科 助教
 講演2 「安全に治療を受ける為のからだづくり」
 伏田 幸夫 金沢大学附属外科 准教授
 講演3 「がんとロコモティブシンドローム(運動器症候群)」
 土屋 弘行 金沢大学附属外科 教授
 講演4 「進行期肺がんの最新治療」
 矢野 聖二 金沢大学がん基質制御研究 教授
 講演5 「乳がん～転移再発乳がん MET Avivorとともに歩む～」
 石川 聡子 金沢大学附属病院乳癌科 助教
 講演6 「進行性自覚腫瘍に対するマネージメント」
 泉 浩二 金沢大学泌尿器科 准教授

休憩15分

第2部 15:30～16:10 座長:矢野 聖二 (金沢大学がん基質制御研究 准教授 准教授)

特別講演1
 「治療と仕事の両立支援～仕事をあきらめたくないために～」
 講師:小矢田 白希 (フジテレビ 社会保険労務士事務所 代表)

特別講演2
 「がんサバイバーとして歌うこと」
 講師:mayumi yamazaki (シンガーソングライター「がんサバイバー」)

PROFILE
 音楽界デビュー、「命の奇跡」をテーマにしたシンガーソングライター。
 3歳からピアノを始め、音楽事業、ロックバンド「プリンセス」
 のメンバーとして活躍。現在は音楽家としての活動に加え、
 2016年、2018年にがんサバイバーとして活動。2018年、いりそ
 ミアアに出演したアルバム「HARBUNGS」リリース。

開会 16:15 開会挨拶 土屋 弘行 (金沢大学附属外科 教授)

代表世話人:土屋 弘行 (金沢大学附属外科 教授)

主催:日本癌治療学会 共催:北信がんプロ(超少子高齢化地域での先進的がん医療人養成)
 後援:北信がんプロ、日本がん協会、石川県、金沢市、(公財)石川県民会館、(公財)金沢夜間病舎、
 (公財)石川県成人発達障害者支援センター、(公財)石川県看護協会、石川県がん診療連携協議会、金沢大
 学、石川県看護協会、石川県看護協会、北陸新聞社、北信がんプロ事務局、エフエム石川、金沢ケーブルテレビ、
 北陸放送、北信がんプロ事務局、北信がんプロ事務局、北信がんプロ事務局、北信がんプロ事務局

お問い合わせ 超少子高齢化地域での先進的がん医療人養成(北信がんプロ)事務局
 (金沢大学北信がんプロ事務局) 〒920-8640 金沢市宝町13-1 TEL 076-265-2854 FAX 076-265-2855
 http://www.gan-pro.net/ E-mail: gpro@med.kanazawa-u.ac.jp

後援 後援の可否、住所、氏名、電話番号、郵便入札などご記入の上、ファックスまたはメールにてお申し込みください。後日、事務局よりご連絡いたします。

後援 株式会社ケイ・エス・エス FAX: 076(262)2618 E-mail: gpro@kos-inc.jp
 〒920-0918 石川県金沢市大町1-1 TEL 076(262)2011 FAX 076(262)2012

進行がんに関するマネージメント

12/23(日)
13:00～(開場:受付12:00)
北國新聞赤羽ホール
〒920-0010 石川県金沢市南町2-1

入場無料 定員500名
www.kanazawa-u.ac.jp

日本頭頸部外科学会との合同市民公開講座を2019年6月15日(土)に開催予定
(金沢市アートホール)

多様な新ニーズに対応する がん専門医療人材の養成を目指す



わが国の死亡原因1位である、がん。北信がんプロでは、文部科学省から「がん医療人材養成拠点」に認定された北陸信越地域の6大学が、それぞれの特色を生かした教育プログラムを構築し、がん治療の多様な新ニーズに対応できる「がん専門医療人材=がんプロフェッショナル」を養成しています。

クラウド型e-learning講義
どこでも学習e-learningシステム

北信がんデータベースの構築
北信地域のがん対策に運用

FD海外研修などのスタッフ研修
海外研修を実施、最新情報の共有

教員・受講生の人材交流
プログラム連携した国際シンポ

市民啓発・がん教育
患者会等との連携、正しい情報の発信

TV 会議システムによる演習
TV会議システムでの多施設連携

インテンシブコース受講者募集中

教育コース
金沢大／がんゲノム医療生涯教育コース(医師・歯科医師)
富山大／高齢がん患者対策専門コース(医師)
福井大／在宅栄養管理コース(医師等)

●上記はコースの一例です。詳しくはホームページをご覧ください。

受講料
無料

がんプロアワー

北國新聞ニュース・プラス
(地デジ9ch)

がん診療の最前線の情報やがん診療連携拠点病院の特色、患者の声などを紹介します。

金沢ケーブルテレビネットで毎週日曜日の午後2時より放送中!

●2018年10月28日に開催された市民公開講座の様子は2019年1月～3月放送予定。

お問い合わせ

超少子高齢化地域での先進的がん医療人材養成(北信がんプロ)事務局

北信がんプロ

〒920-8640 石川県金沢市宝町13-1 金沢大学大学院医薬保健学総合研究科内

TEL:076-234-4205 FAX:076-265-2855 Eメール:gpro@med.kanazawa-u.ac.jp URL:http://www.gan-pro.net





超少子高齢化地域での先進的がん医療人養成

- トップ
- 北信がんプロ紹介
- 患者様・一般の方へ
- 医療従事者の方へ
- 受講者向け情報
- 受講者募集
- 事業成果と評価



- 受講者募集
- 北信がんプロ 市民公開講座
- オンコロジー セミナー
- ライフステージ 事例検討会

お知らせ

- 開催日：2018/12/23 [イベント](#) [告知](#)
市民公開講座開催のお知らせ（日本癌治療学会）【登録日：2018/11/06】
- 開催日：2018/12/16 [イベント](#) [告知](#)
第2回北信がんプロ合同市民公開講座・県民公開シンポジウム（福井大学）を開催致します。【登録日：2018/11/02】
- 開催日：2018/12/16 [イベント](#) [告知](#)
北信がんプロ 医療者セミナー（福井大学）を開催致します。【登録日：2018/10/30】
- 開催日：2018/12/09 [イベント](#) [告知](#)
長野県がん診療連携協議会 市民公開講座「がん治療における放射線診断・放射線治療の役割」（信州大学）を開催いたします。【登録日：2018/10/25】
- 開催日：2018/11/30 [イベント](#) [告知](#)
北信がんプロ 看護セミナー（福井大学）を開催致します。【登録日：2018/10/22】



北信がんプロ ～超少子高齢化地域での先進的がん医療人養成～

gan-pro.net/ - キャッシュ

文部科学省：平成29年度大学教育再生戦略推進費多様な新ニーズに対応する「がん専門医療人材（がんプロフェッショナル）」養成プラン。

- [北信がんプロ紹介](#)
- [受講者募集](#)
- [受講者向け情報](#)
- [事業成果と評価](#)
- [医療従事者の方へ](#)
- [お知らせ・活動報告](#)

北信がんプロ | 大学院医学研究科 - 金沢医科大学

www.kanazawa-med.ac.jp/graduate/ganpro/ganpro.html - キャッシュ

金沢医科大学大学院医学研究科は、医学・生命科学全般にわたる幅広い学識を基に、独自の医学研究あるいは高度な専門医療を生涯にわたり自立して遂行し、医学の進歩に貢献できる医療人の育成を目指しています。

北信がんプロ | 福井大学医学部

www.med.u-fukui.ac.jp/laboratory/oncological/ganpro/ - キャッシュ

本事業は、文部科学省の大学間の連携による「がん医療人材養成拠点」において、各大学の特色を生かした教育プログラムを構築し、がん医療の新たなニーズに対応できる優れた「がん専門医療人材（がんプロフェッショナル）」を養成することで、我が国における...

がんプロとは | 信州大学 医学部 がんプロ

www.shinshu-u.ac.jp/good_practice/cancer_gp/ganpro/ - キャッシュ



トップ 北信がんプロ紹介 患者様・一般の方へ 医療従事者の方へ 受講者向け情報 受講者募集 事業成果と評価

受講者募集

ホーム > 受講者募集

受講者募集

文部科学省 平成29年度大学教育再生戦略推進費
多様なニーズに対応する「がん専門医療人材（がんプロフェッショナル）」養成プラン
超少子高齢化地域での先進的がん医療人養成（北信がんプロ）教育プログラム・コース履
修者募集について

3期北信がんプロでは連携6大学の強みを生かした最先端がんゲノム医療、小児・AYA世代・希少がんの集学的治療、ライフステージに応じたケアを大学の枠を超えて学習できる、共通科目や単位互換を導入した相互補完的教育コース（本科10、インテンシブ9）を新設しました。

定期開催する北信オンコロジーセミナーや、ライフステージ事例検討会の演習と合わせて、地域がん医療の多職種ネットワークの連携・充実の具体的事例とその必要性について学んでいきます。

各教育コースの募集人数・受入数

本科コース

インテンシブコース（公開講座）のご案内



トップ 北信がんプロ紹介 患者様・一般の方へ 医療従事者の方へ 受講者向け情報 受講者募集 事業成果と評価

受講者募集

ホーム > 受講者募集 > インテンシブコース（公開講座）のご案内

インテンシブコース（公開講座）のご案内

北信がんプロ 新教育コース

*全コース一覧はこちら

- ・がんゲノム医療生涯教育コース（金沢大学）
- ・がん個別化薬物療法実践薬剤師コース（金沢大学）
- ・がんゲノム多職種連携入門コース（金沢大学）
- ・高齢がん患者対策専門コース（富山大学）
- ・高齢化した地域医療を個別化医療で支えることができる専門的薬剤師養成コース（富山大学）
- ・在宅がん緩和リハビリテーションコース（富山大学）
- ・在宅栄養管理コース（福井大学）
- ・在宅緩和医療コース（福井大学）
- ・がんプロフェッショナル専門医療養成コース（金沢医科大学）
- ・がん集学的治療医療養成コース（金沢医科大学）
- ・がんライフケアコース（石川県立看護大学）

旧北陸がんプロ 教育コース

*全コース一覧はこちら

平成 30 年度

在宅栄養管理コース (インテンシブ)

募集要項



北信がんプロ 超少子高齢化地域での先進的がん医療人養成
福井大学

- 37 -

○受講手続きについて

(1) 受講までの流れ (e-learning 講義)

- ①電話連絡 → ②募集要項・受講申込書入手※1 → ③ホームページで視聴確認※2
→ ④申込書提出 → ⑤大学から受講用のIDとパスワードを通知
→ ⑥ご自宅のパソコンにて受講開始

北信がんプロ 超少子高齢化地域での先進的がん医療人養成

在宅栄養管理コース受講申込書

申込日	平成 年 月 日	福井大学		
フリガナ		男・女	生年月日	19 年 月 日
氏名		職業		
住所	(〒 -)			
電話番号	-	-		
PCアドレス				

*住所に勤務先を記載いただく場合、必ず申込者本人と連絡を取ることができる電話番号、PCアドレスを記載してくだ

医師 (医師免許・学位 (博士)・専門医・認定 医の内容を記載 してください。)	勤務先		
	取得年月	取得内容	免許番号等
	年 月		
	年 月		
年 月			

医療スタッフ (看護師・薬剤師・ 栄養士)	資格取得年月日	年 月 日	取得内容
	職 歴		
	年 月		
	年 月		
	年 月		
年 月			

(5) 受講申込み方法

I. 窓口にて提出する方法

→ 受講申込み書類を持って福井大学医学部附属病院 1階 腫瘍病態治療学講座まで
直接お越しください。(窓口業務は平日の10時~16時までに行っています。)

II. 郵送する方法

→ 電話連絡の上、受講申込み書類を下記受講申込み先まで郵送してください。

(6) 受講申込み先・照会先

〒910-1193 福井県吉田郡永平寺町松岡下合月 23-3
福井大学 医学部 腫瘍病態治療学講座
TEL : 0776-61-8857

北信がんプロ ホームページ

gan-pro.net

(平成29年11/1~30年10/31)



(金沢大学)



(信州大学)



(facebook)

HPアクセス状況 (1年間)

新規ユーザー数 7,451
ページビュー 52,198
ページ/セッション 3.92
(ページ閲覧数/訪問者数)

(ホームページ更新状況)

金沢大学 48回

北信がんプロ連携大学

事業全体 35回
信州大 2回
金沢医科大 12回
石川県看護大 21回



(金沢医科大学)



(石川県立看護大学)



(Twitter)

SNS

(facebook/Twitter)

金沢大 30回
事業全体 30回
金沢医科大 8回



(福井大学)

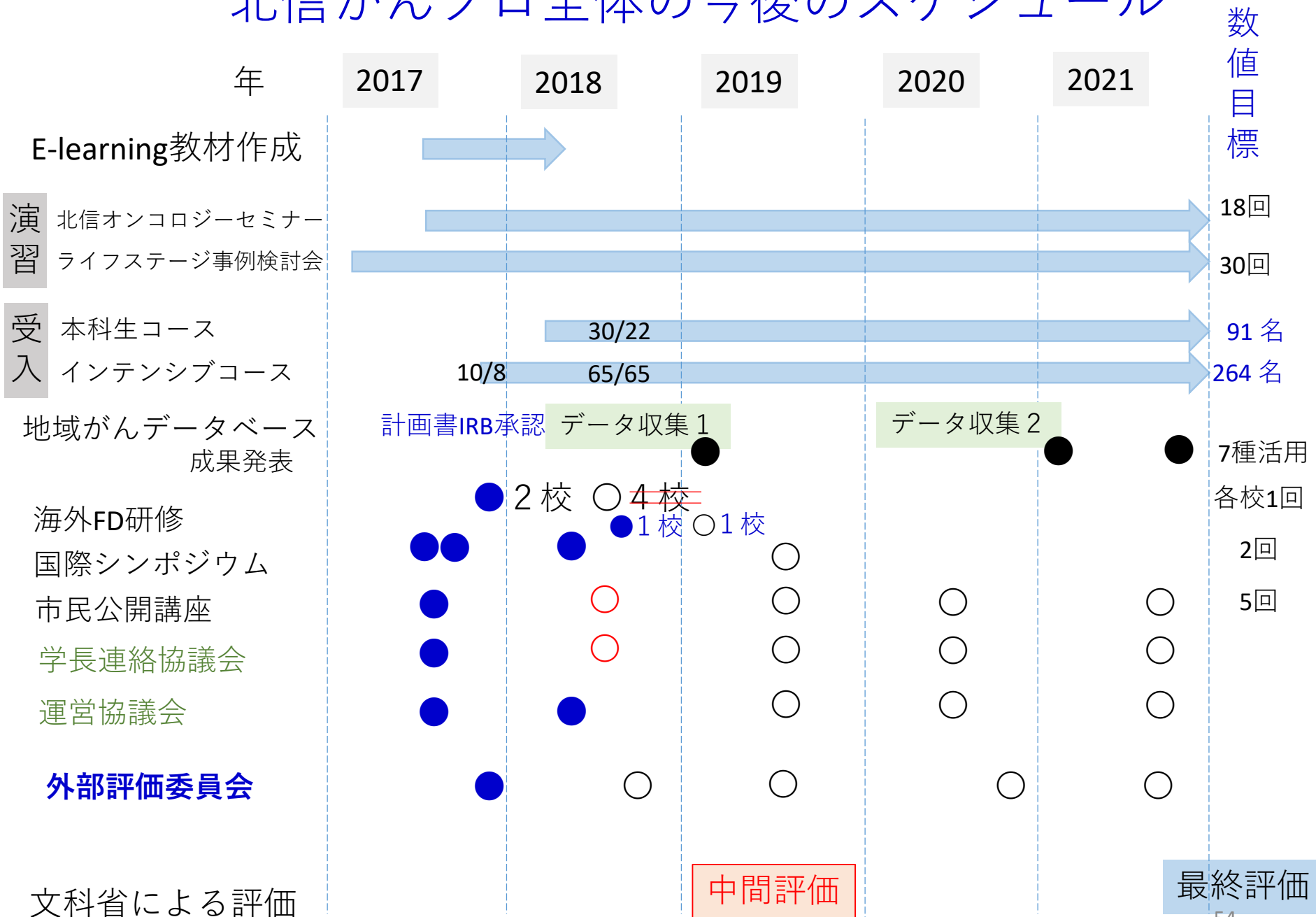


(富山大学)

発表内容

- 1、北信がんプロの事業概要
- 2、北信がんプロの予算
- 3、H29年度外部評価委員会の結果
- 4、北信がんプロ事業計画と進捗
 - (1)教育コース受入れ状況と講義について
 - (2)地域がんデータベース
 - (3)スタッフ研修
 - (4)市民公開講座、啓発活動
- 5、今後の予定**

北信がんプロ全体の今後のスケジュール



平成30年度後半～平成31年度中間評価までの取組み

・ 本科生コース 大学院生の受入れ **23名以上**

・ インテンシブコース 受講生の受入れ **78名以上**

・ E-learning教材、多職種連携セミナーの充実化

北信オンコロジーセミナー（2019年度4回開催）
ライフステージ事例検討会（2019年度12回開催）

過去の教材の見直し
（筑波大と連携）

教育コースの
本格稼働！

・ 地域がんデータベースの構築

収集データの解析と発表

論文**4報**

・ スタッフ研修（海外F D研修）

H30年度海外F D研修の成果報告・2019年度海外F D研修実施 **信州大/富山大合同主催
1回を予定**

・ 他の人材養成プログラムとの共催イベント

国際シンポジウム・合同シンポジウム
（他のがんプロチームとのシンポジウムを含む）

九州がんプロとの
ジョイントセミナー
(2019.2.7)

今年度の活動を
さらに発展！

・ 合同市民公開講座の実施

2019年度 11月17日（日）に長野市（ホテルメトロポリタン）で開催



北信がんプロ

超少子高齢化地域での先進的がん医療人養成

今後ともよろしくお願いいたします



第3期北信がんプロ 中間外部評価
信州大学の取組状況

がんプロ教育コースの受け入れ状況(今年度および来年度予定)

- **博士課程(ゲノム医療に精通したがん治療医育成コース)**
今年度;2名 現在他病院で研修中のため、講義主体に履修中
がんプロセミナーや学内カンサーボードに参加など
来年度大学勤務の予定 実質的にがんゲノム医療の指導を開始する
来年度新規入学者 1名確保
- **修士課程(がん診療に詳しい認定遺伝カウンセラー養成コース) 1名**
学内で講義、がんプロセミナー、ライフステージ事例検討会、学内カンサーボードおよびがんサロンなどに参加・指導
来年度新規入学者 3名確保
- **金沢大学から研修枠1名(次世代スーパードクターコース)**
クリニカルシーケンス外来に常に参加・研修 遺伝子医療の実践と研修

北信がんプロの企画に協力

- 希少がんデータベースの研究
長野県内の拠点病院に参加を促し、
院内がん登録データを提出 今後分析・解析へ
- 海外FD研修への参加（平成29-31年度に、毎年2大学が企画）
平成29年度 金沢大企画 1名、石川看護大企画 2名
平成30年度 金沢医科大企画（高雄医科大学） 2名
- オンコロジーセミナーで信州大学は
第1回および第4回の本会で症例提示を担当
第5回の本会を主催（11月22日（木））
- ライフステージ事例検討会に毎回参加

北信がんプロの企画に協力

北信がんプロ 第5回オンコロジーセミナー

大学院生、がん診療連携拠点病院・地域がん診療推進病院等の医師、
薬剤師、看護師、診療放射線技師、臨床検査技師など医療スタッフの皆さま

日時	会場
2018年11月22日 (木) 18:00~20:00	各大学・施設 TV会議室
プログラム	

I. 症例検討会 テーマ「AYA世代のがん症例」

【症例1】異所性ACTH産生胸腺神経内分泌腫瘍の一例
信州大学 医学部附属病院信州がんセンター 奥村太規 先生

【症例2】寛解導入療法中に痔疾による長期臥床が誘引と考えられた
肺動脈血栓症を合併したT細胞性リンパ芽球性リンパ腫の
AYA世代症例
山梨大学 医学部小児科 原間大輔 先生

II. 特別講演

がん転移前の臓器の転移土壌

信州大学 医学部分子医化学教授 平塚千枝 先生！



受講手続き (大学院生)

問い合わせ先

オンコロジーセミナーへの
ご参加お待ちしております！

海外FDで訪問した高雄医科大学の関係者が、
信州大学医学部附属病院を表敬訪問
(2019年2月18日)



第5回オンコロジーセミナーではオブザーバー
参加の山梨大学の先生方にも症例提示を
お願いし開催した

希少がんデータベース構築に向けた信州大学の試み

➤ 希少がんで胸腺がんの本邦における発症頻度を解析

全国のがん診療拠点病院等からなる院内がん登録を用いて、
本邦における希少がんとされる胸腺がんの発症頻度を算出した

Koizumi T et al paper revised中

➤ 長野県における院内および全国がん登録から見た肺がんの特徴を解析

長野県の肺がん罹患率は低く、かつ早期発見例が多いことを報告

田仲 他 肺癌にrevised中

• **がんゲノム医療の実際:3 家族性腫瘍・遺伝性腫瘍(胚細胞変異がん)**

遺伝性腫瘍総論	(遺伝医学)
遺伝性腫瘍各論	(遺伝医学)
遺伝カウンセリング	(遺伝医学)
ゲノム情報における先制医療	(遺伝医学)

• **小児・AYA世代のがん4 小児・AYA世代腫瘍各論2(この時期に起きる成人腫瘍)**

AYA世代婦人科がん	(婦人科)
小児・AYA世代のがん 呼吸器・消化器領域	(腫瘍内科)
AYA世代甲状腺がん	(乳腺外科)
AYA世代乳がん	(乳腺外科)

• **晩期合併症と長期フォローアップの問題点(1)**

小児がんサバイバーにおける晩期合併症(総論)
(小児科)

晩期合併症のフォローアップとその問題二次がん
(小児科)

放射線治療と晩期合併症(対策も含めて)(放射線科)

小児がんサバイバーの社会的問題
(小児科)

• **晩期合併症と長期フォローアップの問題点(2)**

小児がん治療における性腺機能障害
(小児科)

婦人科がん治療における性腺および妊孕能への影響
(婦人科)

放射線治療に伴う性腺機能障害(対策も含めて)
(放射線科)

女性がん患者の妊孕性温存方法と不妊治療
(婦人科)

男性がん患者の妊孕性温存方法と不妊治療
(婦人科)



金沢大学・信州大学・福井大学・富山大学
金沢医科大学・石川県立看護大学

入場
無料
申込
不要

信州大学がんプロ市民公開講座 これからのがん治療を考える

一般の方および医療人を対象にがん医療の市民公開講座を開催します。講演1では、がん細胞のもつ遺伝子情報から治療薬を決めていく「がんゲノム医療」が信州大学医学部附属病院でも今年から開始されましたのでその紹介を行います。講演2では松本市と姉妹都市提携している藤沢市で在宅医療で活躍されている先生から「在宅医療」の実際と意義について講演をいただきます。皆様とこれからのがん医療について考える機会となればと思っております。奮ってご参加ください。

日時 平成30年10月6日(土) 会場 信州大学旭研究棟9階
15:30 開始 講義室A・B

講演1 15:30 - 16:15
「信大病院におけるがんゲノム医療」
信州大学医学部附属病院信州がんセンター

講演2 16:20 - 17:10
「がんの在宅医療」
一住み慣れた家で最期まで 松本姉妹都市「藤沢」の在宅がん緩和医療
藤沢本町ファミリークリニック
松木孝道先生



・お車で来学の場合は、医学部附属病院外来
駐車場に駐車してください。(有料)
・会場は、正門から150m程奥の建物です。

連絡先
〒390-8621 松本市旭3-1-1
信州大学医学部がんプロ事務局
TEL:0263-37-2580
FAX:0263-37-3080
Mail:mgaku_gp@shinshu-u.ac.jp

主催：超少子高齢化地域での先進的がん医療人養成 北信がんプロ
後援：AMEDゲノム創薬基盤推進研究事業「ゲノム医療従事者の育成プログラム開発」班

平成30年10月6日(土)
信大病院のがんゲノム医療の紹介と
ライフステージに応じたがん患者の
終末期在宅医療の講演会を開催
※講演2の松木先生は、
松本市の姉妹都市藤沢市でクリニック開業

参加者：約60名

附属病院の診療を通じて行う北信がんプロ教育事業

- クリニカルシーケンス外来(2017年10月から稼働) 毎週月曜日開催
OncoPrime™ 対象 18名 うち12名検査提出
NCCオンコパネル(先進医療B) 1名検査提出、登録
- クリニカルシーケンス(エキスパートパネル)会議
月一回の定期会議を開催
がんゲノム中核病院(岡山大学病院)と適時共同開催(TV会議)
- 院内全体で行うキャンサーボード(月一回)を開催

附属病院で行う診療業務に参加させながら
ゲノム医療の実践および幅広いがん診療に接する

がん拠点病院としての活動と連携した教育・指導・研修会開催

- 長野県内医療者対象の医療者研修会開催（年一回）

- 市民公開講座（年5回開催）

都道府県がん診療連携拠点病院 医療者研修会

信大病院におけるがんゲノム医療推進の試み

日時 平成30年3月4日（日）
14:00～16:00（開場13:30）

場所 信州大学医学部附属病院 外来棟4階 大会議室

対象 医療従事者の方

参加無料 **申込不要**

プログラム

1. 信大病院におけるクリニカルシーケンスの導入
古庄 知己 先生 信州大学医学部附属病院 遺伝子医療研究センター
2. LC-SCRUM Japanについて
小泉 知展 先生 信州大学医学部附属病院 信州がんセンター
3. 遺伝性乳がん卵巣がん症候群
伊藤 研一 先生 信州大学医学部附属病院 乳腺・内分泌外科
4. がん遺伝カウンセリングの役割と育成
小島 朋美 先生 信州大学医学部 遺伝子医学・予防医学教室

◆第3期がんと対策推進基本計画では、ゲノム医療の推進が挙げられています。
◆信州大学医学部附属病院におけるゲノム医療推進への試みと体制づくりを紹介し、国内のがんゲノム医療推進の動向も紹介します。

主催：信州大学医学部附属病院 信州がんセンター
共催：多様な新ニーズに対応する「がん専門医療人材（がんプロフェッショナル）」養成プラン（北信がんプロ）
問合せ先：信州大学医学部附属病院 医療支援課医療連携係
〒390-8621 松本市旭3-1-1
TEL: 0263-37-3391 FAX: 0263-37-2454
E-mail: sca@shinshu-u.jp



信州大学医学部附属病院
信州がんセンター公開講座

がんゲノム医療 クリニカルシーケンスについて

平成30年11月1日（木）18:00～19:00（開場17:30）

*がん細胞の持つ遺伝子情報を網羅的に検索することで、患者ごとのがんの特徴や適切な治療薬を選択するゲノム医療が進められています。
クリニカルシーケンスはその検査に相当するもので、その実際と課題について解説します。

参加無料 **申込不要**

プログラム

- ◇信大病院におけるがんゲノム医療の試み
小泉 知展 先生 信州大学医学部附属病院 信州がんセンター
- ◇がんゲノム医療における遺伝カウンセリングの役割
小島 朋美 先生 信州大学 医学部 遺伝医学教室

会場 信州大学医学部附属病院 外来棟4階 大会議室

一般の皆様や医療関係者など幅広いご参加をお待ちしております。

主催 信州大学医学部附属病院 信州がんセンター
共催 【北信がんプロ】多様な新ニーズに対応する「がん専門医療人材（がんプロフェッショナル）」養成プラン
後援 AMEDゲノム医療基盤推進研究事業「ゲノム医療従事者の育成プログラム開発」班

問合せ先：信州大学医学部附属病院 医療支援課医療連携係
TEL: 0263-37-3391 E-mail: sca@shinshu-u.jp

その他の渉外活動

- リレーフォーライフに参加（毎年参加）
- 信州大学がん哲学外来 in 軽井沢（年2回開催）
- 子宮頸がん予防啓発プロジェクト共同開催
（年一回開催で今年8回目）



このような活動もがんプロ関連として共催で開催し、がんプロ所属院生や若手医療者の参加を促し教育活動に利用している

第5回信州大学がん哲学外来 in軽井沢

がん哲学外来カフェとは

がんの告知を受けた時に誰しも抱える「悩み・不安・思い・願望」…医療現場と患者の間にある「医療の隙間」を埋めるべく立場をこえて集う対話の場です。今回は軽井沢の地に、がん哲学外来創始者の極野 興夫先生をお招きしました。患者と家族3000人との対話から生まれた、どんな境遇であっても「人はいかにして生きるか」という人生の基軸になるような言葉の処方箋をみなで共有しませんか。サロン形式で語り合います。



極野 興夫 教授
（順天堂大学医学部 病理・腫瘍学講座）



平成31年3月10日（日）10:00～12:00 開場 9:30

定員 20名（先着順） 参加費無料

がん患者の方や病気で悩みの方、その家族や友人、ご興味のある方

申込用紙に記入の上、FAX・メールにてお申し込み下さい。

会場：軽井沢病院 2階 会議室

長野県北佐久郡軽井沢町大字長倉2375番地1

TEL：0267-45-5111

【アクセス】

・北陸新幹線軽井沢駅～車で10分

・しなの鉄道中軽井沢駅～徒歩5分

・上信越自動車道 碓氷軽井沢IC～車で30分

◆お問い合わせ・申込先◆

信州大学医学部附属病院 医療支援課 医療連携係

TEL：0263-37-3391 FAX：0263-37-2854

E-mail：sca@shinshu-u.ac.jp

共催：信州大学医学部附属病院

軽井沢町国民健康保険軽井沢病院

多様な新ニーズに対応する「がん専門医療人材（がんプロフェッショナル）」

養成プラン（北信がんプロ）



信州大学におけるがんプロの 目標および指導体制

- **がんゲノム医療の経験と習得**
- **多職種を含めたチーム医療実践や患者支援事業への参加を促し、
その中でがんゲノム医療および認定遺伝カウンセラーの重要性を
修得させる**
- **長野県立こども病院との連携を通じて、小児がんだけでなく、
長期的なライフステージに応じた診療の重要性を習得させる**

北信がんプロ 外部評価委員会

2019年3月8日(金)

富山大学コーディネーター

富山大学附属病院臨床腫瘍部 林 龍二

2018年の実績

1. E-learning 作成
2. 演習
3. 地域がん医療の特徴把握
4. スタッフ研修(FD)
5. 人材交流
6. 市民教育・啓発
7. 学生受け入れ

1. 講義 elearning作成

小児・AYA・希少がん

2	小児・AYA世代の がん治療総論	小児・AYA世代におけるがんの化学療法、手術療法、放射線治療および緩和治療の概論を成人と比較しながら学ぶ。さらにこの世代を対象とした全日本共同研究体制、国際共同研究体制について学び、その課題について知る。	小児領域における薬物動態	小児がん患者に薬物投与をする際、成人との違い、注意点を学ぶ(薬学的な視点から)	薬学・ 田口雅登
3	小児・AYA世代腫瘍各論1 (この時期特有の腫瘍)	小児・AYA世代における小児固形腫瘍(神経芽腫、肝芽腫・腎芽腫など)、胚細胞性腫瘍・奇形腫群腫瘍、造血器腫瘍、脳・脊髄腫瘍、円形肉腫の年齢に応じた特徴・差異と診断・治療について学ぶ。	神経芽細胞腫・肝芽腫	小児・AYA世代における小児固形腫瘍(神経芽腫、肝芽腫・腎芽腫など)の診断と治療について学ぶ	第二外科・ 廣川慎一郎
			奇形腫症候群	胚細胞性腫瘍・奇形腫群腫瘍の一般的な特徴、診断、治療と、年齢に応じた腫瘍の特徴と差異について学ぶ	第二外科・ 廣川慎一郎
			白血病	小児・AYA世代に多い造血器腫瘍の種類、診断と治療、特に治療プロトコールの特徴と骨髄移植の適応、長期的な問題点について学ぶ	小児科・ 野村恵子
8	小児・AYA世代のがん患者・ 家族に対する支援(1)	小児・AYA世代のがん経験者の就学、就職、就労、恋愛、結婚、出産など、壮年・高齢のがん患者とは異なる小児・AYA世代特有の問題についての概論、教育の現状と課題、精神発達への影響、病気や治療への不安・ストレスへの支援、意思決定支援、家族(配偶者や兄弟姉妹)支援およびエンドオブライフケアなどについて学ぶ。	小児・AYA世代がん患者の家族ケア	家族が代理意思決定する際の支援、意思決定支援、親子関係・同胞との関係性	小児科・ 西田直徳

ライフステージ3

3	ライフステージにおける高齢者ががん医療一機能・合併症の特徴と評価	高齢者における臓器機能の低下の特徴とその評価方法について学ぶ。	高齢者の臓器機能	高齢者における臓器機能低下と薬物療法の関係を理解し、臨床的応用について述べることができる。	臨床腫瘍部・林龍二
			高齢者患者に多い合併症	高齢者患者手術の適応、術式、術後管理の違いを成人と比較しながら学び、社会生活の継続を可能にする治療について述べるができる。	消化器外科・橋本伊佐也
			高齢者と認知機能	認知機能を有する患者への対応と治療選択における問題点を理解し、その解決方法を考察し、説明することができる。	精神神経科・古市厚志
			高齢者の機能評価 (Comprehensive geriatric assessment)	CGAの概念と意義を理解し、臨床応用について説明することができる。	消化器内科・安藤孝将
			CGAの実際とエビデンス	CGAについてのエビデンスと限界について理解し、CGAを実際に測定、解釈することができる。	消化器内科・安藤孝将

ライフステージ4

4	ライフステージにおける高齢者がん医療—治療の特徴	臓器機能低下を有する高齢者に対するがん治療方法の特徴と課題について学ぶ。	フレイルにおける外科治療	高齢者を含めたフレイルティーを有する患者の術前評価、手術適応、周術期管理を理解し、実際に手術あるいはその支援を実践できる。	消化器外科・吉岡伊作
			腎機能低下時の薬物療法	腎機能低下時に用量調節が必要な薬剤を知っており、実際に使用あるいは使用支援することができる。	泌尿器科・北村寛
			高齢者における緩和ケア	高齢者における緩和医療の特徴と問題点、その解決策を理解し、実践できる。	臨床腫瘍部・梶浦新也
			CGAに応じた治療法選択	CGAの測定結果に応じた治療方針決定の実例を学び、その意義と課題を理解する。	臨床腫瘍部・梶浦新也
			高齢者に対する薬物療法における注意点	がん薬物療法を実施中の高齢患者の有害事象アセスメントについて学ぶ。	化療センター薬剤師・高橋則正

2. 演習

高齢化した地域医療を個別化医療で支えることができる専門的薬剤師養成コース(インテンシブ)演習

富山大学薬学系では、北信4県の薬剤師を対象に演習を実施します。
『ゲノム医療・・・がん患者の遺伝子に基づく薬物療法』『在宅医療でのがん治療』および『遺伝子変異検出』について、それぞれを専門とする薬学部教員による講義・実習をします。奮ってのご参加をお願いします。

日時 平成30年2月24日(土)13:00~17:00 (予定)

場所 富山大学杉谷キャンパス・薬学研究棟II
3階 TDM実験室、5階 薬物治療学研究室等

講義・実習担当

櫻井宏明(がん細胞生物学研究室)
藤 秀人(医療薬学・保険薬局学研究室)
松本裕樹(高屋敷はなのき薬局)
宇野恭介(薬物治療学)

薬剤師コースでは演習として、学部スタッフ、学外薬剤師の協力を得て講義・実習を行う予定。



2. 演習

北信がんプロ 第2回オンコロジーセミナー

大学院生、がん診療連携拠点病院・地域がん診療推進病院等の医師、
薬剤師、看護師、診療放射線技師、臨床検査技師など医療スタッフの皆さま

日時：2018年3月26日（月）18：00～20：00

会場：各大学・各医療施設等がんプロ会議室

プログラム

症例検討1(担当:富山大学附属病院 消化器・腫瘍・総合外科)

頸部食道癌に対するCRT後再発に対し、
下咽頭喉頭切除食道全摘を施行した1例

症例検討2(担当:金沢医科大学 腫瘍内科)

免疫チェックポイント阻害薬にてIPを伴う
急性増悪を来した低心機能胃癌多発肺転移の1例

特別講演

演題「大腸発がんから進展における
新たな進化機構について」



九州大学病院別府病院
外科 教授 診療科長

三森 功士 先生

受講手続き(大学院生)

- ・受講を希望する学生は履修届を所属大学の学務係に提出してください。
- ・詳細は所属大学の学務係にお問い合わせください。

問い合わせ先

- ・ご不明な点は所属大学の学務担当係または北信がんプロ事務局にお問い合わせください。



超少子高齢化地域での先進的がん医療人養成
北信がんプロ事務局
[金沢大学大学院医薬保健学総合研究科内]
〒920-8640 金沢市宝町13-1
TEL 076(234)4205/(265)2854 FAX 076(265)2855

E-mail gpro@med.kanazawa-u.ac.jp <http://www.gan-pro.net/>

オンコロジーセミナーへの
参加お待ちしております。

4. スタッフ研修 (FD)

がんゲノム医療 研修会

第1回 富山県 がんゲノム医療研修会

日時:2018年5月18日(金曜日) 午後6時~

会場:富山大学附属病院 2階 臨床講義室2

対象:富山県内の医師、歯科医師、看護師、薬剤師、
その他がん診療に携わるすべての人

事前申込不要
当日 無料
お申し込みください

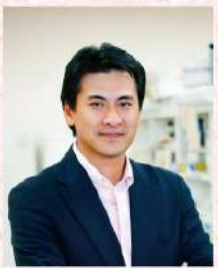
演題

ゲノムバイオマーカー に基づくがん最適化医療

講師

国立がん研究センター先端医療開発センター
トランスレーショナルリサーチ・バイオマクス分野 分野長

土原 一哉 先生



ゲノム変異による細胞のがん化のメカニズムは基礎研究の領域に長くとどまっていたが、分子標的薬と次世代シーケンサーの登場により劇的に状況が変化した。多くの分子標的薬は変異により活性化した酵素を特異的に阻害することで臨床的効果を示す。変異プロファイルからの種別分子の検索は、いまや治療選択に必須であり、効率がよく費用も高い各種の遺伝子検査パネルが開発され、米国での実用化に続き日本でも臨床的有用性が検討されている。さらにがんの変異プロファイルそのもの(tumor mutation burden)が免疫チェックポイント療法の有効な指標となることも示され、バイオマーカーとしてのゲノム情報の重要性はより増している。各国でがんゲノム検査とそれに基づく治療選択の臨床的導入が図られている。日本では平成29年度末にがんゲノム医療中核拠点病院と連携病院が指定され、全国規模で良質なゲノム医療を提供する体制が構築された。検査前後の患者への十分な説明、適切な検体の準備、精度管理された検査、専門医による診断、二次的所見としての生殖細胞系変異への対応、臨床ゲノムデータの収集と活用など、広範な議論をもとに設計されたシステムは特に患者利益に重点を置いたものである。一方、ゲノム診断によって遺伝可能な変異の通知範囲はまだまだ限られており、治療後の拡大がん検査の課題である。

(主催) 富山大学附属病院集学的がん診療センター、北信がんプロ
(後援) 富山県がん診療連携協議会
(お問い合わせ先) 富山大学附属病院 臨床腫瘍部(集学的がん診療センター)
〒930-0194 富山県市杉谷 2930 TEL:076-434-7808/FAX:076-434-5112

第2回 富山県 がんゲノム医療研修会

日時:2018年6月9日(土曜日) 10:30~

会場:富山大学附属病院 総合臨床教育センター2階 多目的研修室

対象:富山県内の医師、歯科医師、看護師、薬剤師、
その他がん診療に携わるすべての人

事前申込不要
当日 無料
お申し込みください

演題

がんゲノム医療 の臨床実装について

講師

京都大学大学院 医学研究科
腫瘍薬物治療学講座 教授

武藤 学 先生



ゲノム解析技術の進歩により、次世代シーケンサー(NGS)による網羅的遺伝子解析が可能になり、種々の症例におけるゲノム情報から、最適な薬をリストアップするゲノム医療の時代に入りました。特に、がん領域では、がん組織からのゲノム解析(クリニカルシーケンシング)に基づいた Precision Cancer Medicine が欧米を中心に急速に発展し、さらには Beyond Genomic Medicine に進もうとしている。我が国ではがんゲノム医療中核拠点病院と連携病院が選定され、保険診療の中で実施する体制が構築しようとしている。われわれは、わが国ではじめて、米国 CLIA 認証を受けたがんゲノム検査(OncoPrime)を構築し、平成27年4月より臨床導入した。これまで200例以上が自由診療で検査を受け、actionable mutation は約90%に検出され、druggable mutation も約50%に検出されるが、多くが応外の変異である。治療は、院内の遺伝外・未承認薬等管理室およびおよび評価委員会での審査にて承認後実施している。二次的所見の頻度は約39%であったが、遺伝カウンセリング体制の構築も課題である。本講演では、がんゲノム医療の臨床実装の現状と将来展望、そして課題について議論したい。

(主催) 富山大学附属病院集学的がん診療センター、北信がんプロ
(後援) 富山県がん診療連携協議会
(お問い合わせ先) 富山大学附属病院 臨床腫瘍部(集学的がん診療センター)
〒930-0194 富山県市杉谷 2930 TEL:076-434-7808/FAX:076-434-5112

第3回 富山県 がんゲノム医療研修会

日時:2018年9月14日(金曜日) 午後6時~

会場:富山大学附属病院 3階 大会議室

対象:富山県内の医師、歯科医師、看護師、薬剤師、
その他がん診療に携わるすべての人

事前申込不要
当日 無料
お申し込みください

テーマ

がんゲノム医療 リキッドバイオプシーとは

東京医科歯科大学 医学部附属病院
中央診療施設等 連携センター 特任講師
池田 貞勝 先生



富山大学附属病院集学的がん診療センター、北信がんプロ
富山県がん診療連携協議会
富山大学附属病院 臨床腫瘍部(集学的がん診療センター)
〒930-0194 富山県市杉谷 2930 TEL:076-434-7808/FAX:076-434-5112

は、医学系博士課程の医学特論の単位認定の一部となります



第4回 富山県 がんゲノム医療研修会

日時:2018年11月22日(木曜日) 午後6時~

会場:富山大学附属病院 総合臨床教育センター2階 多目的研修室

対象:富山県内の医師、歯科医師、看護師、薬剤師、
その他がん診療に携わるすべての人

※当研修会は、医学系博士課程の医学特論の単位認定の一部となります

演題

ゲノム医療時代の がん診療

講師

札幌医科大学医学部 遺伝医学 教授
櫻井 晃洋 先生



がんの診断は長らく病理診断と画像診断がその中核をなし、今後その重要性は変わらないが、近年ここ数年ゲノム情報ががんの質的診断に(場合によっては量的診断にも)有用なツールとして医療実装がなされてきた。わが国でもがんゲノム医療中核拠点病院体制が構築し、またがん遺伝子パネルの先進医療も始まるなど、がんゲノム医療の急速な進展、個別化医療の実現が期待される。また、がん組織のゲノム解析によって、これまで考えていた以上に、生殖細胞系変異を背景に有する例が多いことも明らかになり、遺伝性・非遺伝性の区別も次第に明確になると考えられる。すべてが連続的に推移する中で、今後はゲノム情報に基づいた疾患概念の整理も生じることが予想される。こうした現状と将来について、遺伝医療という立場に身を置く者として考えてみたい。



(主催)
(後援)
(お問い合わせ先)

富山大学附属病院集学的がん診療センター、北信がんプロ
富山県がん診療連携協議会
富山大学附属病院 臨床腫瘍部(集学的がん診療センター)
〒930-0194 富山県市杉谷 2930
TEL:076-434-7808/FAX:076-434-5112

事前申込不要
当日 無料
お申し込みください

様々なFD

がん免疫療法講演会

Adoptive Cell Therapy with Gene-engineered T-cells
— Specificity, Construct, and Cells —

遺伝子改変 T 細胞の輸注療法
— 特異性、コンストラクト、細胞 —

しくひろし
講演 珠玖 洋 先生

三重大学大学院医学系研究科
遺伝子免疫細胞治療学/個別化がん免疫治療学 教授

2018年9月10日(月)16:00~
於:臨床講義室2

遺伝子操作によりがん特異性を付与された T 細胞の輸注療法に大きな期待が掛けられている。T 細胞レセプター(TCR)そのものを用いた遺伝子改変細胞(TCR-T 細胞)及び、免疫グロブリンの可変領域遺伝子と T 細胞の細胞内領域を組み合わせたキメラ遺伝子導入細胞(CAR-T 細胞)がその主たるものである。本セミナーでは、数多くのレッスンをベースに、がんに対する Adoptive Cell Therapy の今後につき考えてみたい。

(主催) 富山大学附属病院集学的がん診療センター、北信がんプロ
(お問い合わせ先) 富山大学 大学院医学薬学系研究部(医学)免疫学講座
〒930-0194 富山市杉谷 2630 TEL: 076-434-7251/FAX: 076-434-5019



平成29年度 富山大学附属病院
がん医療に携わる医師に対する

コミュニケーション 技術研修会

「悪い知らせ」を伝えられることは、患者とその家族にとって衝撃的な出来事であり、その後の日常生活に大きな影響を与え、場合によっては治療の選択を誤らせることが知られています。また同時に「悪い知らせ」を伝える側の医療者にとっても大きなストレスを伴います。この研修会では、患者が納得しううえで安心して治療法等の選択ができるように、患者-医師間のコミュニケーションの質の向上を目的としています。

開催日

2017年
9月30日(土)・10月1日(日)
(2日間通しての研修会です)

会場

富山大学附属病院
総合臨床教育センター2階
多目的研修室

落ち着いた環境のもとで、演技力に定評のある模擬患者を相手に合計8時間のロールプレイ実習を行います。

- 受講者の声
- 今までは「自分が話すこと」ばかりに注意を向けていましたが、この研修会を受講して、「患者さんの言葉をよく聴き、受け止めること」が大切であるということを学びました。
 - ロールプレイを通して、本を読むだけでは習得できないスキルを学ぶことができました。

- 共 催: 富山大学附属病院 集学的がん診療センター
平成29年度大学教育再生戦略推進費多様な新ニーズに対応する「がん専門医療人材(がんプロフェッショナル)」、養成プラン
若狭子高齢化地域での先進的がん医療推進「北信がんプロ」
- 協 力: 一般社団法人 日本サイコoncology学会 / 特定非営利活動法人 日本緩和医療学会
- 受 講 費 格: がん診療経験年数3年以上の医師
- 時 間 (予定): 1日目 10:00~18:00 / 2日目 8:30~15:00
- 受 講 料: 無料 ※グループで食事をとする際の昼食代として2,000円(2日分)及び受講者のために要する費用(交通費、宿泊費等)は受講者負担となります。
- 内 容: 難治がん、再発、抗がん治療の中止など悪い知らせを患者に伝えるロールプレイ (詳細は <http://www.share-ost.jp/index.html> をご確認ください)
- お申し込み: 富山大学附属病院 臨床腫瘍部
申込用紙にご記入の上、FAX【076-434-5112】までお送りください。
- お申し込み期限: 2017年7月31日
- お問合せ先: 担当 前田
TEL 076-434-7808
e-mail: msaedan@med.u-toyama.ac.jp



エンドオブライフ・ケア援助者養成基礎講座 in 富山

看取りへの「苦手意識」から「関わる自信」へ
人生の最終段階(エンドオブライフ)をケアできる人材育成プログラム

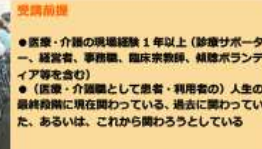


- ◆日程: 2017年12月16日(土)17日(日)
- ◆時間: 一日目 9:00-17:30、二日目 9:00-17:00
- ◆会場: 富山大学附属病院 多目的研修室(総合臨床教育センター2階)
- ◆対象: 富山・石川・福井・長野県に勤務する医療・介護・福祉従事者
- ◆定員: 先着100名
- ◆受講料: 無料
- ◆共催: 富山大学附属病院 集学的がん診療センター、一般社団法人エンドオブライフ・ケア協会、若狭子高齢化地域での先進的がん医療推進「北信がんプロ」

講座概要

人生の最終段階にある人やその家族と関わる事を苦手と感じる人は少なくありません。日に日に食事が少なくなり、やがて暮つていく人と、どのように関わってよいかわからない援助者が、自信を持って支援にあたれるようになることを目的として、この講座は企画されました。解決が困難な苦しみを抱えた人に接しても、「援助を言葉にする」ことで、医療・介護の仕事に携わらず、一人ひとりが自信を持って人生の最終段階にある人と関われるようになることを目指します。

人生の最終段階に共通する自然経過、自宅・介護施設で求められる症状緩和や、意思決定支援の基礎知識のほか、エンドオブライフ・ケアの中でも特に難しいとされるスピリチュアルケアに対するケアについて、1対1での対応方法から多職種連携で行う支援方法まで学びます。



- 受講前提
- 医療・介護の現場経験1年以上(診療サポーター、一、経営者、事務職、臨床教師、研修ボランティア等を含む)
 - (医療・介護職として患者・利用者)の人生の最終段階に関わっている、過去に関わっていた、あるいはこれから関わりようとしている
- 申込方法
- Web 以下のURLまたは右の二次元バーコードからWebフォームにアクセスし、お申込みください。
 - FAX、郵送 講座に必要事項をご記入の上、FAX または郵送でお送りください。
- <https://endofflifecare.or.jp/program/20171217toyama/>

講師 小澤 俊俊



当協会理事・めぐみ在宅クリニック院長
1953年東京生まれ。世の中で一番、苦しんでいる人のために働きたいと願い、医師を志し、1987年東京国家総合大学医学部臨床学専攻。1991年富山大学大学院医学研究科臨床学専攻修士課程修了。救命救急センター、農村医療に専攻した後、1994年より東京国立総合病院 内科・消化器科勤務。1996年に北信がんプロ創設となる。2006年めぐみ在宅クリニックを開設。医療として現在に在る。2000年より学校を中心に「いのちの授業」を展開。2013年より、人生の最終段階に対応できる人材育成プロジェクトを開始。2015年4月、協会発起人。

学習要素

1. 課題背景(2025年問題に備えて)
2. 人生の最終段階に共通する自然経過
3. 苦しむ人への援助と5つの課題
4. 意思決定支援
5. 自宅・介護施設で求められる症状緩和
6. 多職種連携で「援助」を言葉にする(マクロ)
7. 1対1で対応する(ミクロ)

お申込 Web、郵送、FAXで承ります <https://endofflifecare.or.jp/program/20171217toyama/>

受講者の声

- 30年余の現場経験の中で、苦手意識を持っていた人生の最終段階におけるかかわりについて、具体的に教えていただきました。
- 介護職として寄り添えることがたくさんあり、難化、反復、沈黙は介護職でもできるということを知ることができました。
- 人生の最終段階を迎えた人に、声をかける内容は、これまで数回なかった。相手を知ること、声かけの幅を広げることができることを学びました。
- 多職種の方々との学びを共にさせていただき、援助を仕事にすることへの怖さが解消された。
- 援助者として、相手を理解して、支えて、問題を解決して・・・と、今まで考えていたことが開通して、その瞬間に自分が乗りやがて苦手意識を克服したという事がわかり、考え方が変わりました。

一般社団法人エンドオブライフ・ケア協会 電話: (03)6435-6404 (土日祝日を除き10:00~17:00)
〒105-0001 東京都港区虎ノ門三丁目17番1号 TOKYU REIT 虎ノ門ビル6階
Web: <http://endofflifecare.or.jp/> facebook: <https://www.facebook.com/endofflifecare.or.jp> e-mail: info@endofflifecare.or.jp

6. 市民教育・啓発

富山大学附属病院

がんゲノム医療

市民公開講座

～がん治療の新たな可能性～

日時

2018年

9月22日(土) 10:30 ▶ 12:45

場所

富山国際会議場大手町フォーラム
3F メインホール
〒930-0084 富山市大手町1番2号
☎076-424-5931



特別講演
「がんのゲノム医療」

国立研究開発法人 国立がん研究センター
理事長・総長

中 釜 斉

■ 講師 ■

富山大学附属病院 臨床腫瘍部 教授	林 龍二
県都市民病院 副院長	日高 隆雄
富山大学附属病院 臨床腫瘍部 副部長	梶浦 新也
富山大学附属病院 第二外科	荒井 美栄
富山肺がん患者会ふたば 副代表	長 光代

■主催：富山大学附属病院
 ■共催：北信がんプロ 文部科学省「多様なニーズに対応する「がん専門医療人材（がんプロフェッショナル）」養成プラン」
 ■後援：富山県・富山市・富山県医師会・富山市医師会・富山県薬剤師会・富山市薬剤師会・富山県看護協会・富山県がん診療連携協議会
 ■お問い合わせ
 富山大学附属病院 病院総務課
 TEL.076-434-7929
 FAX.076-434-1463
 E-mail.magazine@med.u-toyama.ac.jp



一緒に
考えてみませんか。
「在宅緩和ケア」
という選択。

医師や看護師、薬剤師など、医療の専門家と、
福祉の専門家がチームを組み、在宅で緩和ケアを提供する。
そんなケースが増えてきています。
公開講座では、県内の取り組み事例を紹介しながら、
「人生会議」や「がん哲学外来」など、
今、大きく注目されている動きもわかりやすく解説します。



平成30年度 富山大学附属病院 緩和ケア市民公開講座

日時 2019年 2月10日(日) 13:00～ (開場12:30)

会場 富山国際会議場 3階メインホール
富山市大手町1番2号

プログラム

司会 廣川 奈美子(アナウンサー/KOTONOHAI)

第一部 座長 厚生労働省病院 緩和ケアセンター長 村上 望

講演①在宅緩和ケア/新川地域における取り組み ～「あんしん在宅ネット」を利用した多職種連携・病診連携～
新川地域在宅医療推進協議会・川瀬病院院長 川瀬 紀夫

講演②在宅緩和ケア/高岡地域における取り組み ～人生会議について～ 高岡市医師会在宅医療推進部理事・なほはなクリニック院長 林 智彦

講演③在宅緩和ケア/拠点病院における取り組み ～がん哲学外来とCST～ 富山県立中央病院 緩和ケアセンター部長 竹川 茂

第二部 座長 富山大学附属病院 臨床腫瘍部 教授 林 龍二

緩和ケア合同検討会議について 富山大学附属病院 臨床腫瘍部 副部長 梶浦 新也

緩和ケア合同検討会議(パネルディスカッション)～在宅緩和ケアについて～ 川瀬 紀夫・林 智彦・竹川 茂・村上 望・梶浦 新也

参加無料

定員 800名
※先着順、この定員
を超えた場合は
ご参加いただけません。



主催 富山大学附属病院、北信がんプロ(文部科学省「がん専門医療人材」養成プラン)
 共催 富山県がん診療連携協議会、富山県立中央病院、富山県市民病院、富山県医師会、富山県薬剤師会、富山県看護協会、富山県がん診療連携協議会
 後援 富山県、富山市、富山県医師会、富山県薬剤師会、富山県看護協会、富山県がん診療連携協議会

7. 教育コース受け入れ状況

北信がんプロの教育コース(受入目標と実績)

(平成31年3月7日現在)

本科生コース(平成30年4月受入開始)

コース名	職種	受入目標人数						受入実績						
		H29	H30	H31	H32	H33	合計	H29	H30	H31	H32	H33	合計	
金沢大	先端的個別化医療	医師	0	5	5	5	5	20	0	9				9
	個別化薬物療法	薬剤師	0	1	2	2	2	7	0	1				1
	高度化医学物理士	医学物理士	0	2	2	2	2	8	0	3				3
信州大	ゲノムがん治療医	医師	0	2	2	2	2	8	0	2				2
	遺伝カウンセラー	遺伝カウンセラー	0	1	1	1	1	4	0	1				1
富山大	高齢がん患者対策	医師	0	4	4	4	4	16	0	6				6
	個別化医療薬剤師	薬剤師	0	1	1	1	1	4	0	1				1
福井大	地域がん専門医	医師	0	2	2	2	2	8	0	4				4
金沢医大	がん専門医リーダー	医師	0	2	2	2	2	8	0	2				2
石川看護大	がんライフステージ	看護師	0	2	2	2	2	8	0	1				1
	合計		0	22	23	23	23	91	0	30	0	0	0	30

インテンシブコース 平成29年10月受入開始(一部30年4月受入開始)

コース名	職種	受入目標人数						受入実績						
		H29	H30	H31	H32	H33	合計	H29	H30	H31	H32	H33	合計	
金沢大	がんゲノム生涯教育	医師	2	6	6	6	6	26	2	12				14
	個別化薬物実践	薬剤師	0	1	3	4	4	12	0	4				4
	がんゲノム多職種連携入門	多職種	0	10	10	10	10	40	0	26				26
富山大	高齢がん患者対策	医師	2	2	2	2	2	10	2	2				4
	高齢対策薬剤師	薬剤師	1	2	2	2	2	9	2	5				7
	在宅緩和リハ	看護師	0	1	2	2	2	7	0	6				6
福井大	在宅栄養管理	多職種	0	12	22	22	22	78	0	0				0
	在宅緩和医療	多職種	0	24	24	24	24	96	0	2				2
金沢医大	がん集学的治療	医師	1	2	2	2	2	9	1	1				2
石川看護大	がんライフケア	多職種	2	5	5	5	5	22	3	10				13
	合計		8	65	78	79	79	309	10	68				78

富山大学研究医養成プログラム (基礎研究演習)

富山大学医薬系事務部医薬系学務課

目的

- 富山大学研究医養成プログラムは、本学医学部医学科の学生が本格的な研究を行い、その面白みや醍醐味を体験することを通して学生の研究マインドや研究能力を滋養することを目的とし、医師資格を持った優れた医学研究者（研究医）の創出を目指す。

コース履修方法

1. 開始時期

履修開始は、1年次後学期から3年次後学期までとし、希望する講座の面接による許可を得て、各学年の指定する期間に手続きを行う。

2. 履修期間

原則として3年以上とし、併せて「基礎研究演習」3単位以上を取得すること。

3. 配属先

配属先は、原則として大学院医学薬学研究部医学系講座（附属病院を含む）とする。

臨床腫瘍部の内容

1. 腫瘍生物学の輪読会
2. がん薬物療法の予後因子の検討
3. 腸内細菌と腫瘍病態、薬物反応との関係
4. 緩和医療における研究
5. 北信がんプロに参加し、e-learningや演習に参加する

2018年度 がんプロ履修者（研究医5名） 各研究テーマ

1. 抗菌薬投与と免疫チェックポイント阻害薬との関係
2. 一般人及び医療従事者におけるがんの認識調査（ネットアンケート）
3. がんとアレルギー疾患（北信がんプロデータベース研究）
4. がん微小環境の研究
5. がん免疫細胞療法の取り組み（免疫学教室共同）

2018年 課題

1. データベースの利活用
2. オンコロジーセミナーの出席率
3. 次年度以降のコース受け入れ

若い力を合わせて



平成30年12月16日（日）
福井県県民ホール(アオッサ8階)

平成30年度
北信がんプロ 学長連絡協議会

「超少子高齢化地域での先進的がん医療人養成」

北信がんプロ福井大学

福井大学病院

福井大学医学部附属病院がん診療推進センター
腫瘍病態治療学講座

片山 寛次

矩形範囲指定(R)

Ctrl+Alt+F5

ER

E-Learning コンテンツ



小児・AYA世代の特徴

精神心理・社会的特徴

福井大学子どものこころの発達研究センター

小坂 浩隆



終末期の消化器症状緩和

所福井大学医学部附属病院 がん診療推進センター

片山寛次



ライフステージに応じたがん治療と 栄養管理

所福井大学医学部附属病院 がん診療推進センター

片山寛次

腹膜偽粘液腫の病態と治療

希少がん

福井大学医学部附属病院 がん診療推進センター

片山寛次



終末期の輸液栄養

所福井大学医学部附属病院 がん診療推進センター

片山寛次



外来化学療法と就労支援

外来化学療法と両立支援

所福井



外来化学療法と就労支援

外来化学療法と両立支援



がん治療と支持療法

主に栄養管理の重要性について

所福井大学医学部附属病院 がん診療推進センター

片山寛次

第4回 オンコロジー セミナー

北信がんプロ 第4回オンコロジーセミナー

大学院生、がん診療連携拠点病院・地域がん診療推進病院等の医師、
薬剤師、看護師、診療放射線技師、臨床検査技師など医療スタッフの皆さま

日時：2018年9月21日（金） 18：00～20：00

場所：各大学・施設 テレビ会議室

プログラム

■症例検討1

急激発症の若年大腸がん患者に対する
クリニカルシーケンスと遺伝カウンセリングの経験

信州大学 消化器外科 北沢 将人、遺伝子医療研究センター 黄瀬恵美子

■症例検討2

HBOC症候群の遺伝カウンセリングの現状と
未発症保因者診断を行った1家系

福井大学 消化器・乳腺内分泌外科学（第1外科）前田 浩幸

■特別講演

治療開発を目指した
がんゲノム医療体制の構築

国立がん研究センター先端医療開発センター
トランスレーショナルインフォマティクス分野 分野長
土原 一哉 先生



オンコロジーセミナーへの
ご参加お待ちしております！

受講手続き（大学院生）

・受講を希望する学生は履修届を所属
大学の学務係に提出してください。
・詳細は所属大学の学務係にお問い合わせ
ください。

問い合わせ先

・ご不明な点は所属大学の学務担当係
または北信がんプロ事務局にお問い合わせ
ください。



北信がんプロ 看護セミナー

超少子高齢化地域での先進的 がん医療人養成 (北信がんプロ) 看護セミナー



地域で暮らすがん患者への支援

日時:平成30年11月30日(金) 17:30~19:00 (17:00開場) 参加費無料

場所:福井大学医学部 臨床大講義室

対象:看護職、医療・福祉関係者、一般市民



【基調講演】

「地域で広げよう
患者の意向を尊重する意思決定支援」

講師 福井大学医学部附属病院 がん診療推進センター センター長 片山 寛次

【事例検討】

講師 福井大学医学部附属病院 看護部
がん看護専門看護師/がん性疼痛看護認定看護師 高野 智早

座長 福井大学医学部看護学科成人・老年看護学 教授 磯見 智恵

(敬称略)

主催:超少子高齢化地域での
先進的がん医療人養成 (北信がんプロ)
(金沢大学、信州大学、富山大学、金沢医科大学、石川県立看護大学、
福井大学 共同開催事業)
共催:福井大学大学院医学系研究科
後援:福井県看護協会

お問い合わせ・お申込み:
〒910-1193 福井県吉田郡永平寺町松園下台月23-3
福井大学医学部腫瘍病態治療学講座

E-mail gpro-fukui@ml.u-fukui.ac.jp
TEL 0776-61-8857 FAX 0776-61-8656

申込み締切:11月22日(木)
※定員になり次第締め切らせていただきます

北信がんプロ 医療者セミナー

超少子高齢化地域での 先進的がん医療人養成 (北信がんプロ)

参加費
無料

(要事前申込)

医療者セミナー



講演
1

地域連携における
アドバンス・ケア・プランニング
～患者の希望を効果的につなぐ～

【講師】
福井大学医学部附属病院
がん診療推進センター
特命助教
児玉 麻衣子



講演
2

婦人科がんにおける
妊孕性温存

【講師】
福井大学医学部
産科婦人科
准教授
黒川 哲司



講演
3

腹膜転移、がん性腹水に
対する治療の現状

【講師】
福井大学医学部附属病院
がん診療推進センター
センター長
片山 寛次

(敬称略)

開催日

2018 **12.16** SUN / 14:10～15:15

会場

福井県民ホール リハーサル室
(AOSSA 8階)
福井市手寄1-4-1 TEL:0776-87-0003

対象 医療従事者

主催

超少子高齢化地域での先進的がん医療人養成(北信がんプロ)
(金沢大学、信州大学、富山大学、金沢医科大学、石川県立看護大学、福井大学 共同企画事業)

お問い合わせ・お申込み

〒910-1193 福井県吉田郡永平寺町松岡下合月23-3
福井大学医学部腫瘍病態治療学講座
e-mail: gpro-fukui@ml.u-fukui.ac.jp TEL:0776-61-8857 FAX:0776-61-8656

申込み締切

12月7日(金)

※定員になり次第締め切ら
せていただきます

北信がんプロ 県民公開 シンポジウム

納得できる医療を求めて。

第2回北信がんプロ合同市民公開講座・県民公開シンポジウム がん診療最前線

北陸・信州4県におけるがんの最新医療についてお話いたします。



◎福井県県民ホール（アオッサ8階） 定員：300名

◎平成30年12月16日（日） 15:30～17:30（予定）
開場=15:00

参加費無料

開会挨拶 福井大学医学部附属病院 がん診療推進センター 教授 片山 寛次

講演1. 「がん治療で大切なこと
—早期からの緩和ケア・がんの標準治療とは—」
富山大学附属病院 臨床腫瘍部 副部長 梶浦 新也氏

講演2. 「がん登録情報から地域のがんを考える」
信州大学医学部包括的がん治療学 教授 小泉 知展氏

講演3. 「がんゲノム外来開始について」
福井大学医学部附属病院 がん診療推進センター 助教 根来 英樹氏

講演4. 「がんゲノムと再生医療を融合させた
新学域:ゲノム再生医療の実践」
金沢医科大学医学部再生医療学 教授 下平 滋隆氏

講演5. 「いま保険診療のできる免疫療法の実力」
金沢大学附属病院 がんセンター 教授 矢野 聖二氏

質疑応答 がんに対するQ&A(事前募集)

参加ご希望の方は、裏面のお申込方法をご覧ください。

お問い合わせ：
福井新聞社営業局「がん診療最前線」係
〒910-8552 福井市大和田2丁目801
Tel.0776-57-5152 Fax.0776-57-5166 E-mail.gpro@fukuishimbun.co.jp

※駐車台数に限りがありますので、できるだけ公共交通機関でご来場ください。

主催：福井新聞社 後援：福井県医師会、福井県薬剤師会、福井県看護協会、福井県病院薬剤師会、福井県がん診療連携協議会

県民の皆さまが対象です。

この講座は、がんと向き合っている患者さんやご家族の方はもちろん、一般の方にもご参加いただける公開講座です。

主催

超少子高齢化地域での
先進的がん医療人養成
(北信がんプロ)
<http://gan-pro.net/>

金沢大学、信州大学、富山大学、
金沢医科大学、石川県立看護大学、
福井大学 共同企画事業

北信がんプロ 県民公開 シンポジウム

福井新聞での
ダイジェスト報告紙面

北信4県の主要紙にて
掲載しました。

第2回北信がんプロ合同市民公開講座・県民公開シンポジウム

がん診療最前線

医学の急速な発展により、がんの治療法も変わりつつあります。今回、北信4県合同の開催となった第2回北信がんプロ合同市民公開講座・県民公開シンポジウム「がん診療最前線」(2018年12月16日、福井市のAQSSAにて開催)では、専門医がそれぞれの立場から最新のがん診療について紹介。約250名の参加者は、さまざまな角度から変わりゆくがん診療について理解を深めました。

※「がん診療最前線」開催の先駆けとなる「北信がんプロ」は、北信4県と長野県の6大学が連携し、がん専門医療者の連携や情報共有を図るとともに、



納得できると医療を進めて、

北信4県、福井大学、
富山大学、金沢医科大学、
高松大学、長野大学、
http://gan-pro.net/
共同開催
共催 福井県医師会
後援 福井県医師会、福井県薬剤師会、福井県歯医師会、
福井県理学療法士会、福井県作業療法士会、福井県理学療法士会
協賛(共催) 福井大学附属ホスピタル研究会 経理後援
事務局 福井県がんセンター 事務局 福井県がんセンター
〒910-1112 福井県福井市西町1-2
TEL:0776-81-3333 FAX:0776-81-3333
E-mail:gan-pro@fukui-u.ac.jp



開会進行・聯合挨拶

福井県医師会 代表理事 藤田 隆



北山 寛次

がんのメカニズムは、がん細胞が正常な細胞から変化する過程で、遺伝子の変異や染色体の異常などが原因で起こると考えられています。がん細胞は、正常な細胞よりも増殖しやすく、周囲の正常な細胞を破壊して浸潤性を持ち、転移しやすくなります。がんの診断には、血液検査や画像検査、生体組織検査などがあります。治療には、手術、化学療法、放射線療法、免疫療法などがあります。がんの予防には、喫煙を控える、アルコールを控える、健康的な食生活を送る、適度な運動を続けるなどが有効です。

がん治療で大切なこと 本県がもつ課題と、がんの最新治療とは

福井県立総合医療センター 院長 堀内 新一郎



北信がんプロ合同シンポジウム「がん診療最前線」は、北信4県と長野県の6大学が連携し、がん専門医療者の連携や情報共有を図るとともに、がん診療の最前線について紹介する貴重な機会です。がんの診療は、診断、治療、緩和ケアの3つの柱があります。診断は、血液検査や画像検査、生体組織検査などがあります。治療には、手術、化学療法、放射線療法、免疫療法などがあります。緩和ケアは、がん患者のQOLを向上させるための重要な役割を果たしています。がんの診療は、患者さん一人ひとりの個性に応じた治療を行うことが大切です。

がん診療の最前線は、がんのメカニズムの解明と、治療法の開発にあります。がんのメカニズムの解明には、ゲノム医療が重要な役割を果たしています。ゲノム医療は、がん細胞の遺伝子変異を解析し、がんの発症メカニズムを明らかにします。治療法の開発には、免疫療法が重要な役割を果たしています。免疫療法は、がん細胞を攻撃する免疫細胞を活性化し、がん細胞を破壊します。がんの診療は、患者さん一人ひとりの個性に応じた治療を行うことが大切です。がんの診療は、患者さん一人ひとりの個性に応じた治療を行うことが大切です。

がん治療から地域のがんを考える

福井県立総合医療センター 院長 堀内 新一郎



がん診療の最前線は、がんのメカニズムの解明と、治療法の開発にあります。がんのメカニズムの解明には、ゲノム医療が重要な役割を果たしています。ゲノム医療は、がん細胞の遺伝子変異を解析し、がんの発症メカニズムを明らかにします。治療法の開発には、免疫療法が重要な役割を果たしています。免疫療法は、がん細胞を攻撃する免疫細胞を活性化し、がん細胞を破壊します。がんの診療は、患者さん一人ひとりの個性に応じた治療を行うことが大切です。がんの診療は、患者さん一人ひとりの個性に応じた治療を行うことが大切です。

がんゲノム外来開始について

福井県立総合医療センター 院長 堀内 新一郎



がん診療の最前線は、がんのメカニズムの解明と、治療法の開発にあります。がんのメカニズムの解明には、ゲノム医療が重要な役割を果たしています。ゲノム医療は、がん細胞の遺伝子変異を解析し、がんの発症メカニズムを明らかにします。治療法の開発には、免疫療法が重要な役割を果たしています。免疫療法は、がん細胞を攻撃する免疫細胞を活性化し、がん細胞を破壊します。がんの診療は、患者さん一人ひとりの個性に応じた治療を行うことが大切です。がんの診療は、患者さん一人ひとりの個性に応じた治療を行うことが大切です。

がんゲノムと再生医療を融合させた 新治療「ゲノム再生医療」の進展

福井県立総合医療センター 院長 堀内 新一郎



がん診療の最前線は、がんのメカニズムの解明と、治療法の開発にあります。がんのメカニズムの解明には、ゲノム医療が重要な役割を果たしています。ゲノム医療は、がん細胞の遺伝子変異を解析し、がんの発症メカニズムを明らかにします。治療法の開発には、免疫療法が重要な役割を果たしています。免疫療法は、がん細胞を攻撃する免疫細胞を活性化し、がん細胞を破壊します。がんの診療は、患者さん一人ひとりの個性に応じた治療を行うことが大切です。がんの診療は、患者さん一人ひとりの個性に応じた治療を行うことが大切です。

いよ保険診療でできる免疫療法の実力

福井県立総合医療センター 院長 堀内 新一郎



がん診療の最前線は、がんのメカニズムの解明と、治療法の開発にあります。がんのメカニズムの解明には、ゲノム医療が重要な役割を果たしています。ゲノム医療は、がん細胞の遺伝子変異を解析し、がんの発症メカニズムを明らかにします。治療法の開発には、免疫療法が重要な役割を果たしています。免疫療法は、がん細胞を攻撃する免疫細胞を活性化し、がん細胞を破壊します。がんの診療は、患者さん一人ひとりの個性に応じた治療を行うことが大切です。がんの診療は、患者さん一人ひとりの個性に応じた治療を行うことが大切です。

がんに対するQ&A
Q: がんはなぜ発症するのか? A: がんは正常な細胞が遺伝子変異を繰り返して発生します。遺伝子変異の原因には、喫煙、アルコール、放射線、化学物質などが挙げられます。また、年齢や家族歴もがん発症のリスク因子です。Q: がんの診断方法にはどのようなものがありますか? A: がんの診断には、血液検査、画像検査、生体組織検査などがあります。血液検査では、がんマーカーを測定し、画像検査では、がんの位置や大きさを確認します。生体組織検査では、がん細胞の遺伝子変異を解析し、がんの種類を特定します。Q: がんの治療法にはどのようなものがありますか? A: がんの治療法には、手術、化学療法、放射線療法、免疫療法などがあります。手術は、がん細胞を切除し、化学療法は、がん細胞を殺す薬を投与します。放射線療法は、がん細胞を破壊する放射線を照射します。免疫療法は、がん細胞を攻撃する免疫細胞を活性化し、がん細胞を破壊します。Q: がんの予防にはどのようなことが有効ですか? A: がんの予防には、喫煙を控える、アルコールを控える、健康的な食生活を送る、適度な運動を続けるなどが有効です。また、定期的な検診を受けることもがんの早期発見につながります。Q: がんの診療は、患者さん一人ひとりの個性に応じた治療を行うことが大切です。がんの診療は、患者さん一人ひとりの個性に応じた治療を行うことが大切です。

北信がんプロ 受講案内

がん患者等への支援

Ver1.1



okushin
がんプロ

超少子高齢化地域での先進的がん医療人養成

北信がんプロ

トップ

北信がんプロ紹介

患者様・一般の方へ

医療従事者の方へ

受講者向け情報

受講者募集

事業成果と評価

受講者向け情報

ホーム > 受講者向け情報 > 講義シラバス（講義概要）・開講状況の閲覧

講義シラバス（講義概要）・開講状況の閲覧

福井大学インテンシブコース

がん緩和医療学特論
在宅緩和医療特論
臨床栄養学特論

その他、小児AYA世代、ゲノム
ライフステージに応じたがん治療
老年、その他多数。

北信がんプロの教育コース（受入目標と実績）

本科生コース（平成30年4月受入開始）

（平成31年3月5日現在）

コース名	職種	受入目標人数						受入実績						
		H29	H30	H31	H32	H33	合計	H29	H30	H31	H32	H33	合計	
金沢大	先端的個別化医療	医師	0	5	5	5	5	20	0	9				9
	個別化薬物療法	薬剤師	0	1	2	2	2	7	0	1				1
	高度化医学物理士	医学物理士	0	2	2	2	2	8	0	3				3
信州大	ゲノムがん治療医	医師	0	2	2	2	2	8	0	2				2
	遺伝カウンセラー	遺伝カウンセラー	0	1	1	1	1	4	0	1				1
富山大	高齢がん患者対策	医師	0	4	4	4	4	16	0	6				6
	個別化医療薬剤師	薬剤師	0	1	1	1	1	4	0	1				1
福井大	地域がん専門医	医師	0	2	2	2	2	8	0	3				3
金沢医大	がん専門医リーダー	医師	0	2	2	2	2	8	0	2				2
石川看護大	がんライフステージ	看護師	0	2	2	2	2	8	0	2				1
	合計		0	22	23	23	23	91	0	30	0	0	0	30

インテンシブコース 平成29年10月受入開始（一部30年4月受入開始）

コース名	職種	受入目標人数						受入実績						
		H29	H30	H31	H32	H33	合計	H29	H30	H31	H32	H33	合計	
金沢大	がんゲノム生涯教育	医師	2	6	6	6	6	26	2	12				14
	個別化薬物実践	薬剤師	0	1	3	4	4	12	0	4				4
	がんゲノム多職種連携入門	多職種	0	10	10	10	10	40	0	32				32
富山大	高齢がん患者対策	医師	2	2	2	2	2	10	2	2				4
	高齢対策薬剤師	薬剤師	1	2	2	2	2	9	2	5				7
	在宅緩和リハ	看護師	0	1	2	2	2	7	0	6				6
福井大	在宅栄養管理	多職種	0	12	22	22	22	78	0	24				24
	在宅緩和医療	多職種	0	24	24	24	24	96	0	25				25
金沢医大	がん集学的治療	医師	1	2	2	2	2	9	1	2				3
石川看護大	がんライフケア	多職種	2	5	5	5	5	22	3	10				13
	合計		8	65	78	79	79	309	10	122	0	0	0	132

平成30年度インテンシブコース 受講申し込み状況

●在宅緩和	25名 / 24名
院外	3（薬剤師-1、Ns-2）
院内薬剤部	1
院内看護師	13
院内医師	8
●在宅栄養	24名 / 22名
院内看護師	22
院内医師	2

平成31年度の申し込み希望者は両コースともに既に予定数を大幅に超えています。

がんプロ寄付口座 “腫瘍病態治療学講座” のその他業務と業績

在宅緩和ケア地域連携パス



この日記は、あなた自身のことを書くものです。あなたの日々の症状だけでなく、希望や目標、大切にしたいことなども自由に書きましょう。

これを見ることであなたのその時の状態や飲み薬の効果などが一目でわかるように作られています。

難しいところは医師や看護師、薬剤師さんなどに記入してもらいましょう。

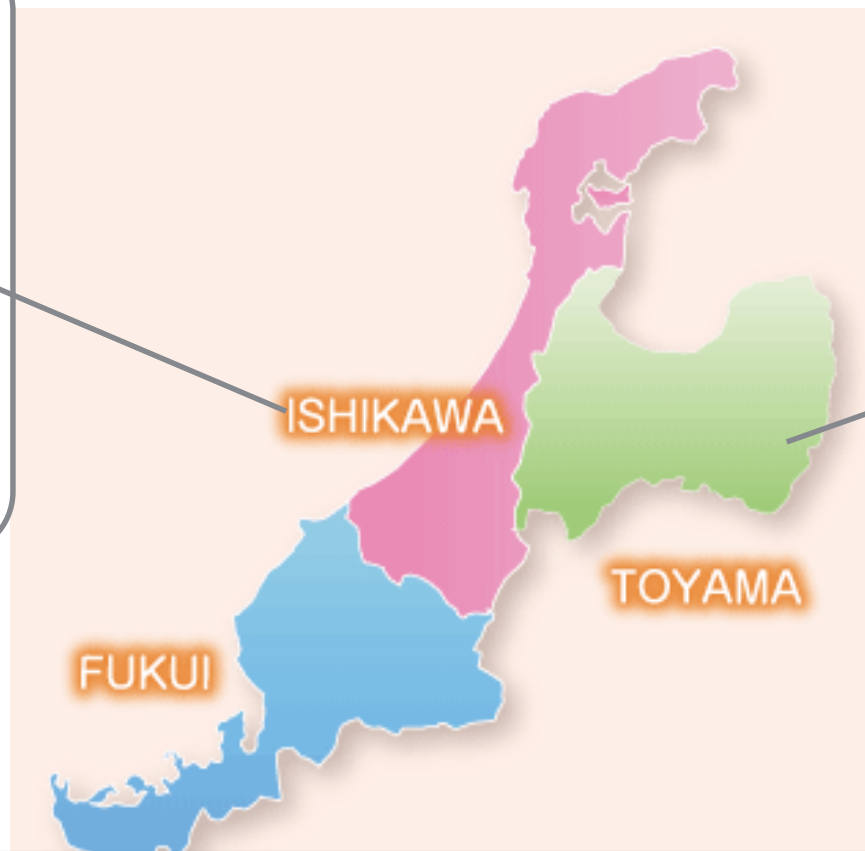
ご家族と話し合われたことなど、気がついた時に書き留めておくのにも利用してください。

福井県では、平成23年に紙ベースの**県内統一がん在宅緩和ケアパス**の作成を開始し、平成24年から運用開始。
平成27年度からはパスの運用を福井県がん連携協議会の委託を受け**福井大学**が中心となって行っている。



北陸三県合同在宅緩和ケアパス 運用に向けて

人口117万人
高齢化率23.7%
在宅療養支援診療所：165件
がん診療連携拠点病院：5ヶ所
在宅死亡率：6.2%



人口109万人
高齢化率26.2%
在宅療養支援診療所：60件
がん診療連携拠点病院：7ヶ所
在宅死亡率：6.4%

在宅緩和ケア地域連携パスの三県合同利用・臨床研究が進行中

第3回北陸医療研究会総会 分科会

第1回 在宅緩和ケア推進会議

福井県下統一在宅緩和ケア地域連携パス「やわらぎ日記」
ワーキンググループ発足に向けて

日時：平成 29 年 3 月 10 日(金)

18:30 ~ 20:00 (開場 18:15)

場所：AOSSA 6階 研修室 607 号室
〒910-0858 福井市手寄1-4-1

参加費：無料

司会：福井大学医学部附属病院 がん診療推進センター長 片山 寛次 先生

18:30-18:35 開会のご挨拶

福井県済生会病院 集学的がん診療センター長 …………… 宗本 義則 先生

18:35-18:45

福井県在宅緩和ケアパス～パス立ち上げの経緯と当時の状況～

福井県済生会病院 緩和ケア科医長 …………… 加藤 泰史 先生

18:45-19:30

福井県下統一在宅緩和ケア地域連携パス「やわらぎ日記」普及促進
に関する取り組みと今後の運用

パスの運用の現状と今後の課題、パス普及のための臨床研究に関する討議、等

福井大学医学部附属病院 がん診療推進センター特命医師 .. 児玉 麻衣子 先生

19:30-20:00 特別講演

富山県高岡地域における富山県下統一在宅緩和ケア地域連携パス
「たてやま日記」の運用の実際

厚生連高岡病院 緩和ケアセンター長 …………… 村上 望 先生

厚生連高岡病院 消化器内科・緩和ケアチーム …………… 中嶋 和仙 先生





第2回 在宅緩和ケア推進会議

福井県下統一在宅緩和ケア地域連携バス「やわらぎ日記」ワーキング

日時：平成 29 年 9 月 22 日(金)

19:00 ~ 20:30 (開場 18:45)

場所：AOSSA 6階 研修室 607号室
〒910-0858 福井市手寄1-4-1

参加費：無料

司会：福井大学医学部附属病院 がん診療推進センター長 片山 寛次 先生

19:00-19:05 開会のご挨拶

福井県がん診療連携協議会会長……………宗本 義則 先生

19:05-19:30

福井県下統一在宅緩和ケア地域連携バス「やわらぎ日記」普及状況

福井大学医学部附属病院 がん診療推進センター特命医師 … 児玉 麻衣子 先生

19:30-20:25

在宅緩和ケアに関する各施設の取り組み共有
～ワールドカフェ形式～

20:25-20:30 閉会のご挨拶

福井県医師会 理事……………伊部 晃裕 先生



がん診療

最前線



福井大学医学部附属病院における
最新のがん診療とケア

福井大学における
がん診療の啓蒙冊子
全45ページ



第一回福井県緩和ケアチーム研修-新風を吹き込む-

研修目的

県内の緩和ケアチームの相互交流と、各緩和ケアチームの特徴を活かした質向上を目的とする。

研修目標

- ・「顔の見える関係」から「仕事の見える関係」になれる。
- ・各チームの課題を明らかにし、P D C Aサイクルを回すことができる。

研修参加者

- ・ 7施設の緩和ケアチームメンバー 45名
- ・ 8職種！

開催期間・時間

- ・ 7月17日(月・祝)午後13：30～18：00
- ・ 懇親会：八兆屋

第2回福井県緩和ケアチーム検討会 ～一歩一歩～

検討会の目的

緩和ケアチームの相互交流を通じて、県内の各緩和ケアチームの特徴を活かした質の向上を目的とする。

検討会の目標

【午前】セルフチェックプログラムを用い、自施設の緩和ケアチームにおける課題を明らかにして、他院チームの意見を受け、改善計画を作成する。

【午後】他施設との相互評価（ピアレビュー）を行う上での課題を解決して、年度内に可能な実施計画を策定する。

※ともにPDCAサイクルを意識して、改善していくことを考え検討する。

対象者・人数

- ・7施設の緩和ケアチームメンバー 48名
- ・8職種

懇親会 時間

- ・7月16日(月・祝) 午後18:30～20:30
- ・懇親会:

2018年度福井県緩和ケアチーム研修 ピアレビュー施設間調整

福井大学Aチーム ↔ 福井県立病院

	日時	福井県立病院 ⇒ 福井大学病院	福井大学病院 ⇒ 福井県立病院
準備		・病院長への確認 他:看護部、外来、患者総合支援センター、患者ケア、通院治療センター、 認知症ケアチーム、NST ・駐車場の確保 福井大学:総務管理課に依頼 県立病院:第3駐車場 ・服装:白衣、内履き、名札	
訪問日程	11月14日水曜日 13:00~18:00	10月22日月曜日 13:00~17:00	
	※第2候補 11月7日	集合場所:東1階 緩和ケアセンター	
	病棟カナル入 :13:30~	病棟ラウンド :13:00~ 高野Ns	
	病棟ラウンド(患者の同意確認後)	質問時間 :14:00~ 全体	
	子幼カナル入 :17:00~	病棟カナル入 :15:00~ 全体	
	認知症ケア、NST	子幼カナル入 :16:00~	
	※後日 癌腫、リンパ腫浮腫外来:火木	担当:玉村Ns,出田GM	
	担当:高野Ns 県立:出田GM	大学:高野Ns	
事後報告日程	1ヵ月以内に報告書作成(県立)	1ヵ月以内に報告書作成(大学)	

福井大学Bチーム ↔ 福井赤十字病院

	日時	福井大学病院B ⇒ 福井赤十字病院	
準備	~7月23日	・大)小林が、赤)福岡さんに、日程(最終)と訪問内容(最終)をメールで連絡する。 ・大)小林が、日程、内容の決定を事務局へ連絡する。 ・各々が各部門長にピアレビューへの参加を打診する。	
訪問日程	9月26日 15~17時	・挨拶、紹介、施設案内 -苦痛のスクリーニング方法 -カンファレンスの具体的な実施方法 -PCTへの依頼の流れ -記録(目標の共有方法など) -地域連携体制 -継続的な緩和ケア提供体制(外来、入院、通院治療センター、ホスピスなど) -リハビリ、管理栄養士などとの情報共有方法 -遺族ケア -非がん患者への対応 -ホスピス見学 ・カンファレンス ・質問、評価	
	事後報告日程	~10月26日	・大)小林が、とりまとめし、赤)福岡さん、事務局に送付。

ピアレビュー：合同カンファレンス



福井日赤緩和ケアチームが福井大学病院を訪問

患者の意向を尊重した意思決定のための研修会・福井大学

福井会場 2017年11月19日(日)

開始	終了	時間	プログラム	主旨、構成内容	担当	
8:30	9:00	30	開 場			
9:00	9:40	40	イントロダクション・アイスブレーキング		神戸チム	
9:40	10:10	30	講 義	「人生の最終段階における医療の決定プロセスに関するガイドライン」の解説	片山	
10:10	10:20	10	休 憩			
10:20	10:40	20	解 説	Step1「意思決定能力の評価」講義	田崎 江戸	
10:40	11:05	25	グループワーク 1	Step1 グループワークと発表		
11:05	11:25	20	講 義	Step2「患者自身と治療方針について合意する」講義	片山	
11:25	11:35	10	休 憩			
11:35	12:00	25	講 義	Step3「患者の意向を推定する」講義	児玉 谷川	
12:00	13:00	60	昼 食			
13:00	13:20	20	講 義	Step4「患者にとって最善の治療方法について合意する」講義	宮永 高野	
13:20	14:15	55	グループワーク 2	Step3、4 グループワークと発表		
14:15	14:40	25	講 義	アドバンス・ケア・プランニング	木澤	
14:40	16:00	80	ロールプレイ 1	もしも、のときについて話し合いを始める		
16:00	16:15	15	休 憩			
16:15	16:30	15	講 義	代理決定者を選定する	宮永	
16:30	17:25	55	ロールプレイ 2	治療の選好を尋ね、最善の選択を支援する代理決定者の裁量権を尋ねる	田崎	
17:25	17:30	5	修了式			
17:30	17:45	15	事務連絡・アンケート記入・解散			

スタッフ名簿

研修会責任者：木澤義之 神戸大学大学院医学研究科先端緩和医療学分野

研修会協力者：講師、ファシリテーター

木澤義之	神戸大学医学部附属病院 緩和支援治療科
岸野恵	神戸大学医学部附属病院 緩和支援治療科
西島薫	神戸大学医学部附属病院 緩和支援治療科
藤原由佳	神戸大学医学部附属病院 看護師
加納麻子	社会医療法人平和会吉田病院内科
坂本雅樹	名古屋徳洲会総合病院 外科・緩和ケア外科
下山理史	愛知県がんセンター中央病院 緩和ケアセンター緩和ケア部
向井未年子	愛知県がんセンター中央病院 緩和ケアセンター緩和ケア部
野崎善成	富山赤十字病院 外科
江戸雅香子	金沢医療センター 看護部 緩和ケアチーム
宮永太門	福井県立病院 外科 緩和ケアチーム
片山寛次	福井大学医学部附属病院 がん診療推進センター
児玉麻衣子	オレンジホームケアクリニック 在宅診療部
谷川明希子	福井大学医学部附属病院 がん診療推進センター
高野智早	福井大学医学部附属病院 がん診療推進センター



患者の意向を尊重した意思決定のための研修会・金沢大学

2018年12月2日



がん教育 モデル授業

親子で知って、考えよう！ がんのこと、がん患者さんのこと



日時：平成30年5月27日（日）

13:30～15:30（受付 13:00～）

会場：AOSSA6階 601研修室（福井市）

定員：小学5年生～中学3年生の親子

またはがん教育に興味のある方 150名

料金：無料

全問正解者にはささやかな
景品を準備しております。

13:00～13:30 受付

13:30～13:35 開会の挨拶

13:35～14:05 親子で知ろう！～クイズ形式～

14:05～14:20 休憩

14:20～15:05 親子で考えよう！～いのちの授業～

15:05～15:25 質疑応答

15:25～15:30 閉会の挨拶



三好綾氏

NPO法人がんサポートかごしま理事長／一般社団法人
全国がん患者団体連合会理事・事務局長

27歳時に乳がん告知を受け乳房全摘手術をし、乳がん患者会や
ピンクリボン活動を経て、がん患者さんとご家族のサポートをする
現職に就き、全部位を対象とした「がん患者サロン」の運営や、医
学教育、小中学校を対象とした「いのちの授業」、遺族会、若者が
ん患者会等の運営に携わる。



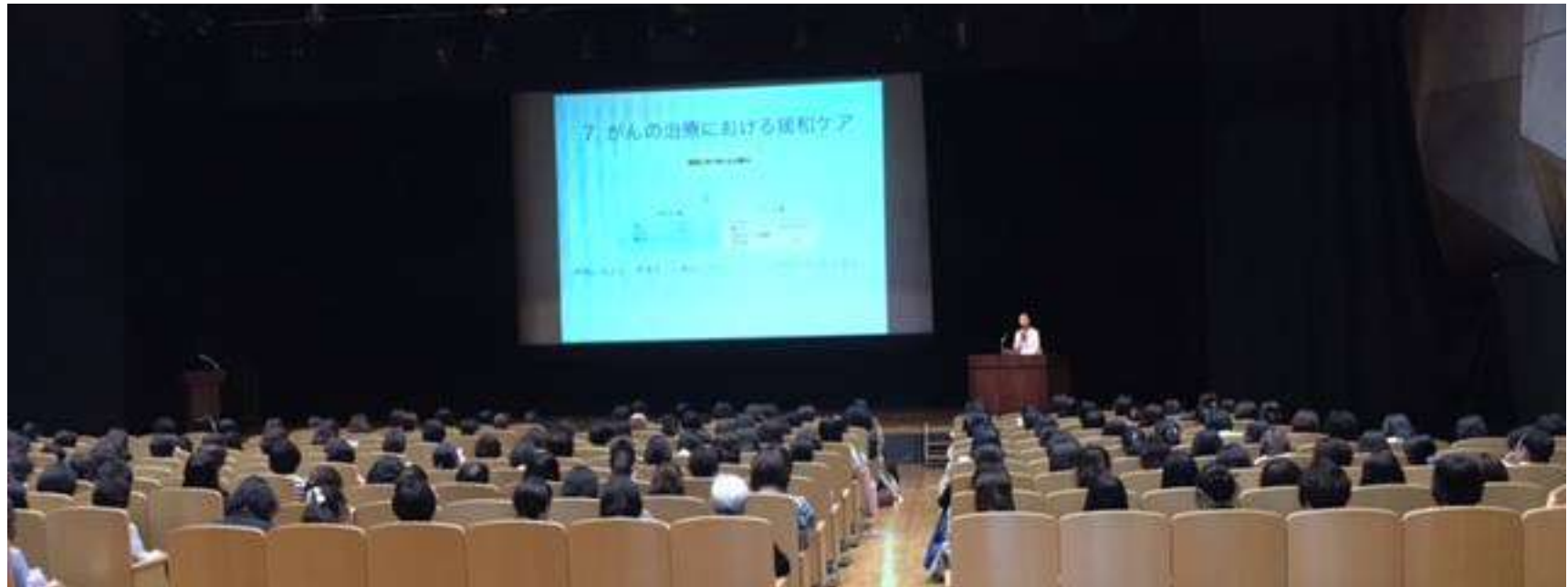
開催者：片山寛次（福井大学医学部附属病院 がん診療推進センター長）

児玉麻衣子（福井大学医学部附属病院 がん診療推進センター特命助教）

小林美貴（福井大学医学部附属病院 がん診療推進センター専従看護師）

お申込み方法

福井県の保健体育・養護教員に対する がん教育の講義



昨年度は養護教員約500名，今年度は保健体育の教諭約500名
今年度からは福井大学教育学部でがん教育の講習は**必修**に

がん教育：モデル授業

独自に生徒の興味と集中力をきらさない授業法，資料を作成しました。



あわら市木荘小学校にて

がん教育：モデル授業



小浜市口名田小学校にて



平成30年度

北信がんプロ 外部評価委員会

金沢医科大学

元雄 良治

【教育コース学生受け入れ状況】

本科生 目標2名

受入れ2名(100%)

インテンシブコース生 目標2名

受入れ2名(100%)

【事業の取組状況】

■ 2018.05.09

海外FD研修報告会

ワシントンD.C. 石垣教授

メルボルン 北村講師

■ 2018.05.16

共催事業：第60回教育懇談会

「Social Justice - a key component of Medical Education」

Dr. Gregory Gabriel Maskarinec

ハワイ大学国際医療保健室室長・教授

「Ethnic Differences in Obesity, Diabetes, and Cancer」

Dr. Gertraud Maskarinec

ハワイ大学がんセンター教授

■ 2018.05.18

第31回腫瘍病理セミナー・北信がんプロFD講演会



「超解像イメージングによって明らかになった生細胞の
ゲノムの折り畳み構造とそのダイナミクス」

前島 一博 先生 国立遺伝学研究所

構造遺伝学研究センター生体高分子研究室 教授

■ 2018.05.29

第3回オンコロジーセミナー

症例検討1: 金沢医科大学 一般・消化器外科学

症例検討2: 福井大学 消化器・乳腺内分泌外科学(第1外科)

特別講演: 「がんゲノム医療の実際と課題」

豊岡 伸一 先生 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科

呼吸器・乳腺内分泌外科学 教授



■ 2018.07.06

北信がんプロFD講演会：


「がん治療における心血管毒性の病態と対策
— Onco-Cardiologyの役割—」

向井 幹夫 先生


大阪国際がんセンター

成人病ドック科 腫瘍循環器外来 主任部長

がん医療従事者のための教育セミナー・北信がんプロFD講演会
がん薬物治療の心毒性のメカニズムと対策



2018年
7月6日(金)
18:00~19:30
金沢医科大学病院
病院中央棟3階 中会議室3



がん治療における
心血管毒性の病態と対策
— Onco-Cardiologyの役割—
向井 幹夫 先生
地方独立行政法人 大沢市立病院協賛
大阪国際がんセンター
成人病ドック科 腫瘍循環器外来 主任部長

がん診療において合併する循環器疾患や出現する心血管毒性において臨床現場における対応を、具体的な症例提示をしながら以下の項目を中心に解説いたします。

- ① 心不全：タイプ1、タイプ2心筋障害；アントラサイクリン、トラスツズマブ心筋症
- ② 血管障害：血管新生阻害薬を中心に。
- ③ 免疫療法：免疫チェックポイント阻害薬における心血管毒性
- ④ がんサバイバーに対する対応

主 催： 金沢医科大学大学院医学研究科腫瘍科
共 催： 越前・石川・富山・福井の4県がん医療人養成（北信がんプロ）
金沢医科大学、金沢大学、福井大学、富山大学、石川県立大学、富山県立大学

協賛社名： 金沢医科大学 数学部（大学院医学研究科附属）
〒920-0093 石川県野市町金沢大学1丁目1番地
E-mail: g.kanai@kanazawa-med.ac.jp TEL:076-218-0001 FAX:076-286-6004

■ 2018.09.11

他拠点との連携事業：第3回小児血液・がん症例検討会
in 中部

■ 2019.03.15

第4回小児血液がんセミナー 中部 開催
(本学から教育講演1例提示)

2018.09.12

第33回腫瘍病理セミナー・ 金沢女性がん研究者フォーラム 北信がんプロFD講演会



第33回 腫瘍病理セミナー
金沢女性研究者フォーラム
(北信がんプロ FD 講演会)



主催：金沢医科大学病理学
共催：北信がんプロ・HWRN
金沢大学がん進展制御研究所



15:35 ~ 16:35
金沢大学
医薬保健学総合研究域
医学系 細菌学
教授 藤永由佳子

細菌毒素の巧妙な 体内侵入機構から学ぶ

細菌毒素であるボツリヌス神経毒素は、生物毒の中でもっとも毒性が強いものとして知られており、ボツリヌス症を引き起こす。ボツリヌス症にはいくつもの亜型があるが、主な原因として食餌性ボツリヌス症と創傷性ボツリヌス症がある。食餌性ボツリヌス症は傷口摂取された本毒素が腸管から吸収されて、血中に移行し、末梢神経に到達することで発症する。タンパク質毒素である本毒素が活性を保持したまま腸管から血中に移行する機構は不明であったが、我々は、本毒素が腸管吸収過程において経腸するニューロン（神経1）、および末梢神経主体において腸管から体内へ侵入する経路を解明した。本セミナーでは、ボツリヌス症の病態形成機構の解明、新規治療法の開発、本毒素由来のE-cadherin 特異的細胞接着作用を持つタンパク質の再生医療分野での応用など、我々の研究について紹介する。

- 1) Fujinaga Y, Sugawara Y, and Matsumura T (2013) *Curr Top Microbiol Immunol* 364: 45-59.
- 2) Matsumura T, Sugawara Y, Yutani M, et al. (2015) *Nat Commun* 6: 6255.



16:40 ~ 18:00
国立がんセンター 研究所
基礎腫瘍学ユニット
独立ユニット長 大木理恵子

知られざるp53の肖像画 ～最も有名ながん抑制遺伝子p53の新機能～

がん抑制遺伝子 p53 は1979年に発見されて以降、世界で最も多くのがん研究者が研究している遺伝子であると言っても過言ではないであろう。発見後、しばらくは機能が全く不明であったが、1980年代に立って多くのがん抑制遺伝子としての機能が報告された。そして、近年の次世代シーケンサーによる膨大ながん組織のゲノム解析が促しに、p53はおおよそ半数と、がんで最も高頻度に突変が認められる遺伝子であることが示された。p53機能が失われることの重要性が再認識されている。がんにおけるp53の機能は謎に思えないが、p53機能の全容はまだに解明されておらず、現在もなおp53の知られざる機能が次々と明らかになっている。

本講演では、我々が発見した p53の新機能や p53が制御する神経内分泌腫瘍のがん抑制遺伝子について紹介する。
1. Kawase T, Ohki R, Shibata T, et al. PH domain-only protein PHLD3 is a p53-regulated repressor of Akt. *Cell*. Vol. 136, pp. 535-550, 2009.
2. Ohki R, Saito K, Chen Y, et al. PHLD3 is a novel tumor suppressor of neuroendocrine tumors. *PNAS*, 111 (23), E2404-E2413, 2014.
3. Asano Y, Kawase T, Okaabe A, et al. IERS generates a novel hypo-phosphorylated active form of HSF1 and contributes to tumorigenesis. *Sci Rep*, 5, 2016.

お問い合わせ：金沢医大教務課（大学院担当） d-gakuin@karazawa-med.ac.jp

平成30年9月12日（水）15時から 金沢医大 基礎研究棟3階大学院セミナー室＋各施設テレビ会議室

「細菌毒素の巧妙な体内侵入機構から学ぶ」

藤永 由佳子 先生

金沢大学 医薬保健学総合研究域 医学系細菌学 教授

「知られざるp53の肖像画

～最も有名ながん抑制遺伝子p53の新機能～」

大木 理恵子 先生

国立がん研究センター 研究所基礎腫瘍学ユニット 独立ユニット長

■ 2018.09.22

共催事業：第31回日本サイコオンコロジー学会総会

会長：金沢医科大学精神神経科学 川崎康弘教授

副会長：金沢医科大学腫瘍内科学 元雄良治教授

市民公開講座

「**がんとこころのケア**：こころの持ち方のこつ」

明智 龍男先生

名古屋市立大学大学院医学研究科

精神・認知・行動医学分野 教授

「**がんとともに、自分らしく生きる**」

高野 利実 先生

虎の門病院臨床腫瘍科 部長

第31回
日本サイコオンコロジー学会総会
市民公開講座

日時 2018年9月22日(日) 15:30~16:30
会場 金沢歌劇座ホール

参加無料

プログラム
座長 川崎 康弘 (金沢医科大学 精神神経科学)
演者 明智 龍男 (名古屋市立大学 医学研究科精神・認知・行動医学分野)
[がんとこころのケア：こころの持ち方のこつ]
演者 高野 利実 (虎の門病院 臨床腫瘍科)
[がんとともに、自分らしく生きる]

◆事務局 金沢医科大学 精神神経科学
〒920-0295 石川県河北郡内野町大字1-1
TEL:076-266-2211(内線)

◆連絡事務局 株式会社ネクステージ
〒915-0209 石川県富山県市街地南1-1番地
TEL:076-211-16700 FAX:076-215-2100
E-mail:jpops1@nex-stage.com

次巻 若狭子富田社地域での先進がん治療実証(北信がんプロジェクト) 第51回日本サイコオンコロジー学会総会

2018.10.08

市民公開講座： 北信がんプロ金沢医科大学市民公開講座：
がん治療と妊孕性温存
-大切な生命のリレーのために-

「北信がんプロのご紹介」

元雄 良治 先生 金沢医科大学腫瘍内科学教授

「若年がん患者の妊孕性に関する
支援の現状と課題」

清水千佳子 先生

国立国際医療研究センター病院

乳腺腫瘍内科科長

「がん患者の妊孕性温存と滋賀県の取り組み」

木村 文則 先生

滋賀医科大学産科学婦人科学講座准教授

入場無料
ご自由に参加いただけます

北信がんプロ金沢医科大学
市民公開講座

がん治療と妊孕性温存：
大切な生命のリレーのために

平成30年
10月8日 月祝
14:00~16:00 (開場13:30)
ホテル金沢 4階 エメラルドルーム
石川県金沢市堀川町1番1号 TEL: 076-223-1111

PROGRAM

<p>講演のご挨拶-北信がんプロのご紹介(15分)</p> <p>元雄 良治</p> <p>北信がんプロ代表理事 元雄 良治</p>	<p>若年がん患者の妊孕性に関する支援の現状と課題 (35分)</p> <p>清水千佳子</p> <p>国立国際医療研究センター病院 乳腺腫瘍内科 科長</p> <p>清水千佳子 先生 滋賀医科大学 産科学 准教授</p>	<p>がん患者の妊孕性温存と滋賀県の取り組み (35分)</p> <p>木村 文則</p> <p>滋賀医科大学 産科学 准教授</p> <p>木村 文則 先生 滋賀医科大学 産科学 准教授</p>
--	---	--

主催：金沢医科大学国際医学研究科腫瘍内科学
後援：石川県がん対策推進協議会
協賛：石川県がん対策推進協議会
後援：石川県がん対策推進協議会
協賛：石川県がん対策推進協議会

一歩治療の道は下見がいちかた先まで道程願います。

お問い合わせ
金沢医科大学 教学課 (大学教員研究用担当) +81-076-223-1111 (受付時間 平日9:00~17:00)
E-mail: d_gakuin@kanazawa-med.ac.jp TEL: 076-218-8001 FAX: 076-265-6954

■ 2018.11.13-17

海外FD研修：台湾高雄医学大学及び関連施設

コーディネーター 陳 文筆 国立病院機構七尾病院診療部長

参加者 14名

金沢医科大学： 神田享勉学長、
下平滋隆教授、山田壮亮教授、
浦本秀隆教授、小内伸幸教授、
安本和生特任教授、石垣靖人教授、
新井田 要教授、北村佳子講師

金沢大学： 大谷咲子特任助教

竹中栄伸看護師

信州大学： 小泉知展教授

五味大輔医員



研修内容

14日: **高雄医学大学**

脂質科学・老化研究センター

臨床研究部 橋渡し研究センター

高雄医学大学附属中和紀念病院

がんセンター、乳癌センター、ホスピス

学術交流

高雄医学大学 Jaw-Yuan Wang教授、Yu-Wei Liu医師、

金沢医科大学 浦本教授、新井田教授が講演 等



15日: **高雄市長小港病院**

娜路灣デイケアステーション 等

高雄医学大学附属中和記念病院

クリニカルセンター 等

16日: **高雄市長大同病院**

がんセンター、乳がんセンター

大同福楽学堂、金齡書房



⇒2019年度

海外FD研修報告会において各参加者より研修内容報告

■ 2019.02.16-17

がん医療に携わる医師に対するコミュニケーション技術研修会



- 参加者：4名
金沢医科大学2名、福井大学2名
- 指導：
福井県済生会病院 里見裕之医師、
国立がん研究センター 藤森麻衣子氏
- 研修内容：
3段階のシナリオ
患者役とその家族役の模擬患者
悪い知らせを伝えるロールプレイ



■ e-learning教材見直しについて

2017年度がんゲノム医療・小児AYA希少がん・ライフステージの担当チャプター約30作成・アップロード済。

1・2期がんプロ時作成のe-learning教材の内容：見直し必要
本学担当：

分子生物学入門(6講義項目)⇒再作成(収録済)

⇒全国がんプロe-learning クラウドにアップロード予定

今後、下記の項目も再作成予定

腫瘍薬物学特論(2講義項目)

腫瘍病理学特論(6講義項目)

腫瘍病理学演習(7講義項目)

がん外科学特論(1講義項目)

臨床腫瘍学特論(1講義項目)

平成30年度 「北信がんプロ」
超少子高齢化地域での先進的がん医療人養成

日時：2019年3月8日(金)
会場：金沢大学



成人・老年看護学講座
(がんプロ企画・運営委員長)
牧野 智恵

北信がんプロの教育コース(受入目標と実績)

(平成31年3月5日現在)

本科生コース(平成30年4月受入開始)

コース名	職種	受入目標人数						受入実績						
		H29	H30	H31	H32	H33	合計	H29	H30	H31	H32	H33	合計	
金沢大	先端の個別化医療	医師	0	5	5	5	5	20	0	9				7
	個別化薬物療法	薬剤師	0	1	2	2	2	7	0	1				1
	高度化医学物理士	医学物理士	0	2	2	2	2	8	0	3				3
信州大	ゲノムがん治療医	医師	0	2	2	2	2	8	0	2				0
	遺伝カウンセラー	遺伝カウンセラー	0	1	1	1	1	4	0	1				0
富山大	高齢がん患者対策	医師	0	4	4	4	4	16	0	6				6
	個別化医療薬剤師	薬剤師	0	1	1	1	1	4	0	1				1
福井大	地域がん専門医	医師	0	2	2	2	2	8	0	3				0
金沢医大	がん専門医リーダー	医師	0	2	2	2	2	8	0	2				0
石川看護大	がんライフステージ	看護師	0	2	2	2	2	8	0	2				0
	合計		0	22	23	23	23	91	0	30	0	0	0	30

インテンシブコース 平成29年10月受入開始(一部30年4月受入開始)

コース名	職種	受入目標人数						受入実績						
		H29	H30	H31	H32	H33	合計	H29	H30	H31	H32	H33	合計	
金沢大	がんゲノム生涯教育	医師	2	6	6	6	6	26	2	12				14
	個別化薬物実践	薬剤師	0	1	3	4	4	12	0	4				4
	がんゲノム多職種連携入門	多職種	0	10	10	10	10	10	0	32				32
富山大	高齢がん患者対策	医師	2	2	2	2	2	10	2	2				4
	高齢対策薬剤師	薬剤師	1	2	2	2	2	9	2	4				6
	在宅緩和リハ	看護師	0	1	2	2	2	7	0	6				6
福井大	在宅栄養管理	多職種	0	12	22	22	22	78	0	24				24
	在宅緩和医療	多職種	0	24	24	24	24	96	0	25				25
金沢医大	がん集学的治療	医師	1	2	2	2	2	9	1	2				3
石川看護大	がんライフケア	多職種	2	5	5	5	5	22	3	10				13
	合計		8	55	68	69	69	269	10	121	0	0	0	131

平成30年度 実施研修等

1、がんライフケアステージ事例検討会

平成30年；6月5日(火), 7月3日(火), 8月7日(火), 10月2日(火), 11月6日(火)
12月4日(火)

平成31年; 2月12日(火) 3月5日(火)

会場(各地域のテレビ会議システム設置室) 17:45～

2. 海外FD研究報告会(平成29年度分)

会場(各地域のテレビ会議システム設置室) 17:45～

3、公開FD研修「臨床で行うリンパ浮腫のケア」

基礎編:8月5日(日) 応用編:9月8日(土) 会場(石川県立看護大学)

4、FD研修「CNS関係者によるがん看護事例検討会」7月13日(金) 9月10日(月)

会場(石川県立看護大学) 対象者;がん看護CNSおよびその候補者

5、公開FD研修 「がんゲノム医療を理解し現場に活かそう」

石川県立看護大学・金沢大学薬学部との共同開催

2018年9月29日(土) 対象者;(薬剤師、医師、看護師)会場(ホテル金沢)

7、公開FD研修 「人生の最終段階の生をどう支えるか」

2019年3月2日 対象者;医師、看護師等 会場(ホテル金沢)

ライフステージ事例検討会

多職種とともに日頃のがん患者への関わりを振り返りましょう！

北信4県のテレビ会議システムが設置されている施設を利用して行います！
施設の垣根を越えて、日頃のがん患者様やご家族へのケアについて意見交換しましょう！

◆開催日程（8回予定）

平成30年 6月5日(火) 7月3日(火) 8月7日(火)
10月2日(火) 11月6日(火) 12月4日(火)
平成31年 2月12日(火) 3月5日(火)

◆開催時間 17時45分～19時15分
(事例検討：60分、ミニレクチャー：30分)

◆対象 看護師、医療従事者
がん看護専門看護師申請予定者
休職中の看護師で復職を予定している方
開催予定施設のテレビ会議システム設置室

◆会場 ※開催予定施設につきましては、裏面をご覧ください。

◆参加費 無料

◆参加内容
1) 事例検討：外来化学療法、在宅の患者支援
倫理調整、家族看護、緩和ケアなど
2) ミニレクチャー：OCNSの他、医師や薬剤師がミニレクチャーを担当します

お近くの開催予定会場からの参加をお待ちしております！
詳細はホームページをご覧ください。
石川県立看護大学
<http://www.ishikawanu.ac.jp/>
[がんプロ.com](http://www.ganpro.com)
<http://www.ganpro.com/>



石川県立看護大学 成人看護学 教授（がん看護専攻）
看護専門看護師（OCNS）、医師、薬剤師

外部施設から参加される方は前日までに開催予定施設まで

* 開催予定施設、連絡先は裏面をご覧ください
石川県立看護大学 総務課
〒929-1210 石川県かほく市学園台1-1 TEL (076)281-8300 FAX

企画・運営 石川県立看護大学

超少子高齢化地域での先進的がん医療人養成（北信がんプロ）
金沢大学・金沢医科大学・福井大学・富山大学・信州大学 共同参画事業



ライフステージ事例検討会

日時：6月5日（火）17時45分～
対象：どの職種の方でも参加できます

がん看護専門看護師とともに実践を振り返り
ケアと一緒に見直してみませんか！

1.事例検討

テーマ：「多くを語らない壮年期終末期がん患者と
家族への意思決定支援」

担当施設：富山県立中央病院
事例発表者：看護師 岡崎 岬 さん

2.ミニレクチャー

テーマ：「ケアを振り返り明日の看護にいかす
デスカンファレンス」

講師：富山県立中央病院
がん看護専門看護師 時山麻美 さん

場所：各開催施設・テレビ会議室（計19施設）

金沢大学、富山大学、福井大学、金沢医科大学、石川県立看護大学、信州大学、金沢赤十字病院、
公立能登総合病院、石川県済生会金沢病院、国立病院機構金沢医療センター、公立松任石川中央病院、
石川県立中央病院、富山県立中央病院、富山市民病院、高岡市民病院、富山赤十字病院、
富山県済生会高岡病院、黒部市民病院、砺波市立病院

口参加申し込み先、お近くの会場が担当者までお問い合わせください。
お問い合わせ先：石川県立看護大学 総務課 澤本 TEL:(076)281-8300 FAX:(076)281-8319

平成30年度 参加者数

		参加者数
第1回	6月5日	97
第2回	7月3日	85
第3回	8月7日	89
第4回	10月2日	102
第5回	11月6日	118
第6回	12月4日	93
第7回	2月12日	71
第8回	3月5日	

	事例	ミニレクチャー
第1回 富山県立中央病院	多くを語らない壮年期終末期がん患者と家族への意思決定支援	ケアを振り返り明日の看護にいかすデスカンファレンス
第2回 福井大学	レスキュー薬を頻回に使用する患者の対応にとまどった症例	ケミカルコーピングにおける看護師の役割について
第3回 富山赤十字病院	認知症を患う乳がん患者の意思決定支援	意思決定支援における看護師の役割
第4回 福井済生会病院	多忙な業務のなかの患者の希望とチームワークを育みケアに繋げる	患者の価値観を尊重するとは
第5回 石川県立中央病院	シングルマザーの終末期がん患者と子どもへの支援	女性のライフサイクルとがん看護
第6回 金沢大学附属病院	余命が伝えられた人生の最終段階にある患者・家族への関わり	患者の価値観を尊重するとは・家族の抱える苦痛・苦悩に早期に気づくには
第7回 福井大学附属病院	終末期がん患者の配偶者への援助	変わりゆく状況に合わせた患者家族へのチームアプローチとは
第8回 市立砺波総合病院		

石川県立看護大学
超少子高齢化地域での先進的がん医療人養成(北信がんプロ)

平成30年度 ライフステージ事例検討会

CNS関係者による がん看護事例検討会

CNS関係者を対象としたがん看護事例検討会を
スーパーバイザーをお招きし下記の日程で開催致します。

参加資格 CNSの方(どの領域の方でも)、今後CNS
受験予定の方、CNSコースの大学院生

第1回 日時:7月13日(金) 17:00~18:30
場所:石川県立看護大学 3階 会議室
スーパーバイザー:北里大学病院
がん看護専門看護師 坂下 智珠子 先生

第2回 日時:9月10日(月) 17:30~19:15
場所:石川県立看護大学 3階 会議室
スーパーバイザー:北海道医療大学
名誉教授 石垣 靖子 先生

石川県立看護大学 <http://www.ishikawa-nu.ac.jp/>
お問い合わせ:石川県立看護大学 がんプロ特任助手(濱鍛治)
TEL:076-281-8300(代表) E-mail:ganproj@ishikawa-nu.ac.jp

石川県立看護大学(平成30年度 北信がんプロ主催
大学院特別講義)

「緩和ケアと臨床倫理」 ～高齢者ケアに焦点をあてて～

講師: **石垣 靖子** 先生
北海道医療大学 名誉教授

日時:9月10日(月) 14:00~17:15
場所:石川県立看護大学 3階 会議室
対象:看護師(教員、院生含む)

<お問い合わせ先>
石川県立看護大学 がんプロ特任助手(濱鍛治)
TEL:076-281-8300(代表)
E-mail:ganpro-j@ishikawa-nu.ac.jp



超少子高齢化地域での先進的がん医療人養成(北信がんプロ)
平成30年度 看護実践セミナー

臨床で行なう リンパ浮腫のケア ～基礎編～

午前:リンパ浮腫の基礎知識(講義)
午後:リンパ浮腫ケアの実際(演習)

参加費
無料

[日時]▶▶8月5日(日)

9:30~16:00

先着50名様
申し込み締め切り
7月13日(金)

[会場]▶▶石川県立看護大学

教育研究棟2階
中講義室4/成人・老年看護学実習室

[講師]▶▶高地 弥里先生

石川県済生会金沢病院 がん看護専門看護師

本セミナーは
修了証を発行します

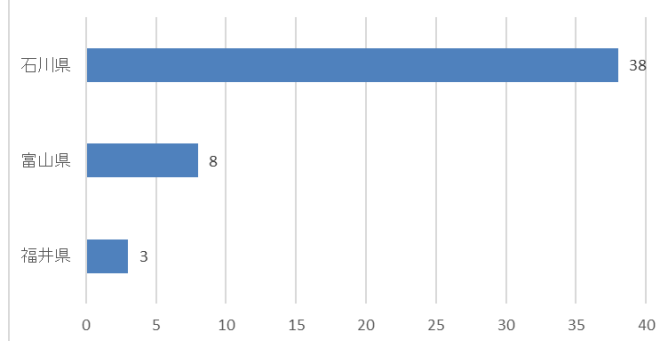
託児(無料)希望の方は、7月6日(金)までに
お申し込み下さい。定員になり次第、終了します。

参加者へのお願い

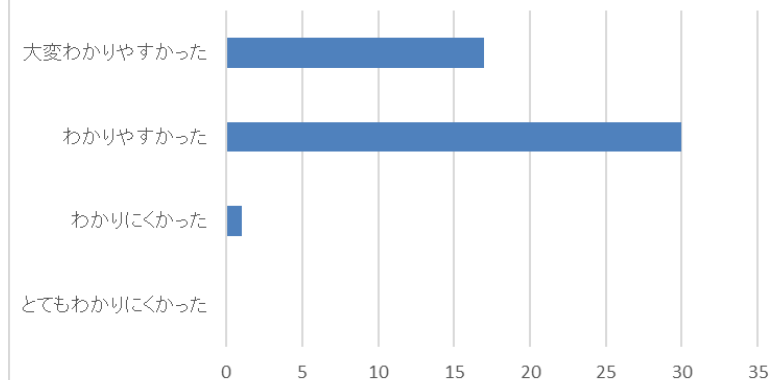
- ◆昼食は持参して下さい。
 - ◆半袖・半ズボン・内履きを持参してください。
- ※午後からの演習で使用します。

主催 超少子高齢化社会での先進的がん医療人養成(北信がんプロ)
(石川県立看護大学・金沢大学・金沢医科大学・福井大学・富山大学・信州大学 共同企画事業)

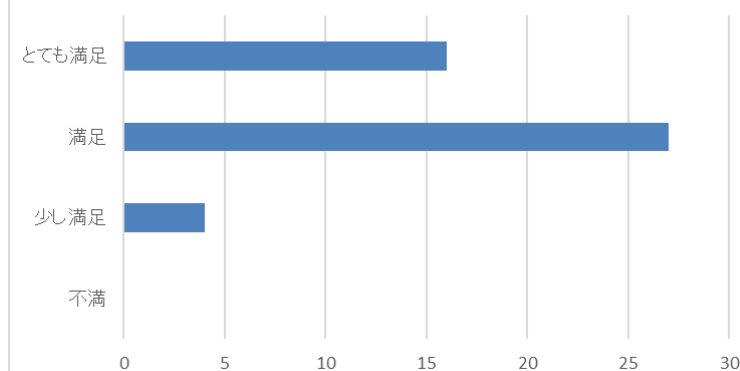
参加居住区



セミナー内容



セミナー満足度



超少子高齢化地域での先進的がん医療人養成（北信がんプロ）
平成30年度 看護実践セミナー

本セミナーは
修了証を
発行します

臨床で行なう リンパ浮腫のケア アドバンス編

講習内容
・事例のグループワーク
・患者指導場面のロールプレイ
・マッサージの体験

2018年9月8日(土) 9:30～15:30(受付9:15～)

講師

高地 弥里

石川県済生会金沢病院 がん看護専門看護師/日本医療リハビリテーション中級セラピスト

時山 麻美

富山県立中央病院 がん看護専門看護師/日本医療リハビリテーション中級セラピスト

場所 石川県立看護大学

教育研究棟2階 成人・老年看護学実習室

対象 医療職者 18名 (2016～2018年度開催の本学リ

浮腫セミナーに参加された方)

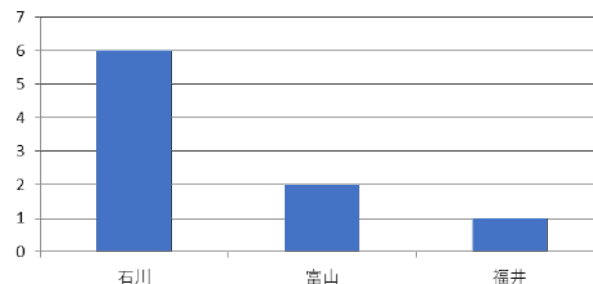
締切 8月28日(火) 参加無料 ※お申込みはWEBでお願いたします。

QR
コード

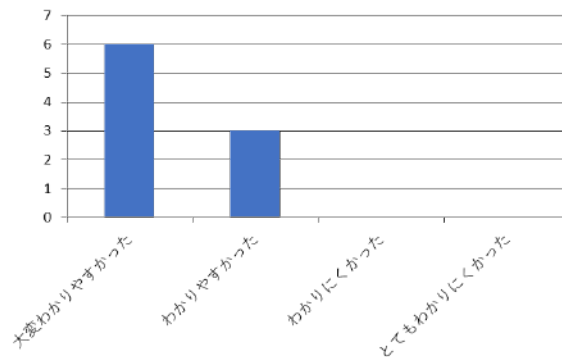
主催 超少子高齢化社会での先進的がん医療人養成(北信がんプロ)
(石川県立看護大学・金沢大学・金沢医科大学・福井大学・富山大学・信州大学 共同企画事業)

【お問い合わせ先】石川県立看護大学 〒922-8510 石川県能登町金沢1-1-1

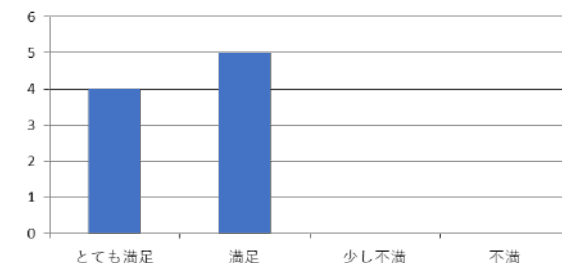
居住区



内容はわかりやすかったか



参加して満足したか





石川県立看護大学
超少子高齢化地域での先進的がん医療人養成(北信がんプロ)

参加費
無料
定員
120名

公開講座

がんゲノム医療を理解し 現場に活かそう

第Ⅰ部 「真の個別化、がんゲノム医療の到来」 13:00-14:10

講師 安本 和生 先生 金沢医科大学 腫瘍内科学講座 教授

座長 菅 幸生 先生 金沢大学医薬保健研究域薬学系 准教授
臨床薬物情報学研究室

第Ⅱ部 「ゲノム医療における遺伝カウンセリングと看護」 14:20-15:10

講師 村上 好恵 先生 東邦大学 看護学部 がん看護学研究室 教授

座長 牧野 智恵 先生 石川県立看護大学 成人看護学領域 教授

質疑応答 15:10-15:30

※参加対象者は医療従事者(大学院生含む)です。
※駐車場に限りがありますので、交通公共機関のご利用をお願いします。
本研修会は、石川県病院薬剤師会生涯認定制度単位(1単位)に申請中です。

参加者には
修了証
を発行します

本企画は「がんライフコース」、
「がんゲノム医療推進入門コース」の
修了要件に含まれます。

2018年 9月29日(土) 13:00~15:30
(受付 12:30)

会場/ホテル金沢(5階アプローチ) 〒920-9849 金沢市堀川(新町1番1号)
TEL:076-223-1111

【お申し込み・お問い合わせ】 石川県公立大学法人 石川県立看護大学 (担当:濱鏡治)

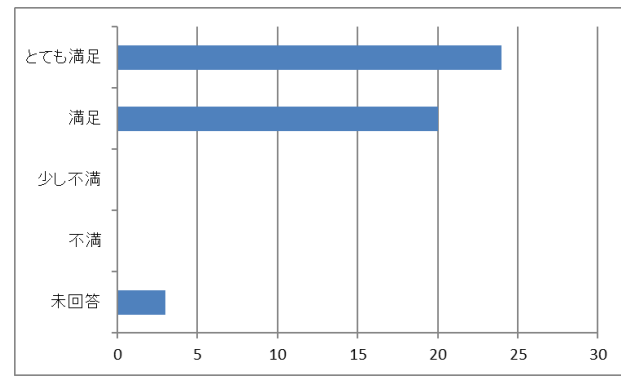
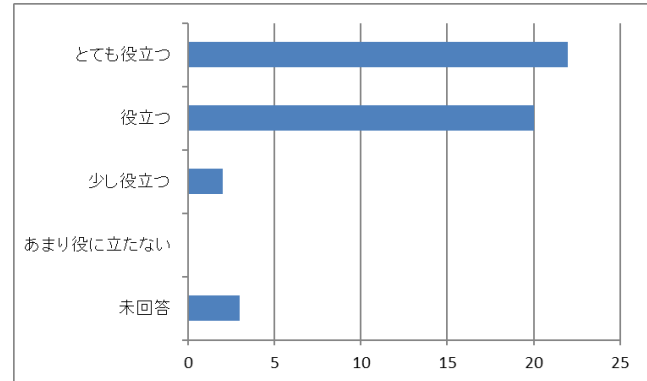
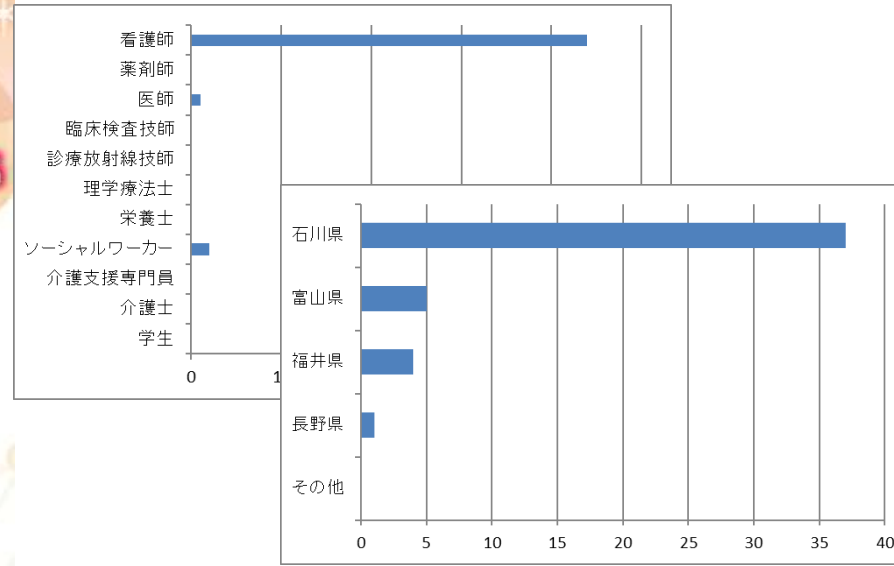
〒929-1210 石川県かほく市学園台1丁目1番地 TEL:076-281-8300

■ 重要 ■ 平成30年9月20日(木) ※お申し込みの受付は、この日までです。

申し込みはQRコードまたは
画面をご確認ください。



主催: 超少子高齢化地域での先進的がん医療人養成(北信がんプロ) 石川県立看護大学
後援: 石川県病院薬剤師会 北信新聞社



オーストラリア メルボルン 「緩和ケア」 研修報告会

《発表順番》

- ①「Department of Health & Human Services, State Government of Victoria」
富山大学: 門田 彩花(看護師 緩和ケア認定看護師)
梶浦 新也(附属病院臨床腫瘍部 助教)
- ②「The Royal Melbourne Hospital」
福井大学: 小林 美貴(がん診療推進センター 緩和ケア認定看護師)
浦井 真友美(がん診療推進センター 副看護師長)
- ③「Monash Children's Hospital(Monash Health関連施設)」
石川県立看護大学: 金谷 雅代(小児看護学 講師)
樋口 麻衣子(がんプロ 特任助手)
- ④「McCulloch House(Monash Health関連施設)」
石川県立看護大学: 松本 智里(成人看護学 助教)
林 静子(基礎看護学 講師)
- ⑤「Peninsula Home Hospice」
金沢医科大学: 北村 佳子(看護学部 講師)
- ⑥「Caritas Christi Hospice」
信州大学: 間宮 敬子(医学部附属病院信州がんセンター緩和ケア部門 教授)
井出 貴之(医学部族病院薬剤部)
- ⑦「Banksia Palliative Care Service」
金沢大学: 出口 有紀子(看護部 緩和ケア認定看護師)

総括 牧野 智恵



アメリカ/がんゲノム医療 オーストラリア/緩和ケア

海外FD研修報告会

日程

5月9日(水)

18:00~20:00

第1部 18:00~18:45

アメリカ/ワシントンDC 視察 報告
視察施設: 国立ヒトゲノム研究所、国立がん研究所

第2部 18:50~19:35

オーストラリア/メルボルン 視察 報告
視察施設: ビクトリア州保健福祉局、
ロイヤル・メルボルン病院、モナシュこども病院他

【会場】

各大学・各医療施設等
がんプロテレビ会議室

【金沢大学会場】

医学類教育棟 地下大多目的室

→→→→→
本年度は、富山大学・金沢医科大学が主催で開催いたします。
詳細は、決定後、ご案内させていただきます。

→→→→→

超少子高齢化地域での先進的がん医療人養成
北信がんプロ事務局
金沢大学大学院医薬保健学総合研究科内
〒920-8640 金沢市宝町13-1
TEL076(234)4205/(265)2854 FAX076(265)2855
E-mail gpro@med.kanazawa-u.ac.jp http://www.gan-pro.net/



参加者には修了証を発行します。

参加費
無料

定員
80名

2018年度事業
北信がんプロ公開事例検討会

人生最終段階の生を

どう支えるか

— 人生から治療の意味を考える —

開会の挨拶(10:00~) 牧野 智恵 (石川県立看護大学 成人看護学 教授)

第1部 事例提供及び質疑応答(10:05~)

事例提供者 時山 麻美 先生 (富山県立中央病院 がん看護専門看護師)

第2部 事例検討及びシンポジウム(10:40~)

コメンテーター/シンポジスト

古谷 和紀 先生

(京都大学医学部附属病院 看護部管理室 副看護師長 / 老人看護専門看護師)

「高齢者ケアを理解する

— 高齢者の特徴とケアのPOINT —

平 優子 先生 (市立砺波総合病院 がん看護専門看護師)

「がん化学療法を受ける高齢がん患者の特徴とケア —治療が及ぼす影響—」

松本 友梨子 先生 (福井県済生会病院 がん看護専門看護師)

「高齢がん患者のエンドオブライフ・ケア—アドバンス・ケア・プランニングの視点から—」

座長 牧野 智恵 (石川県立看護大学 成人看護学 教授)

内村 恵里子 (石川県立中央病院 がん看護専門看護師)

閉会の挨拶(12:00~)

2019年 ホテル金沢(5階 アプローチ) 〒920-0849 石川県金沢市堀川新町1番1号
TEL 076-223-1111

3月2日(土) 10:00~12:00 (受付 9:30)

お申し込み・お問い合わせ

石川県公立大学法人 石川県立看護大学

〒929-1210 石川県かほく市学園台1丁目1番地

TEL 076-281-8300 (代)

E-mail: ganpro-j@ishikawa-nu.ac.jp (担当: 濱鍛治)



主催: 超少子高齢化地域での先進的がん医療人養成(北信がんプロ)

石川県立看護大学

共催: 北陸CNSの会

後援: 北國新聞社

定員になり次第、締め切らせて頂きます。

【申込締切】2019年

2月25日(月)



okushin
がんプロ



平成30年度
北信がんプロ 外部評価委員会

「超少子高齢化地域での先進的がん医療人養成」

北信がんプロ

金沢大学の活動状況報告

矢野 聖二

金沢大学附属病院がんセンター

金沢大学がん進展制御研究所 腫瘍内科

WPI 金沢大学ナノ生命科学研究所

北信がんプロの教育コース（受入目標と実績）

本科生コース（平成30年4月受入開始）

（平成30年3月5日現在）

コース名	職種	受入目標人数						受入実績						
		H29	H30	H31	H32	H33	合計	H29	H30	H31	H32	H33	合計	
金沢大	先端の個別化医療	医師	0	5	5	5	5	20	0	9				9
	個別化薬物療法	薬剤師	0	1	2	2	2	7	0	1				1
	高度化医学物理士	医学物理士	0	2	2	2	2	8	0	3				3
信州大	ゲノムがん治療医	医師	0	2	2	2	2	8	0	2				2
	遺伝カウンセラー	遺伝カウンセラー	0	1	1	1	1	4	0	1				1
富山大	高齢がん患者対策	医師	0	4	4	4	4	16	0	6				6
	個別化医療薬剤師	薬剤師	0	1	1	1	1	4	0	1				1
福井大	地域がん専門医	医師	0	2	2	2	2	8	0	3				4
金沢医大	がん専門医リーダー	医師	0	2	2	2	2	8	0	2				2
石川看護大	がんライフステージ	看護師	0	2	2	2	2	8	0	2				1
	合計		0	22	23	23	23	91	0	30	0	0	0	30

インテンシブコース 平成29年10月受入開始（一部30年4月受入開始）

コース名	職種	受入目標人数						受入実績						
		H29	H30	H31	H32	H33	合計	H29	H30	H31	H32	H33	合計	
金沢大	がんゲノム生涯教育	医師	2	6	6	6	6	26	2	12				14
	個別化薬物実践	薬剤師	0	1	3	4	4	12	0	4				4
	がんゲノム多職種連携入門	多職種	0	10	10	10	10	40	0	32				32
富山大	高齢がん患者対策	医師	2	2	2	2	2	10	2	2				4
	高齢対策薬剤師	薬剤師	1	2	2	2	2	9	2	4				6
	在宅緩和リハ	看護師	0	1	2	2	2	7	0	6				6
福井大	在宅栄養管理	多職種	0	12	22	22	22	78	0	24				24
	在宅緩和医療	多職種	0	24	24	24	24	96	0	25				25
金沢医大	がん集学的治療	医師	1	2	2	2	2	9	1	2				3
石川看護大	がんライフケア	多職種	2	5	5	5	5	22	3	10				13
	合計		8	65	78	79	79	309	10	121	0	0	0	131

北信がんプロ

第1回オンコロジーセミナー

大学院生、がん診療連携拠点病院・地域がん診療推進病院等の医師、薬剤師、看護師、診療放射線技師、臨床検査技師など医療スタッフの皆さま

日時

会場

2017年12月8日（金）
18：00～20：00

金沢大学医学類教育棟
地下大多目的室

プログラム

症例検討1（担当：金沢大学がんセンター）

オシメルチニブ治療に対し対照的な臨床経過を示した
T790M陽性EGFR変異肺がんの2症例

症例検討2（担当：信州大学信州がんセンター）

子宮転移をきたし、耐性遺伝子を検索しえた
ALK肺がんの一例

特別講演 演題「がん研究が導くゲノム医療」

東京大学大学院医学系研究科生化学・分子生物学講座 細胞情報学分野教授
国立がん研究センター 理事・研究所長

間野 博行 先生

受講手続き（大学院生）

- ・受講を希望する学生は履修届を所属大学の学務係に提出してください。
- ・詳細は所属大学の学務係にお問い合わせください。

問い合わせ先

- ・ご不明な点は所属大学の学務担当係または北信がんプロ事務局にお問い合わせください。

超少子高齢化地域での先進的がん医療人養成

北信がんプロ事務局

[金沢大学大学院医薬保健学総合研究科内]

〒920-8640 金沢市宝町13-1

TEL 076(234)4205/(265)2854 FAX 076(265)2855

E-mail gpro@med.kanazawa-u.ac.jp <http://www.gan-pro.net/>

オンコロジーセミナーへのご参加お待ちしております！

北信がんプロ第一回オンコロジーセミナーを、各大学・がん診療連携拠点病院間を結んだテレビ会議システムにより開催致しました。

（第1回オンコロジーセミナー 参加人数:90名）

第一回目となる今回は、金沢大学附属病院がんセンター・信州大学医学部附属病院がんセンターより2症例の発表と、国立がん研究センター理事・研究所長の間野博行先生に特別講演として「がん研究が導くゲノム医療」をご講演いただきました。



金沢大学では
ゲノム医療に関する内容を中心に企画を予定

2018年12月（済）

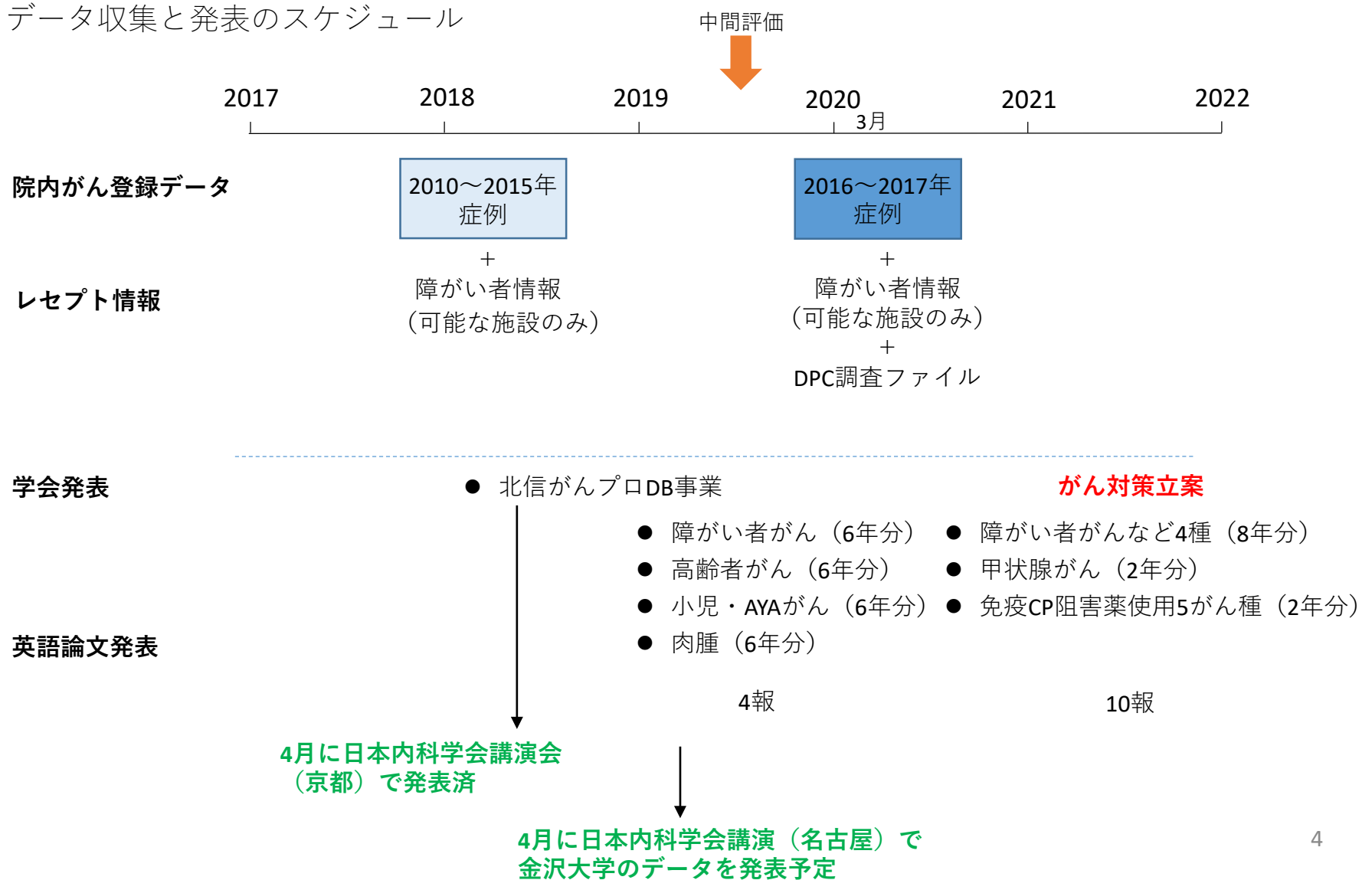
2019年2月7日（木）：九州がんプロとジョイント

2020年4月～6月 開催を予定！

2021年7月～9月

地域がんデータベースの年次計画

データ収集と発表のスケジュール



若年がん患者妊孕性温存の現状

(2015年～2017年金沢大学附属病院)

がん腫	患者数	温存希望あり	温存実施
子宮頸がん	101 (25%)	30	0
乳がん	59 (14%)	7	4
甲状腺がん	47 (11%)	2	0
その他	205 (59%)	20	7
計	412	59 (14%)	11 (3%)

(希望者の19%)

- 後方視的検討(電子カルテの記載から情報を収集)。
- 平均年齢 33.7歳(中央値35歳、20-40歳)。
- 妊孕性温存希望の有無が**不明**の症例は**約7割**。
- 温存実施患者の診断から治療開始までの平均日数46日。



- 課題
- アンケート方式で意思表示を明確にする必要あり。
 - 温存療法希望時のシステム構築が必要。

国際エキスパートセミナー

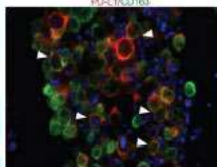
Primary and Acquired Mechanisms of Resistance to Immunotherapies

2018年7月13日(金) 18:00~19:00

会場:金沢大学附属病院外来棟4階 宝ホール

Herbst 博士はエール大学のメディカルオンコロジストで免疫チェックポイント阻害薬研究の世界的権威です。2014年には、抗 PD-L1 抗体(アテゾリズマブ)の効果予測因子として免疫細胞の PD-L1 発現(下図)や Th1 サイトカイン発現を Nature 誌に報告しています。また、非小細胞肺癌における抗 PD-1 抗体(ペムブロリズマブ)の効果 (KEYNOTE-010) を Lancet 誌に発表しました。

本講演では免疫療法の感受性・耐性因子についての最新情報をお話いたします。奮ってご参加ください。



Prof Roy S Herbst
Yale School of Medicine
Yale Cancer Center
Smilow Cancer Hospital
at Yale-New Haven USA

主催 超少子高齢化地域での先進的がん医療人養成 北信がんプロ
連絡先 金沢大学附属病院がんセンター 矢野聖二
syano@staff.kanazawa-u.ac.jp 076-265-2794



参加人数：30名

第2回 国際エキスパートセミナー

PD-L1 immunohistochemistry is the best predictive biomarker for PD-1/PD-L1 blockade? - an experience with NSCLC

2018年11月27日 TUE 17:00~

場所
金沢大学附属病院 外来診療棟4階
CPDセンター

講師
ハーバード大学 医学部病理学 教授
Dr Mari Mino-Kenudson

座長
金沢大学 人体病理学 教授
原田 憲一

PD-L1 expression by immunohistochemistry (IHC) is used to select lung cancer patients for PD-1/PD-L1 axis blockade. However, there are multiple issues associated with PD-L1 IHC. Importantly, PD-L1 expression only may not be the best predictor of response to the blockade. In this talk, I will discuss the issues associated with PD-L1 IHC, and other potential biomarkers to improve the prediction of response to the PD-1/PD-L1 blockade.



profile

Dr. Mino-Kenudson is Professor of Pathology at Harvard Medical School and the director of Pulmonary Pathology service at Massachusetts General Hospital, Boston, USA. She has been conducting translational research on lung cancer in collaboration with molecular pathologists, thoracic oncologists, and basic scientists. She and her team have described the morphology of molecularly annotated and/or biologically aggressive lung adenocarcinomas. They were the first group to report the signet ring cell morphology associated with ALK rearranged lung adenocarcinomas, as well as tumor islands, which associate with KRAS mutations and unfavorable patient outcomes, and are now considered to represent airspace invasion. They also documented the utility of clinical testing to identify molecularly defined lung adenocarcinomas. The ALK and ROS1 FISH as well as ALK immunohistochemistry (the clone D5F3) that they reported have significantly facilitated the detection of patients with actionable gene arrangements (game-changing innovations). She and her collaborators have also been actively investigating resistant mechanisms for EGFR, ALK and ROS1 tyrosine kinase inhibitors that will aid in identifying appropriate treatment for those patients after development of resistance to the inhibitors. She has contributed to the 2015 WHO classification of lung tumours and is a member of the Pathology Panel of the International Association for the Study of Lung Cancer (IASLC).

主催 北信がんプロ(超少子高齢化地域での先進的がん医療人養成)

お問い合わせ 金沢大学 北信がんプロ事務局 TEL 076-234-4205

E-mail gpro@med.kanazawa-u.ac.jp URL http://www.gan-pro.net/



参加人数：40名

第40回

石川県がん診療 連携拠点病院研修会

日時 平成30年6月28日(木) 18時～20時

場所 金沢大学附属病院 宝ホール (外来診療棟4階)

対象者 がん診療に携わる医療従事者

演題・演者

座長：竹内 伸司先生(金沢大学附属病院 がんセンター)

「がんゲノム医療の実践と 今後の展望」

慶應義塾大学医学部
腫瘍センター ゲノム医療ユニット 特任教授 西原 広史先生

座長：矢野 聖二先生(金沢大学附属病院 がんセンター)

「胃癌化学療法 of 最近の話題」

東北大学加齢医学研究所 臨床腫瘍学分野 教授 石岡 千加史先生

主催：金沢大学附属病院

共催：株式会社ヤクルト本社、北信がんプロ 後援：石川県病院薬剤師会(生涯研修制度1単位)

問合せ先

金沢大学附属病院 地域医療連携室
TEL:076-265-2039 FAX:076-234-4307
(平日8時30分～15時)

※準備の都合上、研修会開催日の前日までに上記へ参加申し込みいただくようご協力お願いいたします。

第41回

石川県がん診療 連携拠点病院研修会

(合同開催：第21回クリニカルパス大会)

日時 平成30年11月8日(木) 18時～20時

場所 金沢大学附属病院 宝ホール (外来診療棟4階) 対象者 がん診療に携わる医療従事者

演題・演者

座長：伏田 幸夫先生(金沢大学附属病院 消化器外科)

「当科における電子パス導入推進の取り組み ～電子パス導入によって達成された診療の効率化～」

金沢大学附属病院 泌尿器科 助教 野原 隆弘先生

座長：伏田 幸夫先生(金沢大学附属病院 消化器外科)

「BOMを活用したアウトカム志向の クリニカルパス」

済生会熊本病院 医療情報部 医療情報分析室 兼 AMEDパス事業推進室 室長 小妻 幸男先生

座長：矢野 聖二先生(金沢大学附属病院 がんセンター)

「～免疫療法・個別化治療でこんなに進んだ!～ 進行非小細胞肺癌治療の現在地」

兵庫県立がんセンター 化学療法担当部長 兼 呼吸器内科部長 ゲノム医療・臨床試験センター 次長 里内 美弥子先生

主催：金沢大学附属病院

共催：アストラゼネカ株式会社、北信がんプロ
後援：石川県病院薬剤師会(石川県病院薬剤師会生涯研修制度1単位)

問合せ先

金沢大学附属病院 地域医療連携室
TEL:076-265-2039 FAX:076-234-4307
(平日8時30分～15時)

※準備の都合上、研修会開催日の前日までに上記へ参加申し込みいただくようご協力お願いいたします。

がん拠点病院との県民公開講座

平成29年10月29日（日）第1回北信がんプロ合同市民公開講座

金沢大学宝町キャンパス・十全講堂（医学展との合同開催）
医学部生も運営に参加！

平成30年3月21日（祝・水）石川県がん診療連携協議会県民公開講座

加賀市医療センター （KMCホール）



国が指定するがん拠点病院 石川県合計 5

- **都道府県拠点病院（全国51）**
金沢大学附属病院
- **地域拠点病院（全国337）**
石川県立中央病院：全県担当
金沢医科大学病院：能登地区担当
金沢医療センター：石川中央地区担当
小松市民病院：南加賀地区担当

県が指定する病院 石川県合計 9

- **協力病院（2）** 公立能登総合病院, 恵寿総合病院
- **推進病院（7）** **芳珠記念病院** 金沢赤十字病院, 金沢市立病院
金沢社会保険病院, 浅ノ川総合病院,
石川県済生会金沢病院, 公立松任石川中央病院

第20回 石川県がん診療連携協議会 県民公開講座

最新のがんの診断法や治療法を学ぼう

第1部	
(司会)	村上 圓也先生 小松市医師会 病院長
	小橋 一功先生 加賀市医療センター 病院長
1	乳がん 佐藤 礼子先生 小松市医師会 外科
2	大腸がん 石田 哲也先生 加賀市医療センター 病院長
第2部	
(司会)	佐久間 貴先生 羽咋総合病院 病院長
	大坪 公士郎先生 金沢大学附属病院 がんセンター 副センター長
3	肺がん 西 耕一先生 石川県立中央病院 呼吸器科 病院長
4	膀胱がん 渡辺 美智夫先生 加賀記念病院 病院長

日時 平成30年3月21日(水・祝)
午後1時～3時

場所 加賀市医療センター KMCホール
〒920-8662 加賀市宝町1-3番地

主催 石川県がん診療連携協議会
後援 石川県・石川県医師会・北國新聞社

連絡先 金沢大学附属病院 医事課 がんセンター事務
〒920-8641 金沢市宝町1-3番1号
TEL.076-265-2935(内線1600)
FAX.076-234-4303
email:cancer-center@umin.ac.jp

※お申し込みは下記までお願いいたします。
(電話・FAX・メールにて受け付けています。)

入場無料

平成30年度 石川県がん診療連携協議会 県民公開講座

がんの最新の診断・ 治療法を学ぼう！

日時 2018年11月25日(日)
午後1時～3時

会場 フォーラム七尾
JR七尾駅前 パトリア4F交流とふれあいのフロア

入場無料

〈開会挨拶〉 矢野 聖二(金沢大学附属病院・副病院長)
13時～13時10分

〈第1部〉 座長 岡田 俊英(石川県立中央病院・院長) 牛島 聡(公立能登総合病院・副病院長)
13時10分～14時

講演1 **乳がん** 鎌田 徹(恵寿総合病院 副病院長・乳腺外科長)

講演2 **前立腺がん** 南 秀朗(公立能登総合病院・泌尿器科部長)

〈休憩〉
14時～14時10分

〈第2部〉 座長 鎌田 徹・矢野 聖二
14時10分～15時

講演3 **胃がん** 安本 和生(金沢医科大学病院・集学的がん治療センター副センター長)

講演4 **肺がん** 西山 明宏(金沢大学附属病院・がんセンター医師)

敬称略

主催■石川県がん診療連携協議会 後援■石川県、石川県医師会、北国新聞社

(連絡先) 金沢大学附属病院 地域医療連携室 TEL(076)265-2039 FAX(076)234-4307

email : hprenkei@adm.kanazawa-u.ac.jp URL : <http://cancer-center.w3.kanazawa-u.ac.jp/>

事前の聴講申込みにご協力ください。(電話・FAX・メールにて受け付けています。)



女子高生2名を含む
150名以上が参加！

平成30年度 第1回北信がんプロ 市民公開講座 in 金沢
第30回日本医学会総会2019中部イベント

明治維新から150年 激動するがん医療の 流れを知ろう

入場
無料
定員
500名

日時 平成30年10月28日(日) 14時00分～16時30分
(開場・受付開始 13時00分～) 場所 金沢大学宝町キャンパス 十全講堂 〒920-8640 石川県金沢市宝町13-1



PROFILE

原 千晶 Hara Chiaki

1974年石川県金沢市生まれ。
1994年第21代タリエンゴールに選ばれIT業界デビュー。雑誌やTVなどを中心にタレントとして活動。2005年30歳の時に子宮がんと診断され、子宮全摘を勧められるが拒み切れず退会。2009年年末に再度子宮にがんが見つかり、翌年1月に手術。その後抗がん剤治療を行う。自身のがん経験をもとに、2011年7月婦人科がん患者会「よつばの会」を設立。現在は会員数は1600名を超える。会の代表として、タレントとして各地でがん啓発の講演会を積極的に行っている。
著書に「原千晶39歳がんと私、明日の私、キレイな私」(光文社)がある。TBSの6kgびり火曜コメンタリー

開会 14時00分 開会挨拶 石川県医師会会長 安田 健二

第1部 14時10分～15時15分
主賓 金沢大学附属病院がんセンター 矢野 聖二
主賓 金沢大学附属病院がんセンター 河崎 洋志

もっと知りたい がんゲノム医療 金沢でもがんゲノム医療が 受けられるのでしょうか

- 講演1 ガッテン! ゲノム変異の意味
金沢大学がん遺伝学研究所 松本 邦夫
- 講演2 これが金沢でのがんゲノム医療です
金沢大学附属病院がんセンター 竹内 伸司
- 講演3 がんが遺伝するかお悩みの方へ
金沢大学附属病院遺伝診療部 渡邊 淳
- 講演4 免疫療法の実力とがんゲノム医療との接点
金沢大学医学部6年 齋藤 寛見 金沢大学医学部4年 毎田 彩季

第2部 15時30分～16時20分

特別講演 大切にしたい自分の体 ～2度の子宮がんを経験して～

主賓 金沢大学附属病院 蒲田 敏文 金沢医科大学 濱川 悦子
演者 女優 原 千晶

閉会 16時20分 閉会挨拶 第30回日本医学会総会2019中部 川部 勤

主催:北信がんプロ(超少子高齢化地域での先進的がん医療人養成)、金沢大学医学実行委員会
共催:第30回日本医学会総会2019中部、石川県医師会、石川県がん啓発推進協議会、金沢大学がん遺伝学研究所、
金沢大学附属病院先端医療開発センター、北陸臨床研究推進機構、北陸認知症プロフェッショナル医療支援プラン、北陸新聞社
後援:石川県、金沢市、金沢市医師会、石川県看護協会、テレビ金沢、エフエム石川、金沢ケーブルテレビネット、北陸放送

参加お申し込みについては「北信がんプロ」ホームページまたはチラシをご確認ください

お問い合わせ・お申し込み先
超少子高齢化地域での先進的がん医療人養成 金沢大学 北信がんプロ事務局
〒920-8640 石川県金沢市宝町13-1 TEL 076(234)4205, 076(265)2854 FAX 076(265)2855
http://www.gan-pro.com/ e-mail: gpro@med.kanazawa-u.ac.jp



竹内伸司講師

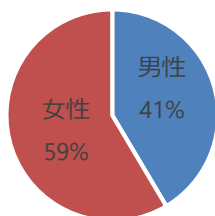


渡辺淳特任教授

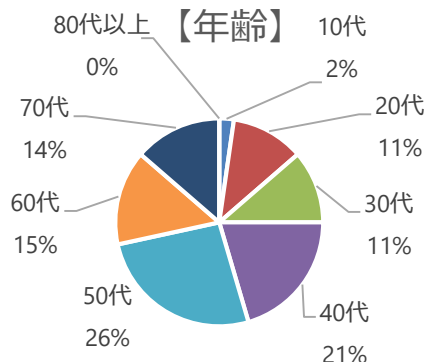


市民公開講座での参加者の声（アンケート結果）

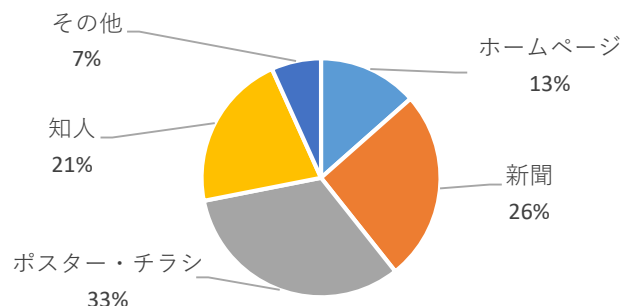
【性別】



【年齢】



【開催を何で知ったか】



講演	ご意見・ご感想
第1部 「もっと知りたい がんゲノム医療」	<ul style="list-style-type: none"> ・治療の選択肢が広がっている事におどろいた。税金はこういう分野にどんどん使って欲しい。(40代・女性) ・どの御講義もとてもわかりやすかったです。最先端治療のお話を聞かせてもらい感謝します。(60代・男性) ・がんがどの様に発症するのか?! その仕組みと現代の治療法について知ることが出来た。(40代・男性) ・ゲノムが何かから、受診の方法まで分かりやすかった。最後の学生発表は分かりやすく、今後の医療について興味を持たた。(30代・女性) ・講演時間に制限があったためか、早口だったと思う。もう5分でもあれば、聞きやすかったのでは。(50代・女性)
第2部 「大切にしたい 自分の体」	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年、腫瘍が発見されました。3ヶ月毎に受けなければならない検査を1ヶ月以上放置しています。逃げたいという気持ちは誰にでもあるのだなと思いました。すぐに病院に行きます。ありがとうございます。(40代・女性) ・わかりやすく、そして気丈に頑張ってくられた原さんのお話に感動しました。私もがん患者ですが、すごく勇気ができました。ありがとうございました。(60代・男性) ・非常に生々しい話でした。今日帰ってから家族の皆に話をしたいと思います。(50代・男性) ・辛い経験を楽しく(?)話していただきあっという間の時間でした。原さんのファンになりました。(40代・女性) ・ご自身の辛い体験を語っていただき貴重なお話がきけて、身にしみました。原さんにはこれからもどんどん活躍していただきたいです。(50代・女性) ・講師の体験が、患者・家族サイド、医療者、双方の立場から学ぶべきことがたくさんありました。患者として正直な気持ちと医療者の次なる人生の支えについて、心に響きました。(40代・女性)

外部評価結果（委員提出用）

外部評価委員： _____

【評価結果】

- 問題や不十分な点はない。
- 一部問題や不十分な点がある。
- 全体的に不十分であるか、一部に重大な問題がある。

[実施状況に関するコメント]

(優れた点)

(改善を要する点)

外部評価結果（総括）

【評価結果】
<input type="checkbox"/> 問題や不十分な点はない。 <input type="checkbox"/> 一部問題や不十分な点がある。 <input type="checkbox"/> 全体的に不十分であるか、一部に重大な問題がある。
[実施状況に関するコメント]
(優れた点)
(改善を要する点)

**平成29年度大学教育再生戦略推進費
「多様な新ニーズに対応する「がん専門医療人材
(がんプロフェッショナル)」養成プラン」
申請書**

【様式1】

事業の構想等

申請担当大学名 (連携大学名)	金沢大学 (信州大学、富山大学、福井大学、金沢医科大学、石川県立看護大学) 計6大学
事業名 (全角20字以内)	超少子高齢化地域での先進的がん医療人養成

事業責任者 連絡先	職名・氏名	金沢大学がん進展制御研究所腫瘍内科学教授・矢野 聖二
	TEL	076-265-2780
	FAX	076-234-4524
事務担当者 連絡先	E-mail	syano@staff.kanazawa-u.ac.jp
	職名・氏名	金沢大学医薬保健系事務部学生課長・中平 泰
	TEL	076-265-2126
	FAX	076-234-4208
	E-mail	iyakuhogakusei-kacho@adm.kanazawa-u.ac.jp

1. 事業の構想 ※事業の全体像を示した資料(ポンチ絵A4横1枚)を末尾に添付すること。

(1) 事業の全体構想

①事業の概要等

〈テーマに関する課題〉2期の北陸がんプロ(金沢大、富山大、福井大、金沢医大、石川看護大)では、1)本科生充足率138%の達成、2)チーム医療の柱となる延べ139名の認定資格取得者輩出、3)TV会議システムを活用したがんプロキャンサーボード(109回、194症例、6,337名参加)による多施設・多職種連携の基盤構築、4)小・中学校教諭向けがんe-learning教材の作成・無料配布等、特色ある活動によって北陸地域のがん医療・がん教育向上に貢献し、地域でのがん医療人材育成システム構築の基盤が形成された。

本事業では、先駆的ゲノム医療を実施し、平成7年に全国初の遺伝子診療部を設立した信州大を加えた国公私立の6大学(北信がんプロ)で、北信地域でのがん医療人材育成に取り組む。北信地域には金沢大がん進展制御研究所の高い基礎研究力、附属病院の高い臨床研究力(医師主導治験4件立上げ/3年間)や国内・国際連携力(国立がん研究センターや復旦大等と連携協定締結)、信州大の遺伝カウンセラー養成等先進的特徴がある。また、北信地域は全国と比較し、15年以上進んだ超少子高齢化状態にあり、将来の日本を反映したモデル地域である。北信地域でも全国と同様最先端のゲノム医療による高度医療実現、小児・AYA世代・希少がん治療、ライフステージごとの対応が必要だが、進行した超少子高齢化により、社会を支える小児・AYA世代・働き盛り世代がんの最適な診療・治療・就労支援、増加した高齢者がんの最適な治療・在宅緩和ケアが喫緊のニーズである。これまでは金沢大の先進的な集学的個別化ゲノム医療、信州大の小児・AYA世代がん診療、金沢医大の希少がん病理診断や集学的治療、富山大の高齢者がん対策、福井大の先進的在宅緩和ケア、石川看護大の全人的ケアと認定看護師養成等、各大学が特徴ある診療やがん医療人育成を行ってきた。しかし北信地域では医療スタッフが少ない、小児・AYA世代・希少がん症例数が少ない、地域として医療実態の把握がなされていない等、がん医療人育成における地域的医療課題がある。北信地域に適合するがん医療人材育成のためには、6大学の強みを生かした相互補完的教育の実施、症例数が少ないがんでも効率よく経験できる遠隔教育・研修システムの確立、北信地域全体の症例・がん医療のデータベース化による医療実態の把握等に取り組み、**県の枠を超えた戦略的がん医療人育成システム構築が必要**である。現状の北信地域で多様なニーズに対応した患者中心のチーム医療を行う先進的がん医療人材育成モデルを構築できれば、将来の日本の超少子高齢化社会で活躍するがん医療人材を育成できると考えられる。

〈事業の概要〉

本事業は、県の枠を超えた北信地域での戦略的がん医療人材育成システム構築を目指す。6大学の強みを生かした最先端がんゲノム医療、小児・AYA世代・希少がんの集学的治療、ライフステージに応じたケアを大学の枠を超えて学習できる、共通科目や単位互換を導入した相互補完的教育コース（本科10、インテンシブ9）を新設する。2期がんプロで構築したTV会議システムを発展させた北信オンコロジーセミナー等を定期開催し、遠隔教育により多施設・多職種連携を推進する。さらに免疫チェックポイント阻害薬使用例など特色ある症例の北信地域がんデータベースを構築し、学会・論文発表に使用して専攻生や教員の意欲を高めると共に、地域がん対策に活用し成果を社会に還元する。これらの活動により、患者中心のチーム医療を行う超少子高齢化地域で活躍できる先進的がん医療人を輩出し、将来の日本の超少子高齢化社会におけるがん医療人材育成モデルを確立する。

②大学・学部等の教育理念・使命（ミッション）・人材養成目的との関係

将来の日本の超少子高齢化社会におけるがん医療人材育成モデル確立を目指す本事業は、「高度職業人養成に資する学習事業や、付加価値が高い学習事業を開発・実施する」とする金沢大の行動計画（YAMAZAKIプラン2016:VISION VIII）と完全に合致する。また、本事業における連携校のそれぞれの強みを生かした相互補完的教育プログラム、多施設・多職種連携の演習による医療人材教育システム構築は、「大学院課程においては、高度な専門的知識・技能と学際性を兼ね備え、国際的視野を有する研究者及び専門職業人等、グローバル化する社会を積極的にリードする人材を育成する」とする金沢大第3期中期目標を実践するプロジェクトである。

③新規性・独創性

本事業（北信がんプロ）においては、北信6大学の強み（金沢大：先進的な集学的個別化ゲノム医療、信州大：がん診療に詳しい認定遺伝カウンセラー養成、小児・AYA世代がん診療、金沢医大：希少がん病理診断や集学的治療・就労支援、富山大：高齢者がん対策、福井大：先進的在宅緩和ケア、石川看護大：患者のライフステージに合わせた全人的ケア・認定看護師養成）を生かした相互補完的教育プログラムを19コース新設（本科10コース、インテンシブ9コース）し、大学の枠を超えて履修できる共通選択科目や単位互換の導入によって、北信地域における多様な新ニーズに対応できる知識を相互補完的に習得できる特色がある。

また、2期がんプロでの北陸5大学と共通のTV会議システムを信州大にも導入し、TV会議システムを活用した従来の北陸がんプロキャンサーボードをさらに充実・発展させた、北信地域での遠隔教育システムの構築・活用に取組む。遠隔教育システムにより6大学やがん診療連携拠点病院の専攻生や教員、医療スタッフ等の多職種が一堂に会する北信オンコロジーセミナー（病態や治療中心）やライフステージ事例検討会（患者ケア・支援中心）を定期開催する。これにより北信地域全体の多職種が、最先端のゲノム医療、小児・AYA世代・高齢者がんや希少がん症例の研究、診断、治療、緩和ケア、就労支援等を効率的に学習することができる。地域医療機関との人材交流、金沢大がん進展制御研究所や国立がん研究センター、シンガポール国立大、復旦大等との連携を利用した国際シンポジウムも実施する。さらに、各大学教員を海外連携機関へFD研修に派遣（平成33年度末までに各大学1回）し、スタッフの活性化とレベルアップを図る。海外FD研修の参加者は、上記TV会議システムを活用した北信地域でのFD講習会で成果発表（成果共有・還元）すると共に、多職種のスキルアップ指導を行う。これらの取組みによって、多施設・多職種連携を一層推進するチーム医療教育を行うところに本事業の独創性がある。

北信地域のがん症例・がん医療（先進的医療を含む）の実態を把握するため、北信地域のがん診療連携拠点病院（28施設）の院内がん登録データを活用するとともに、金沢大附属病院先端医療開発センター（データマネージメント部門）が作成する電子入力システム（Ptoshを応用）を用い、免疫チェックポイント阻害薬や分子標的薬使用症例、在宅緩和ケア実施症例、障がい者がん症例、妊孕性保存症例など特色ある症例を対象とした独自の北信地域がんデータベースを新たに構築する。それを基盤とした臨床研究（高額な薬剤の有効利用法の探索を含む）成果の国内・国際学会発表や英語論文発表を推進することで、専攻生や教育スタッフの意欲を高め、本事業の求心力を保ち、データベースの情報や論文等の成果を北信がんプロの教育コースへも還元する。研究成果を継続的に社会に発信・還元することで、将来のがん対策の一環として地域住民へ「がん教育（がんの理解）・予防・検診受診・早期発見・早期治療・早期社会復帰」に対する啓蒙を行う。

以上の県の枠を超えた戦略的がん医療人材育成システム構築活動により6大学から輩出される医師・歯科医師・薬剤師・看護師・遺伝子カウンセラー等は、現状の北信地域、ひいては将来の日本の超少子高齢化社会において、ゲノム医療や多職種による就労支援及び切れ目ない緩和ケアを実践し活躍できる先進的がん医療人材となることが期待されるが、このような育成モデル確立に挑戦する点に最大の新規性がある。

④社会との関係（がん患者及びその家族等の視点）

信州大を中心とした遺伝カウンセラー養成では、家族性腫瘍（乳がん、卵巣がん等を含む）の患者・家族のカウンセリングを行い、心のケアや検診・早期発見・早期治療を支援する。また、北信地域の患者会等と連携し、地域メディア（テレビ、新聞、雑誌等）や合同市民公開講座を通じて地域住民にがん教育を行い、がん予防、検診受診による早期発見・早期治療、早期社会復帰等の啓蒙活動を積極的に行う。これらの活動を通じて患者や家族の意見を収集し、北信がんプロ運営協議会でその対応を議論し、がん患者及び家族の視点に立った取組みを推進する。また、2期北陸がんプロでは小・中学校教諭向けがんe-learning教材を作成し、北陸3県の小・中学校に無償配布を行った。本事業ではゲノム医療、小児・AYA世代・希少がん等の内容を盛り込んだ教材の改訂を行い、北陸3県に加えて長野県や高校にも配布し、がん教育を支援する。全国的にも実態が把握されていない障がい者のがんや特にAYA世代のがん患者や家族において重大な問題となる妊孕性保存についても北信地域がんデータベースで実態を把握し、患者や家族のための対策立案に取り組む。

⑤キャリア教育・キャリア形成支援(男女共同参画, 働きやすい職場環境, 勤務継続・復帰支援等も含む。)

北信がんプロでは教員（各大学数名ずつ）を海外連携機関へFD研修に派遣し、後日TV会議システムを活用した北信地域でのFD講習会で成果発表させることにより、国際化と教育のキャリア形成を行う。また、多職種連携、役割分担によるチーム医療を通じて業務の効率化を試み、女性でも継続的勤務が可能な働きやすい職場環境の実現を目指す。2期北陸がんプロで看護師の復帰支援の取組を行い実績を上げたが、連携施設間で他施設の長所を取り入れ、医師、歯科医師、薬剤師、遺伝カウンセラー、ソーシャルワーカー、放射線技師、リハビリテーション技師、栄養士等を含む多職種についても復帰支援を積極的に行う。

⑥達成目標・評価指標

- ・教育プログラム・コースの立ち上げ時期：平成29年10月（一部平成30年4月より開始）
- ・教育プログラム・コースの実施数：本科コース 10、インテンシブコース 9、計19コース

これらの教育プログラム・コースにより、本事業全体として、355名の医師、薬剤師、看護師、遺伝カウンセラー等を輩出し、北信地域における超少子高齢化社会に対応した地域医療従事者の輩出および北信地域医療へ貢献する。
（職種別数値目標は右の表を参照）

その他の指標としては、多職種連携、FD講習、人材交流などの人材育成のためのセミナーやシンポジウムの回数、地域医療レベル向上のための地域医療機関での診療回数、セミナーの実施回数、地域のがん医療の実態を把握する北信地域がんデータベースで機能するデータベース項目数等を掲げる。
（それぞれの数値目標は右の下表を参照）

教育コース	対象	H30	H31	H32	H33	合計
金沢大 先進的個別化医療	医師等	5	5	5	5	20
個別化薬物療法	薬剤師	1	2	2	2	7
高度化医学物理士	物理士	2	2	2	2	8
信州大 ゲノムがん治療	医師	2	2	2	2	8
遺伝カウンセラー	多職種	1	1	1	1	4
富山大 高齢がん患者対策	医師	4	4	4	4	16
個別化医療薬剤師	薬剤師	1	1	1	1	4
福井大 地域がん専門医	医師	2	2	2	2	8
金沢医大 がん専門医リーダー	医師	2	2	2	2	8
石川看護大 ライフステージ	看護師	2	2	2	2	8
合計		22	23	23	23	91

教育コース	対象	H29	H30	H31	H32	H33	合計
金沢大 がんゲノム生涯教育	医師等	2	6	6	6	6	26
個別化薬物実践	薬剤師	0	1	2	2	2	7
富山大 高齢がん患者対策	医師	2	2	2	2	2	10
高齢対策薬剤師	薬剤師	1	2	2	2	2	9
在宅緩和リハ	看護師	0	1	2	2	2	7
福井大 在宅栄養管理	医師等	0	12	22	22	22	78
在宅緩和医療	医師等	0	24	24	24	24	96
金沢医大 がん集学的治療	医師	1	2	2	2	2	9
石川看護大 がんライフケア	多職種	2	5	5	5	5	22
合計		8	55	67	67	67	264

名称	参加校数	開催数	参加者数
多職種連携 北信オンコロジーセミナー	6	18	6,500
セミナー ライフステージ事例検討会	6	30	4,500
FD 海外FD研修	6	1回/校	30
FD講習会	6	3	90
人材交流 国際シンポジウム	6	2	400
市民公開講座	6	5	1,000
地域医療機関での診療	6	3,000	3,000
実態把握 北信地域がんデータベース	7種類以上の機能する疾患データ		

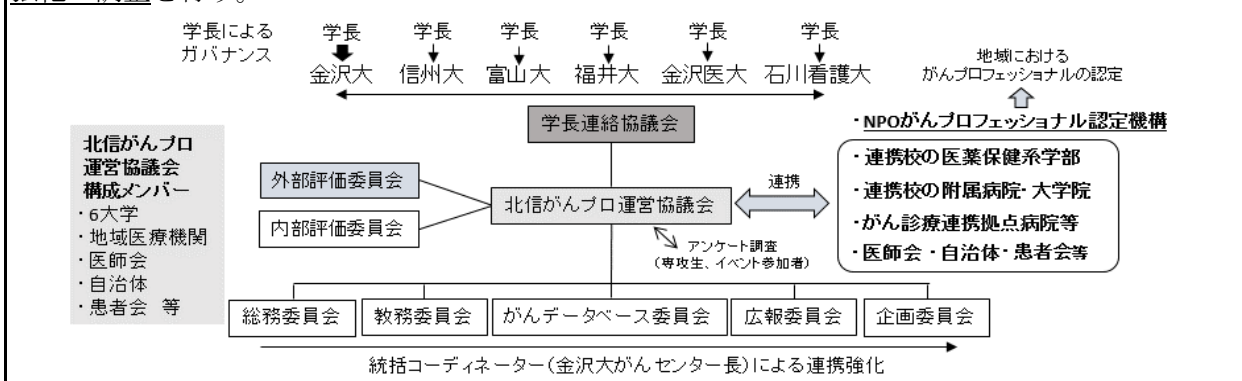
（2）教育プログラム・コース → 【様式2】

2. 事業の実現可能性

(1) 事業の運営体制

①事業の実施体制

各大学の学長が各施設においてガバナンスを発揮して事業を推進する。全学長が集まる**学長連絡協議会**を設置し、事業の進捗を管理する。6大学・地域医療機関・医師会・自治体・患者会等による**運営協議会**（年1回開催）を設置し、実際の意思決定及び運営を行う。さらに6大学による**総務委員会**（ステアリングコミッティー）、**教務委員会**、**がんデータベース委員会**（がんデータベースの個人情報管理状況、倫理審査状況も掌握）、**広報委員会**、**企画委員会**等を設置（年数回開催）し、実務を担当する。金沢大学がんセンター長が**統括コーディネーター**として6大学の**連携強化・調整**を行う。



②事業の評価体制

内部評価委員会（研究科長等の内部有識者）及び**外部評価委員会**（地域医療機関の長や患者会代表等の外部有識者）を立上げ、事業（特に数値目標の達成状況や一般向け情報発信状態）を定期的（中間、最終）に評価する。各評価委員会が評価結果を北信がんプロ運営協議会に提出し、同協議会で評価に対するPDCAサイクルを回して**事業計画**を見直し、運営状態の改善を常に図る。また、専攻生や市民公開講座等のイベント参加者への**アンケート調査**を行い、同様に事業内容改善を図る。

③事業の連携体制（連携大学、自治体、地域医療機関、民間企業等との役割分担や連携のメリット等）

連携6大学では学長連絡協議会・北信がんプロ運営協議会等の実施体制を整備し、各大学の強みを生かした**相互補完的教育プログラムのコース**を設置する他、北信オンコロジーセミナーやライフステージ事例検討会等を実施することで、多施設・多職種連携・チーム医療教育を行いスキルアップを図る。北信地域がんデータベースは金沢大附属病院先端医療開発センター（データマネジメント部門）による電子入力システム（Ptoshを応用）構築で、**円滑なデータ管理・運用**が可能となるメリットがある。

また、本事業の実施にあたり、金沢大がん進展制御研究所、国立がん研究センター、がん拠点病院・医師会、患者会、海外連携施設、他のがんプロチーム、文科省人材養成プログラム等と連携する。金沢大がん進展制御研究所により**がんゲノム等の基礎知識教育**を実施する。国立がん研究センター（金沢大が連携協定締結）が実施中の**がん遺伝子解析事業(SCRUM-JAPAN)**と連携し、分子標的薬等による個別化医療研究・医師主導治験に関する支援を受け北信がんプロ及び**北信地域の先進的医療の推進**を図る。シンガポール国立大や復旦大等の海外連携施設では教育・医療スタッフが**海外FD研修**（各大学が1回海外外向）を受け、医療のグローバル化を見据えて教育・医療スタッフの能力向上を図るとともに、FD講習会により北信地域の医療従事者や北信がんプロの教育コース専攻生に**教育成果を還元**する。北信4県のがん拠点病院（28施設）や医師会との連携では北信地域がんデータベース作成の支援を受ける一方で、人材交流による**地域がん医療レベルの向上**に貢献する。また、合同市民公開講座開催で**予防・検診受診による早期発見・早期治療・早期社会復帰の概念を市民に啓蒙・普及**させる。4県の患者会とは運営協議会や市民公開講座を通じて患者の意見を広く取り入れ、**患者目線の医療立案**に役立てる。他のがんプロチームとは合同シンポジウムを開催（H30年2月に名古屋大等と血液がんシンポ開催予定）し、連携を深め本事業の普及を図る。他の文科省人材養成プログラム「（未来医療人材養成プログラム、課題解決型高度医療人材養成プログラム（金沢大・北陸認プロ、信州大・次世代スーパードクターの育成）」とも合同シンポジウム等で交流し相互の事業内容の改善を図る。全国規模のe-learningシステムに参画し、**新規教材作成に協力**して本事業の情報発信を行う一方で、**必須科目教材の提供**を受ける。

(2) 取組の継続・事業成果の普及に関する構想等

①取組の継続に関する構想

将来の日本の超少子高齢化社会で活躍できるがん医療人材の戦略的育成のため、本事業で設置した教育コース、連携事業等は基本的に各大学の学長のガバナンスにおいて予算を確保して継続させる。特に、北信地域がんデータベース構築事業は、北信地域ひいては将来の日本の超少子高齢化社会における効率的ながん医療人材教育システム構築に向けた基盤形成事業と位置付け、改善・発展させながら継続する。そのために、自己資金の支出のみに依存せず、公的研究費獲得に向けた申請を継続的に行う。

②事業成果の普及に関する計画

本事業で構築するがん医療人材育成システムは、将来の日本の超少子高齢化社会においても機能するがん医療人材育成モデルであり、国内のがん関連学会（日本癌学会、日本癌治療学会、日本臨床腫瘍学会等）や市民公開講座、ホームページ、マスメディア（TV、新聞、雑誌等）等を通じて成果を発信し、国民に「がん教育・予防・検診受診促進・早期発見・早期治療・早期社会復帰」の意識付けができるよう啓蒙に努める。

3. 年度別の計画

(1) 年度別の計画

29年度	<ul style="list-style-type: none"> ① 6月 学長連絡協議会、北信がんプロ各種委員会（総務委員会、教務委員会、がんデータベース委員会、企画委員会、広報委員会）の開催、事業計画（中期、年度）等協議 ② 6月～各教育コース設置に伴う関係規定等の整備に着手 ③ 6月 ホームページの立ち上げ ④ 6月 全国規模e-learningシステムへの参加 ⑤ 7月 北信がんプロ運営協議会の開催（事業計画承認・決定） ⑥ 8月 北信地域がんデータベース構築に着手 ⑦ 9月 北信オンコロジーセミナー（TV会議方式）の開始（2回/年度） ⑧ 9月 FD講習会の開催（海外FD研修の説明） ⑨ 10月 ライフステージ事例検討会（TV会議方式）の開催（2回/年度） ⑩ 11月 教育コースの一部開始（インテンシブコースの一部） ⑪ 11月 6大学合同市民公開講座の開催 ⑫ 1-3月 海外FD研修（2大学が実施予定） ⑬ 3月 内部評価委員会の開催
30年度	<ul style="list-style-type: none"> ① 4月 学長連絡協議会、各種委員会の開催（事業計画等の協議） ② 5月 北信がんプロ運営協議会の開催（事業年次計画の承認・決定） ③ 5月 ライフステージ事例検討会（TV会議方式）の開始（7回/年度） ④ 6月 北信オンコロジーセミナー（TV会議方式）の開始（4回/年度） ⑤ 9月～海外FD研修（4大学が実施予定） ⑥ 11月 6大学合同市民公開講座の開催 ⑦ 1月 国際シンポジウムの開催 ⑧ 3月 外部評価委員会（中間）の開催 ⑨ 3月 FD講習会の開催
31年度	<ul style="list-style-type: none"> ①～④ 前年度事業と同じ ⑤ 11月 6大学合同市民公開講座の開催 ⑥ 3月 内部評価委員会の開催
32年度	<ul style="list-style-type: none"> ①～⑦ 前年度事業と同じ ⑧ 2月 国際シンポジウムの開催
33年度	<ul style="list-style-type: none"> ①～⑤ 前年度事業と同じ ⑥ 1月 内部評価（最終）の実施 ⑦ 2月 外部評価（最終）の実施 ⑧ 3月 事業成果報告会の開催
34年度 [補助期間 終了後]	<ul style="list-style-type: none"> ① 4月 学長連絡協議会、各種委員会の開催（事業計画等の協議） ② 4月～北信地域がんデータベース関連の会議の定期開催（改善・発展のための協議）

(2) 事業実施期間に係る補助事業予定額

(単位：千円)

年 度		29年度	30年度	31年度	32年度	33年度
事業予定額		131,900	131,900	131,900	95,800	54,000
内訳	補助金申請予定額	131,900	131,900	131,900	87,000	43,500
	自己負担予定額	0	0	0	8,800	10,500

(3) 平成29年度の補助金申請予定額の積算内訳

(単位：千円)

経費区分	金額	積算内訳
物 品 費	33,931	設備備品費 29,250千円
		TV会議システム・MCU一式 7,650千円 【⑥⑨関係】
		北信地域がんデータベースサーバ 10,000千円 【⑥関係】
		コンピューター・複合機1式(3台) 1,000千円 【③⑨関係】
		UV&RF-HPLC(液体クロマトグラフ)一式 7,000千円 【⑪関係】
		e-learning教材収録機器 3,600千円 【④関係】
		消耗品費 1,301千円
		プログラム支援・教材用消耗品 1,301千円 【⑩⑪関係】
		分担金配分予定(信州大) 100千円
		大学院コース、講座用消耗品 100千円 【⑦⑩関係】
		分担金配分予定(富山大) 1,700千円
		医療職者セミナー・講座用消耗品 1,700千円 【②⑪関係】
		分担金配分予定(福井大) 180千円
		講座・セミナー用消耗品 180千円 【②⑨関係】
		分担金配分予定(金沢医大) 1,000千円
		事業推進用、教材用消耗品 1,000千円 【②⑧関係】
		分担金配分予定(石川看護大) 400千円
事務用消耗品・図書購入費 400千円 【②⑨関係】		
人件費・謝金	36,373	人件費 10,000千円
		プログラム補助用事務補佐員 175千円×10月×2名=3,500千円 (6月～3月：930円/1h) 【①②⑤⑦⑨⑩⑪⑬関係】
		プログラム担当特任教員 650千円×10月×1名=6,500千円 (6月～3月) 【①②⑦⑧⑪関係】
		分配金配分予定(信州大) 11,013千円
		プログラム補助用事務補佐員 150千円×10月×1名=1,500千円 (6月～3月：960円/1h) 【①②⑤⑦⑨⑩⑪関係】
		プログラム担当特任助教 450千円×8月×2名=7,200千円 (8月～3月) 【①②⑦⑧⑪関係】
		コーディネーター 257千円×9月×1名=2,313千円 (6月～3月) 【①②⑦⑧⑪関係】
		分配金配分予定(富山大) 1,500千円
		プログラム補助用事務補佐員 150千円×10月×1名=1,500千円 (6月～3月：880円/1h) 【①②⑤⑦⑨⑩⑪関係】
		分配金配分予定(福井大) 7,800千円
		プログラム補助用事務補佐員 150千円×10月×1名=1,500千円 (6月～3月：960円/1h) 【①②⑤⑦⑨⑩⑪関係】
		プログラム担当特任教員 630千円×10月×1名=6,300千円 (6月～3月) 【①②⑦⑧⑪関係】
		分配金配分予定(金沢医大) 1,350千円
		プログラム補助用事務補佐員 150千円×9月×1名=1,350千円 (7月～3月：1,250円/1h) 【①②⑤⑦⑨⑩⑪関係】
		分配金配分予定(石川看護大) 1,600千円
		プログラム補助用事務補佐員 150千円×10月×1名=1,500千円 (6月～3月：880円/1h) 【①②⑤⑦⑨⑩⑪関係】
		謝金 3,110千円
FD講演会等講師謝金(25回) 1,200千円 【⑧⑪関係】		
市民公開講座講師謝金(計27回) 1,350千円 【⑩関係】		
ワークショップ等講師謝金(8回) 560千円 【⑦⑨関係】		

旅費	16,806	旅費 10,250千円 運営協議会等旅費(30人×1回)金沢 450千円【⑤⑩関係】 関連学会(2人×5回)国内外 2,300千円【②関係】 海外FD研修会(5人×3大学)1月 7,500千円【⑫関係】 分担金配分予定(信州大) 472千円 関連学術調査(3人×2回)神戸、東京 273千円【②関係】 会議等交通費(1人×5回)金沢 171千円【⑤関係】 講演会講師旅費 28千円【⑩関係】 分担金配分予定(富山大) 1,200千円 関連学術調査(2人×5回) 750千円【②関係】 シンポジウム等講師旅費(14回) 450千円【⑩関係】 分担金配分予定(福井大学) 60千円 シンポジウム講師旅費(2人×1回) 60千円【⑩関係】 分担金配分予定(金沢医大) 2,314千円 関連学術調査(1人×7回)国内外 1,200千円【②関係】 国際セミナー講師招聘旅費(2名×2回)中国 890千円【⑧関係】 事業推進交通費(1人×3回) 224千円【⑤関係】 分担金配分予定(石川看護大) 2,510千円 関連学術調査(1人×3回) 150千円【②関係】 セミナー・実習講師等旅費 1,160千円【⑧⑩関係】 海外研修旅費(2人×1回)オーストラリア 1,200千円【⑫関係】
その他	34,890	外注費 21,750千円 教材コンテンツ作成委託・保守 7,220千円【⑩関係】 ホームページ作成・保守(3大学分) 7,680千円【③関係】 がんデータベースサーバー保守費 5,000千円【③関係】 テレビ会議システム保守費 1,850千円【⑦⑨関係】 印刷製本費 3,620千円 受講生募集資料等 620千円【⑩関係】 活動報告書 300千円【⑩⑫関係】 シンポジウム等ポスター等(9回) 2,700千円【⑩関係】 会議費 3,500千円 シンポジウム会場借上(9回) 3,300千円【⑩関係】 会議飲料等(6大学) 200千円【①⑤関係】 通信運搬費 750千円 各種案内状等送料等(6大学分) 450千円【①⑤関係】 テレビ会議通信費 300千円【⑨関係】 その他(諸経費) 5,270千円 シンポジウム設営費等(2回) 1,800千円【⑩関係】 シンポジウム採録記事掲載(2回) 3,470千円【⑩関係】
間接経費	9,900	
合計	131,900	

4. 同一又は類似の事業(該当が無い場合は「なし」と記入)

他の補助金等の名称	なし
選定年度	
取組名称	
取組の概要(5行以内)	
今回の申請との関連性(5行以内)	

教育プログラム・コースの概要

大学名等	金沢大学大学院医薬保健学総合研究科医学専攻						
教育プログラム・コース名	先端的個別化医療コース						
対象者	医薬保健学総合研究科医学専攻大学院学生						
修業年限（期間）	4年						
養成すべき人材像	ゲノム解析等により分子標的薬や免疫チェックポイント阻害薬の最適化使用を目指す先端的研究を理解し、遺伝子解析に基づく最適の集学的個別化医療（手術、放射線、薬物治療等）を実践できる医師及び歯科医師を養成する。						
修了要件・履修方法	<p><修了要件>北信がんプロフェッショナル授業科目10単位を含む30単位以上を取得し、研究論文が学位審査に合格すること。</p> <p><履修方法>e-learning教材、TV会議によるセミナー、演習等で履修する。</p>						
履修科目等	<p><選択必修科目>分子生物学入門（1単位）、分子腫瘍学特論、ほか3科目</p> <p><選択科目>がんゲノム学特論（1単位）、小児・AYA世代・希少がん特論（1単位）、在宅緩和ケア特論（1単位）、老年医療学特論（1単位）、がんライフステージ演習（1単位）、腫瘍薬物学特論（1単位）、臨床腫瘍学演習（1単位）ほか10科目</p> <p>全国規模のe-learning科目〔がんゲノム科目（1単位）、小児・AYAがん科目（1単位）、希少がん科目（1単位）、ライフステージ科目（1単位）〕</p>						
教育内容の特色等（新規性・独創性等）	従来の個別化医療は主に遺伝子解析に基づく薬物療法であったが、本コースでは、今後のわが国で必要とされる遺伝子解析に基づいた最適の集学的治療（手術、放射線、薬物治療の逐次・同時併用を含む）を行うために必要な一連の過程（遺伝子解析検査説明と同意取得、検体採取と提出、遺伝子解析結果の解釈と患者への説明、治療法選択と治療の実施、効果判定と副作用対策、再発時の対応など）を全て北信がんプロ科目において学習し、実践できる能力を養う点に独創性がある。演習で、金沢大学附属病院において実施されている医師主導治験や先進医療等の実際を学ぶ（先端医療開発センターや国立がんセンターと連携）。選択演習として、ゲノム解析等により分子標的薬や免疫チェックポイント阻害薬の最適化使用を目指す先端的基础を実際に行う（がん進展制御研究所との連携）プランを設定するところにも特色がある。						
指導体制	本コースでは、金沢大学がん進展制御研究所や金沢大学の遺伝子解析、個別化医療研究のエキスパートやがんプロ卒業生が、実際に進行しているプロジェクトを通じたon-the-jobトレーニングを行う。また、e-learningやTV会議セミナー等も活用して幅広く能率的に指導する。指導方法の標準化について教務委員会で検討する。						
教育プログラム・コース修了者のキャリアパス構想	本コースで養成された人材は、がんゲノム医療における世界水準の知識・技能・研究力を有し、将来、医学教育機関等のスタッフやがん診療連携拠点病院等の地域基幹病院におけるがんゲノム診療のリーダーとして貢献するとともに、高額な薬剤の有効利用により医療費コストの軽減に貢献する。						
受入開始時期	平成30年4月						
受入目標人数	対象者	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度	計
	大学院学生		5	5	5	5	20
	計	0	5	5	5	5	20

教育プログラム・コースの概要

大学名等	金沢大学大学院医薬保健学総合研究科医学専攻						
教育プログラム・コース名	がんゲノム医療生涯教育コース（インテンシブ）						
対象者	地域でがん診療に携わる医師及び歯科医師						
修業年限（期間）	1年（延長可）						
養成すべき人材像	遺伝子解析に基づいた分子標的治療や免疫チェックポイント阻害薬による治療の概要を理解し、多職種と連携して実地医療における個別化医療を実践できる医師及び歯科医師を養成する。						
修了要件・履修方法	<p><修了要件>北信がんプロフェッショナル授業科目3単位以上の修得及びキャンサーボードへの出席又は多職種連携セミナーへの参加。</p> <p><履修方法>全国規模のe-learnin教材及び本事業の講義教材を利用して自己学習を行うのみならず、テレビ会議システムを利用したキャンサーボード又は多職種連携セミナーへの参加による学修を行う。</p>						
履修科目等	<p><選択科目>がんゲノム学特論（1単位）、小児・AYA世代・希少がん特論（1単位）、在宅緩和ケア特論（1単位）、老年医療学特論（1単位）、北信オンコロジーセミナー（1単位）、がんライフステージ演習（1単位）</p>						
教育内容の特色等（新規性・独創性等）	従来のがん治療の均てん化を目的とした講義内容にとどまらず、本事業においては、今後のわが国で必要とされるであろう遺伝子解析に基づいた最適の集学的治療（手術、放射線、薬物治療の逐次・同時併用を含む）を行うために必要な一連の過程（遺伝子解析検査説明と同意取得、検体採取と提出、遺伝子解析結果の解釈と患者への説明、治療法選択と治療の実施、効果判定と副作用対策、再発時の対応など）を全て教育し、将来の日本のがんゲノム医療に対応できる能力を養成する点に特色がある。						
指導体制	大学及び連携機関に所属するがんゲノム医療のエキスパートであるスタッフが、遺伝子解析に基づいた最適の集学的治療を行うために必要な一連の過程をe-learning又はシンポジウムで講義する。						
教育プログラム・コース修了者のキャリアパス構想	本コースで養成された医師及び歯科医師は、多職種と連携できるがんゲノム診療のリーダーとして、がん診療連携拠点病院等の地域基幹病院におけるがんゲノム医療に貢献する。						
受入開始時期	平成29年10月						
受入目標人数	対象者	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度	計
	地域医療機関の医師及び歯科医師	2	6	6	6	6	26
	計	2	6	6	6	6	26

教育プログラム・コースの概要

大学名等	金沢大学大学院医薬保健学総合研究科薬学専攻						
教育プログラム・コース名	がん個別化薬物療法薬剤師リーダーコース						
対象者	医薬保健学総合研究科薬学専攻大学院学生						
修業年限（期間）	4年						
養成すべき人材像	がん・緩和薬物療法の安全性・有効性を向上させ、がん患者の多様性に応じた個別化薬物療法の処方支援、有害事象回避ができる人材。 がん・緩和薬物療法に関する最新知識を有するとともに、がん患者の心理を良く理解し、チーム医療の中で他の医療従事者を支援できる人材。 以上の様な業務を先駆けて実践し、広めていくことができるリーダー。						
修了要件・履修方法	<p><修了要件>北信がんプロフェッショナル授業科目6単位〔必修科目2単位、選択必修科目(実習、演習)1単位を含む〕を修得すること。</p> <p><履修方法>e-learning教材、TV会議によるセミナー、演習等で履修する。実習演習科目は、金沢大学医薬保健研究域薬学系又は附属病院を中心に富山大学を含めた他大学及び医療施設と共同で実施する。</p>						
履修科目等	<p><必修科目>分子腫瘍学特論、臨床統計学特論（各1単位）</p> <p><選択必修科目>先進的がん薬物療法個別化実習（0.5単位）、有害事象解析演習（0.5単位）、がんライフステージ演習（0.5単位）</p> <p><選択科目>>腫瘍薬物学特論（1単位）、がん緩和医療学特論（1単位）、がんゲノム学特論（1単位）、小児・AYA世代・希少がん特論（1単位）、在宅緩和ケア特論（1単位）、老年医療学特論（1単位）ほか3科目</p> <p>全国規模のe-learning科目〔がんゲノム科目（1単位）、小児・AYAがん科目（1単位）、希少がん科目（1単位）、ライフステージ科目（1単位）〕</p>						
教育内容の特色等（新規性・独創性等）	全国的にも非常に少ない6年制学士課程の本コース入学者が、将来の薬剤師の教育者、研究者・指導者となること目標とし、がん個別化薬物療法に特化した専門能力を向上させるための4年制博士課程教育の充実をはかる点に独創性がある。患者の多様性に応じた個別化薬物療法の実践に必要な薬剤師のスキル（薬物療法の最適化・個別化、有害事象回避、抗がん剤・医療用麻薬の混合調製など）を地域・職種の間を越えて教育し、多職種連携のリーダーとなる薬剤師を養成するところに新規性がある。						
指導体制	がん・緩和薬物療法に関連する専門資格を有する金沢大学の薬学系教員・薬剤師が、臨床現場等でon-the-jobトレーニングにより指導する。						
教育プログラム・コース修了者のキャリアパス構想	本コース修了者は、本プログラムを基盤として、日本医療薬学会が認定するがん専門・指導薬剤師や日本緩和医療薬学会が認定する緩和薬物療法認定薬剤師の資格取得が可能となる。更に、がん薬物療法の個別化及び安全性向上を実践し、ん薬物療法及び地域包括ケアを推進する多職種連携のリーダーとなる薬剤師のキャリア形成につながる。						
受入開始時期	平成30年4月						
受入目標人数	対象者	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度	計
	大学院学生		1	2	2	2	7
	計	0	1	2	2	2	7

教育プログラム・コースの概要

大学名等	金沢大学大学院医薬保健学総合研究科薬学専攻
教育プログラム・コース名	がん個別化薬物療法実践薬剤師コース（インテンシブ）
対象者	薬剤師免許を有し、がん専門薬剤師又は緩和薬物療法認定薬剤師の資格を取得しようとする者。
修業年限（期間）	3月から1年（延長可）
養成すべき人材像	がん・緩和薬物療法の安全性・有効性を向上させ、がん患者の多様性に応じた個別化薬物療法の処方支援、有害事象回避ができる人材。 がん・緩和薬物療法に関する最新知識を有するとともに、がん患者の心理を良く理解し、チーム医療の中で他の医療従事者を支援できる人材。 がん・緩和領域における地域包括ケアを推進する人材。 次世代のリーダーになることを目指す人材。
修了要件・履修方法	北信がんプロフェッショナル授業科目3単位以上の修得及びがんボードへの出席又は多職種連携セミナー（がんライフステージ事例検討会等）への参加。 全国e-learningクラウド等のe-learning教材及び本事業が開催するがんゲノムシンポジウムにおける講義教材を利用して自己学習を行うのみならず、テレビ会議システムを利用したがんボード、がんライフステージ事例検討会等の多職種連携セミナー等への参加による学習を行う。実習演習については富山大学との共同開催として、他大学での開講科目も履修可能とする。
履修科目等	<選択科目>がんゲノム学特論（1単位）、小児・AYA世代・希少がん特論（1単位）、在宅緩和ケア特論（1単位）、老年医療学特論（1単位）、北信オンコロジーセミナー（1単位）、先進的がん薬物療法個別化実習（0.5単位）、有害事象解析演習（0.5単位）、がんライフステージ演習（0.5単位）等
教育内容の特色等（新規性・独創性等）	本プログラムの特色は、がん患者に対する地域包括ケアにおいて、薬剤師が患者の多様性に応じた個別化薬物療法の実践に要求されるスキル（薬物療法の最適化・個別化、有害事象回避、抗がん剤・医療用麻薬の混合調製など）を地域・施設間の壁を越えて、受講者の能力・ニーズに応じた教育を受けられることにある。そのために、先進的がん薬物療法個別化実習では、受講者がそれぞれの能力・ニーズに合致する実習ユニット（個別化薬物療法、在宅緩和医療、病院がん薬物療法、先進的注射薬管理、フィジカルアセスメントなど）が選択できる。また、有害事象解析演習については、TV会議システムを用いて、北信がんプロ参加大学間で協働して実施する。このユニットは、教育プログラムを発展させ、大学間多職種参加型研究プロジェクトとして、がん薬物療法の有害事象対策を多職種連携により確立することを目指すことによって、エビデンスを発信するスキルも学べる点に新規性・独創性がある
指導体制	本コースでは、がん・緩和薬物療法に関連する専門資格を有する薬学系教員・薬剤師が、臨床現場において、on-the-jobトレーニングにより指導する。また、e-learningを活用した受講者の能動的学習を促し、実習により知識を定着化させる。
教育プログラム・コース修了者のキャリアパス構想	本コース修了者には、本プログラムを基盤として、日本医療薬学会が認定するがん専門・指導薬剤師や日本緩和医療薬学会が認定する緩和薬物療法認定薬剤師の資格を取得する。さらには、地域において、がん・緩和薬物療法の個別化および安全性を向上させ、地域包括ケアの牽引者となる。そして、それらの経験を生かし、薬剤師や薬学生に対する講義、実習を行うことで、次世代の医療者の育成者となる

受入開始時期	平成30年4月						
受入目標人数	対象者	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度	計
	大学院学生		1	2	2	2	7
	計	0	1	2	2	2	7

教育プログラム・コースの概要

大学名等	金沢大大学院医薬保健学総合研究科保健学専攻						
教育プログラム・コース名	個別化高度化を担う医療技術・医学物理人材育成コース						
対象者	医薬保健総合研究科（博士後期課程）保健学専攻大学院学生						
修業年限（期間）	3年						
養成すべき人材像	がん治療において基礎的及び臨床的がん診療を理解し、より高度化した放射線治療において放射線技術および医学物理学による個別化医療を目指す臨床研究を實踐できる診療放射線技師・医学物理士を養成する。						
修了要件・履修方法	<p><修了要件>北信がんプロフェッショナル授業科目12単位以上を修得し、個別化医療の基礎・臨床研究を行い、研究論文が学位審査に合格すること。</p> <p><履修方法>e-learning教材、TV会議によるセミナー、演習等で履修する。</p>						
履修科目等	<p><選択必須科目>腫瘍薬物学特論（1単位）、腫瘍放射線医学特論（1単位）、がん緩和医療学特論（1単位）、コンサルテーション論（2単位）、分子生物学入門（1単位）、医療統計学特論（2単位）、放射線治療物理臨床技術学特講（2単位）、臨地専門マネジメント演習（2単位）</p> <p><選択科目>がんゲノム学特論（1単位）、小児・AYA世代・希少がん特論（1単位）、在宅緩和ケア特論（1単位）、老年医療学特論（1単位）、北信オンコロジーセミナー（1単位）、がんライフステージ演習（1単位）</p> <p>全国規模のe-learning科目〔がんゲノム科目（1単位）、小児・AYAがん科目（1単位）、希少がん科目（1単位）、ライフステージ科目（1単位）〕</p>						
教育内容の特色等（新規性・独創性等）	2期までのがんプロで放射線治療技術の底上げを目指した教育により、放射線治療技術の均てん化は進んできた。その為、2期がんプロのがん専門放射線技術・医療物理コースを改修し、放射線治療技術の更なる高度化や個別化医療に資する人材を育成することを目指す。本コースはその点に新規性がある。また、より高精度な放射線治療技術及び個別化放射線治療の包括的な知識を習得させ、自身で個別化要因を洗い出し、研究を計画・実施・評価できる能力を養う点に独創性がある。金沢大学附属病院におけるon-the-jobトレーニング演習と北陸オンコロジーセミナー等への参加により、より実践的な技術及びがん治療の全体像を学習する点に特色がある。						
指導体制	本コースでは、金沢大学医薬保健総合研究科保健学専攻と金沢大学附属病院の教員やがんプロ卒業生により直接on-the-jobトレーニングを行う。e-learningやTV会議等も活用して幅広く能率的に指導する。指導方法の標準化について、連携協議会で検討する。						
教育プログラム・コース修了者のキャリアパス構想	本コースで養成された人材は、世界水準の研究力を有し、将来、医学教育機関等のスタッフやがん診療連携拠点病院等の地域基幹病院における研究及び放射線治療の品質管理のリーダーとして貢献する。得られた知識や研究からの副作用の少ない放射線治療を医師と共同で実践し医療費コストの軽減に貢献する。						
受入開始時期	平成30年4月						
受入目標人数	対象者	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度	計
	大学院学生		2	2	2	2	8
	計	0	2	2	2	2	8

教育プログラム・コースの概要

大学名等	信州大学大学院医学系研究科医学系専攻						
教育プログラム・コース名	ゲノム医療に精通したがん治療医育成コース						
対象者	医学系研究科医学系専攻大学院学生						
修業年限（期間）	4年						
養成すべき人材像	1) 遺伝性・家族性のがんを含めた幅広いがん治療に精通する医師、2) 個別化医療やゲノム医療の実際を経験し、その重要性を理解し、その推進に関わることができる医師 3) 個別化医療やゲノム医療へのリサーチマインドを有する医師						
修了要件・履修方法	＜修了要件＞必修科目6単位、選択必修科目6単位、コース選択科目は研究特論を含む18単位、計30単位を修得し、研究論文が学位審査に合格すること。 ＜履修方法＞e-learning教材、TV会議によるセミナー、演習等で履修する。						
履修科目等	＜必修科目＞医科学研究遂行特論ほか2科目（各2単位） ＜選択必修科目＞人類遺伝学研究方法特論（2単位）ほか6科目（各2単位） ＜コース選択科目＞臨床腫瘍学研究特論（8単位）、臨床腫瘍学（4単位）、放射線治療学（4単位）、緩和医療学（4単位）、小児血液・腫瘍学（3単位）、遺伝学的病態学論（2単位）、小児科学研究特論（8単位）、産婦人科研究特論（8単位）、外科学研究特論（8単位）ほか10科目、新設する北信がんプロ科目（5科目：各1単位） 全国規模のe-learning科目〔がんゲノム科目（1単位）、小児・AYAがん科目（1単位）、希少がん科目（1単位）、ライフステージ科目（1単位）〕						
教育内容の特色等（新規性・独創性等）	当研究科では 1) 先のがんプロ事業で新規講座を開設し、その担当診療科で、AYA世代から高齢者に渡り、多がん種のがん診療を行う体制を整備した。2) 小児の血液がんおよび悪性腫瘍の診療・研究・指導体制が充実している。3) 附属病院遺伝診療研究センターで、遺伝性・家族性腫瘍患者のデータベースおよび診療が整備されている。4) 附属病院ではゲノム医療推進の試みとしてクリニカルシーケンス開設の準備中である。5) このコースでは、幅広いがん診療・治療を経験させながら、個々のがんゲノム医療の重要性とリサーチマインドを持つ医療人を育成する。						
指導体制	当研究科は従来より大学院生に対して主および副担任制度を設けている。本コースに配属する大学院生に関しては必ずコーディネイターおよび事業推進委員のどちらかの担任となり指導体制をとる。事業推進委員の各教室が連携して幅広い領域の臨床研鑽を可能とし、研究指導を行う。なお、本学医学系研究科（博士課程）は、平成30年度に総合工学系研究科とともに「総合理医工学研究科」を設置すべく準備中であり、新たな研究科の中で人材養成を行う。						
教育プログラム・コース修了者のキャリアパス構想	当施設は先のがんプロにおいて大学院修了者を県内の地域がん拠点病院に輩出（2名）及び学内で指導者（2名）として雇用している実績がある。また当附属病院は都道府県がん拠点病院としての責務もあり、院外からも多くの若手ががん治療医の短期研修（総勢3名）の受け入れをし、がん薬物療法専門医等の受験資格までの指導を行ってきた。この事業でも修了者は、県内7か所の地域がん診療連携拠点病院との人材ネットワークの中核として県内全体のがん研究・診療の向上に寄与させる。						
受入開始時期	平成30年4月						
受入目標人数	対象者	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度	計
	医師		2	2	2	2	8
	計	0	2	2	2	2	8

教育プログラム・コースの概要

大学名等	信州大学大学院医学系研究科医科学専攻
教育プログラム・コース名	がん診療に詳しい認定遺伝カウンセラー養成コース
対象者	医学系研究科（修士課程）医科学専攻大学院生
修業年限（期間）	2年
養成すべき人材像	認定遺伝カウンセラー資格を取得できる能力を身につけた医療人。 家族性・遺伝性がん診療における遺伝カウンセリングの重要性を理解でき、臨床の現場で実践できる医療人。 がん診療におけるクリニカルシーケンスの意義を理解し、臨床の現場で実践できる医療人。 遺伝性がんに関するリサーチマインドを有する医療人。
修了要件・履修方法	<修了要件> 遺伝カウンセリングコースの科目（修士課程必修科目26単位、修士課程選択必修科目4単位、計30単位及びコース必修科目23単位）に選択科目として臨床腫瘍学、がんサロン実習等を加え、がん診療に詳しい認定遺伝カウンセラーとなるに相応しい能力があることを試験により確認する。 <履修方法> e-learning教材、TV会議によるセミナー、演習等で履修する。
履修科目等	<必修科目> 医科学研究概論（1単位）、生命倫理・医学概論（3単位）、健康科学概論（1単位）、人間機能・形態学概論（1単位）、ほか8科目 <選択必修科目> 医科学研究方法論演習Ⅰ～Ⅵ（各2単位） <コース必修科目> 基礎人類遺伝学（4単位）、遺伝医学（1単位）、染色体検査実習（1単位）、遺伝カウンセリングロールプレイ（2単位）、ほか6科目 <コース選択科目> ライフサイエンス知的財産概論（2単位）、医学科臨床腫瘍学（2単位）、臨床腫瘍学研究特論（2単位）、がんサロン実習（6単位）、ほか4科目 全国規模のe-learning科目〔がんゲノム科目（1単位）、小児・AYAがん科目（1単位）、希少がん科目（1単位）、ライフステージ科目（1単位）〕
教育内容の特色等（新規性・独創性等）	信州大学では平成15年本邦で初めて遺伝カウンセリングコースを設定し、毎年1～3名の学生を受け入れ、今までに15名の認定遺伝カウンセラーを全国（長野県以外では、長崎県、岡山県、福岡県、福島県2名、兵庫県、奈良県、新潟県、大分県）に輩出してきた。このコースでは、従来存在するコースの履修内容に追加して、がんに関する講義と実習の場を選択的に設定することで、がん診療に詳しい認定遺伝カウンセラーを養成する。北陸5大学との連携により、広報に努め、北陸地方からの応募者を積極的に受け入れる。
指導体制	従来の修士課程遺伝カウンセリングコースでは、遺伝医学・予防医学教室及び附属病院遺伝子医療研究センターの教員が、担任として、ほぼマンツーマンの体制で指導し、認定遺伝カウンセラーを養成してきたが、今回開設する「がん診療に詳しい認定遺伝カウンセラーコース」では、遺伝医学・予防医学教室、附属病院遺伝子医療研究センターに加えて包括的がん治療学教室及び小児医学教室の教員が副担任となり、学生の指導にあたる。
教育プログラム・コース修了者のキャリアパス構想	本コース修了者は、臨床の現場特に当院で始めるクリニカルシーケンスの現場に携わる医療人を目指す。また、関連施設で、遺伝子性のがん診療の現場で遺伝カウンセリングに対応し、遺伝性腫瘍の疫学、臨床研究に参加・関与・推進する。
受入開始時期	平成30年4月

受入目標人数	対象者	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度	計
	カウンセラー	0	1	1	1	1	4
	計	0	1	1	1	1	4

教育プログラム・コースの概要

大学名等	富山大学大学院医学薬学教育部生命・臨床医学専攻						
教育プログラム・コース名	高齢がん患者対策専門コース						
対象者	医学研究科大学院学生、医学科研究医養成コース履修者（学部学生）						
修業年限（期間）	4年（学部2年）						
養成すべき人材像	がん患者の多数を占める高齢がん者の診療を行う上で必要となる老年医学を学び、脆弱な高齢者にあった診療を実現する専門医を養成する。本人の健康状態だけではなく、介護状況などの社会背景、家族への配慮も必要となるため、幅広い全人的医療を行う専門医を養成する。						
修了要件・履修方法	<p><修了要件>必修科目26単位以上、選択科目8単位以上を履修し、高齢者がんに関する基礎又は臨床研究を行い、研究論文が学位審査に合格すること。</p> <p><履修方法>e-learning教材、TV会議によるセミナー、演習等で履修する。</p>						
履修科目等	<p><必修科目>腫瘍薬物学等（12単位）、特別研究（14単位）</p> <p><選択科目>分子腫瘍学、がん基本生物学等（9単位）、がんゲノム学特論（1単位）、小児・AYA世代・希少がん特論（1単位）、在宅緩和ケア特論（1単位）、老年医療学特論（1単位）、がんライフステージ演習（1単位）、全国規模のe-learning科目〔がんゲノム科目（1単位）、小児・AYAがん科目（1単位）、希少がん科目（1単位）、ライフステージ科目（1単位）〕</p> <p>注：他大学の授業科目履修は10単位まで認められる</p>						
教育内容の特色等（新規性・独創性等）	超高齢社会の我が国においてがん患者の年齢も高齢化している。がんは高齢者に多い疾患であるが、臨床試験が難しく、エビデンスが蓄積されにくい。こうした高齢がん者に焦点を絞った研究、人材育成は今まで意外なほど調査研究が進んでいない。高齢がん者のライフステージに合わせた教育、人材育成に独創性がある。						
指導体制	富山県を含む北信地域は国内でも高齢化率が高い地域で、本プログラムを行う地盤は充実している。富山大学では大学病院でありながら地方の特性を生かし、地域密着型の診療を行っている。在宅療養を目指した地域連携を強化しており、高齢がん患者の看取りまでを踏まえた指導を実現する。富山大学では学部生に対し、研究医養成コースを設けており、このコース学生を本プログラムの対象とすることにより、専門医教育の底辺拡張を目指す。						
教育プログラム・コース修了者のキャリアパス構想	e-learningを含む座学による知識習得のほかに、実際の症例を検討する北信オンコロジーセミナーや高齢がん患者の診療を通して専門医としてのスキルを習得する。さらに、北信地域の高齢がんの実態を調査するデータベース研究を展開し、リサーチの実践にも取り組む。コース修了者は地域において最も重要な高齢がん患者診療のプロとして機能するほか、研究を発展させて他地域、次世代への貢献も期待される。						
受入開始時期	平成30年4月						
受入目標人数	対象者	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度	計
	大学院学生		2	2	2	2	8
	学部学生		2	2	2	2	8
	計	0	4	4	4	4	16

教育プログラム・コースの概要

大学名等	富山大学大学院医学薬学教育部						
教育プログラム・コース名	高齢がん患者対策専門コース(インテンシブ)						
対象者	各種医療機関で実際にごん診療に携わる医師						
修業年限(期間)	1年(延長可)						
養成すべき人材像	がん患者の多数を占める高齢担癌者の診療を行う上で必要となる老年医学を学び、脆弱な高齢者にあつた診療を実現する専門医。本人の健康状態だけではなく、介護状況などの社会背景、家族への配慮も必要となるため、幅広い全人的医療を行う専門医。スピリチュアルペインに対応し、患者の人生観、死生観にも向き合える医師。						
修了要件・履修方法	<p><修了要件>北信がんプロフェッショナル授業科目3単位以上の修得及びキャンサーボードへの出席又は多職種連携セミナーへの参加。</p> <p><履修方法>全国規模のe-learning教材及び本事業が開催するがんゲノムシンポジウムにおける講義教材を利用して自己学習を行うのみならず、テレビ会議システムを利用したキャンサーボード又は多職種連携セミナーへの参加による学修を行う。</p>						
履修科目等	<p><選択科目>がんゲノム学特論(1単位)、小児・AYA世代・希少がん特論(1単位)、在宅緩和ケア特論(1単位)、老年医療学特論(1単位)、がんライフステージ演習(1単位)</p>						
教育内容の特色等(新規性・独創性等)	超高齢社会の我が国においてがん患者の年齢も高齢化している。がんは高齢者に多い疾患であるが、臨床試験が難しく、エビデンスが蓄積されにくい。こうした高齢担癌者に焦点を絞つた研究、人材育成は今まで意外なほど調査研究が進んでいない。高齢担癌者のライフステージに合わせた教育、人材育成に独創性がある。						
指導体制	富山大及び連携機関に所属する高齢者の代表的がんである肺癌の医療を専門とするエキスパートであるスタッフが、老年がん患者診療を行うために必要な一連の過程をe-learning又はシンポジウムで講義する(e-learningやシンポジウム参加、TV会議システムで受講)。						
教育プログラム・コース修了者のキャリアパス構想	本コースで養成された医師は、多職種と連携できる高齢者がん診療のリーダーとして、がん診療連携拠点病院等の地域基幹病院における地域医療に貢献する。						
受入開始時期	平成29年6月						
受入目標人数	対象者	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度	計
	地域医療機関の医師	2	2	2	2	2	10
	計	2	2	2	2	2	10

教育プログラム・コースの概要

大学名等	富山大学大学院医学薬学教育部薬学専攻
教育プログラム・コース名	高齢化した地域医療を個別化医療で支えることができる高度薬剤師養成コース
対象者	医学薬学教育部薬学専攻大学院学生
修業年限（期間）	4年
養成すべき人材像	がん化学療法のほぼ全てがレジメンに基づき行われ、多くが外来通院で実施されるようになってきている。レジメンの作成や管理、外来化学療法室での医薬品管理や患者への化学療法の説明に加え、緩和医療チームへの参画など薬剤師のがん治療に対する貢献度が特段に増してきている。これらのことについては、日本病院薬剤師会等によって、数多くの講習や実習を含む事業がなされており、基礎的な事柄は6年制薬学部での教育内容に含まれてきている。そこで、我々は、現在の薬剤師を越える高度薬剤師の輩出を目指す。病院における、がん治療や緩和医療の個別化医療に加え、地域包括ケア制度に策定に伴う在宅での抗がん剤や緩和医療への貢献ができる人材の養成をしたい。特に富山県は、三世同居率が高く、制度の整備とともに、病院薬剤師とかかりつけ薬剤師が連携を持って、治療にあたる体制が構築されつつあることから、大学院生レベルで、医療現場で演習を行うことは意義の高いことである。加えて、国立大学薬学部として、10年後の医療を担う人材の育成も想定し、次世代のゲノム医療にも深い理解を持つ人材を養成したい。
修了要件・履修方法	<p><修了要件>北信がんプロフェッショナル授業科目6単位（必修科目4単位を含む）を修得し、研究論文が学位論文審査に合格すること。</p> <p><履修用法>授業はe-learning及び対面で行う。在宅医療に関係する実習については地域病院と共同して実施する。演習・実習科目は金沢大学薬学系が開講する科目の履修を認め、単位互換を可能とする。</p>
履修科目等	<p><必修科目>分子腫瘍学特論、臨床統計学特論、臨床栄養学特論（各1単位）、がん治療におけるゲノム医療演習、地域包括医療でのがん治療演習、ライフステージ事例検討演習（各0.5単位）</p> <p><選択科目>腫瘍薬物学特論、がん緩和医療学特論、がんゲノム学特論、在宅緩和ケア特論、老年医療学特論、ほか4科目（各1単位）</p> <p>全国規模のe-learning科目〔がんゲノム科目（1単位）、小児・AYAがん科目（1単位）、希少がん科目（1単位）、ライフステージ科目（1単位）〕</p>
教育内容の特色等（新規性・独創性等）	国立大学での6年制薬学教育を受け、薬剤師免許を有する博士課程薬学専攻の学生を対象とすることから、15年後の日本のがん治療を薬学的観点から担える人材の育成を意識している。現在の病院・薬局薬剤師が、すでに行っていることだけでなく、大学でしか実施できない高度な内容を含む。本プログラムから開始されるがん治療におけるゲノム医療の講義については、講義に加え、実習や遺伝子多型の検出、それらへの抗がん薬との治療効果などについて、深く学ぶシステムをとる。在宅でのがん治療に参画できるだけの薬剤師としての養成だけでなく、地域で他の職種との連携の要となれるよう本学独自の在宅研修ラボを使用して演習をし、加えて、医療現場での実習も行う予定である。演習、実習科目は、金沢大学附属病院での実施分も富山大学の大学院生も履修可能として単位認定できるようにし、富山大学での実施分も両大学の大学院生が履修できるようにし、大学間連携を持ち、地域で薬剤師としての医療を支えることを体験する。

指導体制	富山大学大学院医学薬学教育部薬学専攻の統括は、医学薬学研究部・薬物治療学研究室 新田淳美教授が担当する。さらに、地域医療における薬剤師職に関する実習のために、同医療薬学研究室 藤 秀人教授が実習の計画に参画する。また、がん治療へのゲノム医療に関する講義や演習については、同がん細胞生物学 櫻井宏明教授が担当する。						
教育プログラム・コース修了者のキャリアパス構想	全国の医学部附属病院へ薬剤師として勤務し、日本医療薬学会認定のがん薬物療法認定薬剤師を目指し、将来的には、がん専門認定薬剤師やがん専門指導薬剤師の取得をする。6年生薬学部卒業後、4年制の薬学専攻の大学院への入学生は全国でも100名前後であり、特に国公立大学卒業生には、将来の大学病院薬剤部長としての期待がなされている。または、厚生労働省等の中央官庁に勤務し、がん治療を含む行政職につき、日本の薬学関連の医療をリードする。						
受入開始時期	平成30年4月						
受入目標人数	対象者	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度	計
	大学院学生	/	1	1	1	1	4
	計	0	1	1	1	1	4

教育プログラム・コースの概要

大学名等	富山大学医学薬学教育部薬学専攻
教育プログラム・コース名	高齢化した地域医療を個別化医療で支えることができる専門的薬剤師養成コース（インテンシブ）
対象者	北陸3県及び長野県の病院及び薬局薬剤師、特に、がん専門薬剤師の資格を取得しようとする者。日本医療薬学会認定のがん薬物療法認定薬剤師。
修業年限（期間）	3カ月から1年（延長可）
養成すべき人材像	がん治療や緩和医療に加えて、地域包括ケア制度の策定と、高齢化に伴い、在宅での抗がん剤の使用や緩和医療への関与も求められるようになった。特に北陸や長野県は、三世帯同居率が高く、制度の整備とともに、病院薬剤師とかかりつけ薬剤師が連携を持って、治療にあたる体制が構築されつつある。一方で、在宅医療に薬剤師が参画して、間もないことから、理論や技術の習得が困難なのが現状であり、経験則で医療が行われていることも否めない。そこで、薬学系大学院が地域を牽引して、要請度の高い在宅医療でのがん治療に対する薬剤師の役割、最近の抗体医薬品やゲノム医療の講義や演習を実施し、がん治療に関して、最先端医療から地域での在宅医療を担える先導的な人材の育成をする。少子高齢化が日本で最も進んでいる地域であることから、地域全体でも、がん医療を薬学的にリードする人材を育成し、チーム医療を介して、がん患者を全人的に支えることができる薬剤師を輩出する。
修了要件・履修方法	<p><修了要件>北信がんプロフェッショナル授業科目6単位（必修科目4単位を含む）の修得。</p> <p><履修方法>授業はe-learning及び対面で行う。本プログラムから開始する高齢者における薬物治療やゲノム医療については、本学の専門家が講義をすることから、1年目は、講義を実施するが、TV会議システムを活用し、金沢大学や他の地域へも公開する。在宅医療に関係する実習については地域病院と共同して実施する。演習・実習科目は金沢大学薬学系が開講する科目の履修を認め、単位互換を可能とする。</p>
履修科目等	<p><必修科目>分子腫瘍学特論（1単位）、臨床統計学特論（1単位）、臨床栄養学特論（1単位）、ほか3科目</p> <p><選択科目>腫瘍薬物学特論（1単位）、がん緩和医療学特論（1単位）、臨床疫学（2単位）、最先端医療（2単位）、AYA世代診療（2単位）、腫瘍学（2単位）、がんゲノム学特論（1単位）、在宅緩和ケア特論（1単位）、老年医療学特論（1単位）、がんライフステージ演習（1単位）、ほか3科目</p>
教育内容の特色等（新規性・独創性等）	講義科目は、e-learningにより受講。本プログラムから開始されるがん治療におけるゲノム医療の講義については、平成29、30年度は講義を実施し、平成31年度以降はe-learningに移行する。演習、実習科目は、金沢大学と共同で開催する。金沢大学附属病院での実施分も単位認定を行い、地域連携をする。
指導体制	富山大学大学院医学薬学教育部薬学専攻の統括は、医学薬学研究部・薬物治療学研究室 新田淳美教授が担当する。さらに、地域医療における薬剤師職に関係する実習のために、同医療薬学研究部 藤秀人教授が実習の計画に参画する。また、がん治療へのゲノム医療に関係する講義については、同がん細胞生物学 櫻井宏明教授が担当する。

<p>教育プログラム・ コース修了者の キャリアパス構想</p>	<p>日本医療薬学会が認定するがん専門・指導薬剤師や日本緩和医療薬学会が認定する緩和薬物療法認定薬剤師の資格を取得する。受講者の所属している医療提供機関によって異なるが、急性期病院に勤務する者は、がん化学療法を含むチーム医療に貢献し、ゲノム医療を含めた先進的な化学療法の従事し、臨床研究への参画を期待している。慢性期病院や薬局に所属する者は、緩和医療や終末期医療をはじめ、がん患者へのケアを地域で牽引するようにする。実務実習指導薬剤師となり、次世代の人材養成にも貢献する。</p>						
<p>受入開始時期</p>	<p>平成29年10月</p>						
<p>受入目標人数</p>	<p>対象者</p>	<p>H29年度</p>	<p>H30年度</p>	<p>H31年度</p>	<p>H32年度</p>	<p>H33年度</p>	<p>計</p>
	<p>病院・薬局薬剤師及び薬系大学 教員</p>	<p>1</p>	<p>2</p>	<p>2</p>	<p>2</p>	<p>2</p>	<p>9</p>
	<p>計</p>	<p>1</p>	<p>2</p>	<p>2</p>	<p>2</p>	<p>2</p>	<p>9</p>

教育プログラム・コースの概要

大学名等	富山大学大学院医学医学薬学研究部（博士前期課程）医学領域看護学専攻成人看護学分野						
教育プログラム・コース名	在宅がん緩和リハビリテーションコース（インテンシブ）						
対象者	看護師						
修業年限（期間）	1年						
養成すべき人材像	がん患者のQOLの向上を目指して、小児、AYA世代、壮年、高齢者といった各ライフステージの個人、家族、及び集団に対して、総合的な判断能力と問題解決力さらに倫理に関する解決能力を養い、全人的緩和医療が行える看護師。						
修了要件・履修方法	<修了要件>在宅がん緩和リハビリテーション事例演習（1単位）及び「公開講座」又は「実技演習」（1単位）を修得すること。 <履修方法>授業は、TV会議システムにより行う。						
履修科目等	<必修科目>在宅がん緩和リハビリテーション事例演習（1単位） <選択科目>「公開講座」又は「実技演習」（1単位）						
教育内容の特色等（新規性・独創性等）	北陸3県におけるTV会議システムや富山がん事例検討会にて、緩和ケア・がんリハビリ、在宅療法、化学療法中患者等の困難事例について意見交換・演習を通して、在宅医療における患者・家族のQOL向上・症状コントロールを図るための知識・技術を得る点に特色がある。						
指導体制	北陸3県のがん看護専門看護師を中心に、医師、薬剤師、理学療法士、作業療法士、ソーシャルワーカーなどそれぞれの立場から意見交換や講義演習を実施する。						
教育プログラム・コース修了者のキャリアパス構想	本コース修了者にはNPOがんプロフェッショナル認定機構より、「在宅がん緩和リハビリテーション・スペシャリスト」（仮）の認定証を授与する。						
受入開始時期	平成30年4月						
受入目標人数	対象者	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度	計
	看護師		1	2	2	2	7
	計	0	1	2	2	2	7

教育プログラム・コースの概要

大学名等	福井大学大学院医学系研究科統合先進医学専攻						
教育プログラム・コース名	地域がん専門医養成コース						
対象者	医学系研究科統合先進医学専攻先端応用医学コース腫瘍医学部門の大学院学生						
修業年限（期間）	4年						
養成すべき人材像	がん医療に携わる専門的な知識及び技能に加えて、本学の特色を活かしたPET、MRIの機能画像診断を用いた臨床研究に卓越した医師やその他の医療従事者の養成						
修了要件・履修方法	<p><修了要件> 共通科目18単位、腫瘍医学部門の科目6単位以上、分野専門科目6単位以上を含む30単位以上を取得し、研究論文が学位審査に合格すること。なお、腫瘍医学部門の科目においては、腫瘍専門科目（北信がんプロ科目）との読み代えにより、修了要件の単位数に算入する。</p> <p><履修方法> e-learning教材、TV会議によるセミナー、演習等で履修する。</p>						
履修科目等	<p><共通科目> 医科学基礎総論（4単位）、実験基礎演習（2単位）ほか2科目 <選択科目> 臨床腫瘍学特論（4単位）、臨床腫瘍学演習Ⅰ（2単位）、臨床腫瘍学演習Ⅱ（4単位）、機能画像医学特論Ⅱ（2単位）、機能画像医学演習（4単位）、新設する北信がんプロ科目（5科目：各1単位） 全国規模のe-learning科目〔がんゲノム科目（1単位）、小児・AYAがん科目（1単位）、希少がん科目（1単位）、ライフステージ科目（1単位）〕</p>						
教育内容の特色等（新規性・独創性等）	従来の統合先進医学専攻 先端応用医学コース 腫瘍医学部門の科目及び北信がんプロ養成プログラムの科目を履修すると共に本学医科学コースの機能画像医学部門（高エネルギー医学研究センター担当）の科目を履修することにより、画像診断能力の知識を修得する。						
指導体制	福井大学腫瘍病態治療学講座及び福井大学の教職員が対応する。						
教育プログラム・コース修了者のキャリアパス構想	研修の修了者は、医師では施設の緩和ケアチーム医師、緩和ケア病棟医師、地域緩和ケアチームのリーダーとしての活躍が期待できる。また、日本緩和医療学会の専門医を目指す為の教育を提供できる。医師以外のスタッフでは、地域緩和ケアチームのスタッフとして期待される。						
受入開始時期	平成30年4月						
受入目標人数	対象者	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度	計
	大学院学生		2	2	2	2	8
	計	0	2	2	2	2	8

教育プログラム・コースの概要

大学名等	福井大学医学部附属病院						
教育プログラム・コース名	在宅栄養管理コース（インテンシブ）						
対象者	一般医師、歯科医師、後期研修医、在宅医療に関わる看護師、薬剤師、管理栄養士、言語聴覚士、理学療法士、運動療法士、その他の医療スタッフ						
修業年限（期間）	1年						
養成すべき人材像	栄養学は全ての医療の基本であり、在宅医療にあっても欠かせない医療技術である。終末期がん患者や、脳血管障害その他の慢性疾患で在宅医療を行う場合にも地域の医療資源として在宅栄養管理を安全かつ有効に行うことができる医療者を養成する必要がある。在宅医療においても、経口摂取の維持、経管栄養、静脈栄養など患者の状態に最も適した栄養法を安全に行う事が求められる。そのためには在宅栄養パスの効率的な利用も必要である。この研修は、日本静脈経腸栄養学会NST専門療法師資格取得にも繋がる。						
修了要件・履修方法	<p><修了要件>必修科目（e-learning）3単位を履修し、試験に合格すること。日本静脈経腸栄養学会認定教育施設にて20時間以上の研修又は以下の研修を持ってこれに代えることができる。医師にあっては、日本静脈経腸栄養学会の開催するTNT研修会または医師セミナーを受講。医師以外のスタッフは、日本静脈経腸栄養学会の開催するNST専門療法師資格セミナーを受講。</p> <p><履修方法>e-learning教材、TV会議によるセミナー、演習等で履修する。</p>						
履修科目等	<p><必修科目>臨床栄養、在宅緩和ケア、在宅栄養（各1単位）</p> <p><選択科目>以下のいずれかを演習として履修する。NST実習（20時間）</p> <p>医師：日本静脈経腸栄養学会の開催するTNT研修会または医師セミナーを受講。</p> <p>医師以外のスタッフ：日本静脈経腸栄養学会の開催するNST専門療法師セミナーを受講。</p>						
教育内容の特色等（新規性・独創性等）	在宅緩和医療を推進する上で最も重要な技術は栄養管理である。がんにかかわらず全ての慢性疾患で終末期のQOLを高く維持するためには一定以上の技術の習得を要する。拠点病院と在宅のスタッフがこのインテンシブコースを履修することで、在宅栄養管理パスが機能し、シームレスな在宅移行が可能となる。また、地域の各職種の栄養管理技術がレベルアップすることで、安全かつ満足度の高い在宅医療が実現できる。						
指導体制	福井大学医学部附属病院をはじめ、各大学病院の栄養サポートチームが中心となる。日本静脈経腸栄養学会認定教育施設の研修サポートを受ける事ができる。日本静脈経腸栄養学会北陸支部会、TNT委員会もサポートする。						
教育プログラム・コース修了者のキャリアパス構想	コース修了者は、医師ではNSTのチェアマン、地域NSTの指導者として期待される。医師以外のスタッフは、日本静脈経腸栄養学会認定NST専門療法師資格の取得をめざすことができる。						
受入開始時期	平成29年10月						
受入目標人数	対象者	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度	計
	医師		2	2	2	2	8
	医師以外		10	20	20	20	70
	計	0	12	22	22	22	78

教育プログラム・コースの概要

大学名等	福井大学医学部附属病院						
教育プログラム・コース名	在宅緩和医療コース（インテンシブ）						
対象者	一般医師、歯科医師、後期研修医、在宅医療に関わる看護師、薬剤師、管理栄養士、言語聴覚士、理学療法士、運動療法士、その他の医療スタッフ						
修業年限（期間）	1年						
養成すべき人材像	緩和は全ての医療の目的であり、特に在宅医療にあっても欠かせない医療技術である。終末期がん患者や慢性疾患の終末期を在宅で療養する場合にも地域の医療資源として緩和医療を安全かつ有効に行うことができる医療者を養成する。在宅医、訪問看護師、訪問薬剤師又は地域の調剤薬剤師、その他地域の医療者が対象となる。						
修了要件・履修方法	<p><修了要件>必修科目（e-learning）4単位を履修し、試験に合格すること。がんプロキヤンサーボードにおける緩和ケア症例検討会に2回以上参加すること。又は国の定める緩和ケア研修会の受講をこれにあてることができる。</p> <p><履修方法>e-learning教材、TV会議によるセミナー、演習等で履修する。</p>						
履修科目等	<p><必修科目> 緩和医療（1単位）、在宅緩和ケア（1単位）、栄養、在宅栄養（1単位）</p> <p><選択科目> がんプロキヤンサーボードにおける緩和ケア症例検討会に2回以上参加する。又は国の定める緩和ケア研修会の受講。</p>						
教育内容の特色等（新規性・独創性等）	北陸地域で用いられている在宅緩和医療パスを用いて、病院から在宅へのシームレスな連携を行うための医療者を養成する。在宅栄養にも重点をおく。						
指導体制	北陸信州の大学緩和ケアチームと緩和医療学会専門医、認定医、暫定指導医が中心に教育を行う。緩和医療学会緩和ケア研修会が研修をサポートする。						
教育プログラム・コース修了者のキャリアパス構想	コース修了者は、医師では施設の緩和ケアチーム医師、緩和ケア病棟医師、地域緩和ケアチームのリーダーとしての活躍が期待できる。また、日本緩和医療学会の専門医を目指す為の教育を提供できる。医師以外のスタッフでは、地域緩和ケアチームのスタッフとして期待される。						
受入開始時期	平成29年10月						
受入目標人数	対象者	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度	計
	医師		4	4	4	4	16
	医師以外のスタッフ		20	20	20	20	80
	計	0	24	24	24	24	96

教育プログラム・コースの概要

大学名等	金沢医科大学大学院医学研究科生命医科学専攻						
教育プログラム・コース名	がんプロフェッショナルがん専門医リーダー養成コース						
対象者	医学研究科生命医科学専攻大学院学生						
修業年限（期間）	4年						
養成すべき人材像	希少がんを含むがん患者を臓器横断的に診療できる専門家の養成を目指し、がん患者の思いに寄り添い、最新のエビデンスと情報を集めると同時に、患者・家族の希望を叶えられるように努力できる、がん専門医師を養成する。						
修了要件・履修方法	<p><修了要件>博士課程に4年以上在学し、所定の単位数以上を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上、学位論文の審査に合格することで博士（医学）を授与する。専門医養成コースの授業科目のうち必修科目12単位を含む15単位を修得したのものには北陸がんプロフェッショナル認定医の申請資格を授与する。</p> <p><履修方法>e-learning教材、TV会議によるセミナー、演習等で履修する。</p>						
履修科目等	<p><必修科目>腫瘍薬物学特論（1単位）、腫瘍放射線医学特論（1単位）、がん緩和医療学特論（1単位）ほか9科目</p> <p><選択科目>分子腫瘍学特論、臨床統計学特論、臨床栄養学特論、臨床統計学演習、分子生物学入門 がんゲノム学特論、在宅緩和ケア特論、老年医療学特論、がんライフステージ演習、北信がんプロ科目（5科目）（各1単位）</p> <p>全国規模のe-learning科目〔がんゲノム科目（1単位）、小児・AYAがん科目（1単位）、希少がん科目（1単位）、ライフステージ科目（1単位）〕</p>						
教育内容の特色等（新規性・独創性等）	金沢医科大学再生医療センターにおける希少がん等対象の免疫療法・再生医療、金沢医科大学病院集学的医療部遺伝子医療センターにおける遺伝カウンセリングにおける独自の教育内容を有する。また金沢医科大大学院医学研究科腫瘍内科学/金沢医科大学病院腫瘍内科では肉腫・神経内分泌腫瘍・原発不明癌などの臓器横断的分野の診療・教育・研究を行っている。						
指導体制	腫瘍内科学：元雄 良治、安本和生、再生医療学：下平 滋隆、先進呼吸器外科学：浦本 秀隆、消化器外科治療学：小坂 健夫、遺伝子医療センター：新井田 要、をはじめとする本施設の教育スタッフが指導を行う。						
教育プログラム・コース修了者のキャリアパス構想	本教育コースの修了者は、各専門分野の専門医・認定医等の資格を取得し、その後は地域を問わず広く教育職・研究職・第一線の診療医として活躍できる。						
受入開始時期	平成30年4月						
受入目標人数	対象者	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度	計
	医師		2	2	2	2	8
	計	0	2	2	2	2	8

教育プログラム・コースの概要

大学名等	金沢医科大学大学院医学研究科生命医科学専攻						
教育プログラム・コース名	がん集学的治療医養成コース（インテンシブ）						
対象者	地域でがん診療に携わる医師						
修業年限（期間）	1年（延長可）						
養成すべき人材像	富山県西部能登南部連合地域および能登北部地区を重点にがん診療に携わる医師を対象として、希少がんや小児がんを含む様々ながんの集学的治療などに造詣の深い医師を養成する。						
修了要件・履修方法	<p><修了要件>北信がんプロフェッショナル授業科目3単位以上の修得及びカンサーボードへの出席又は多職種連携セミナーへの参加。</p> <p><履修方法>全国規模のe-learning教材及び本事業が開催するがんゲノムシンポジウムにおける講義教材を利用して自己学習を行うのみならず、TV会議システムを利用したカンサーボード又は多職種連携セミナーへの参加による学修を行う。</p>						
履修科目等	<p><選択科目>がんゲノム学特論（1単位）、小児・AYA世代・希少がん特論（1単位）、在宅緩和ケア特論（1単位）、老年医療学特論（1単位）、北信オンコロジーセミナー（1単位）、がんライフステージ演習（1単位）</p>						
教育内容の特色等（新規性・独創性等）	当施設が実地医療を担当している地域のがん診療に携わる医師を対象として、希少がんや小児がんを含む様々ながんの集学的治療の教育機会を提供する点に新規性がある。						
指導体制	大学及び連携機関に所属するがん集学的治療のエキスパートであるスタッフが、様々ながん種に対する集学的治療を行うために必要なスキルをe-learning又はシンポジウムで講義する（e-learningやシンポジウム参加、TV会議で受講）。						
教育プログラム・コース修了者のキャリアパス構想	本コースで養成された医師は、多職種と連携できるがん集学的治療のリーダーとして、地域基幹病院におけるがん医療に貢献する。						
受入開始時期	平成29年10月						
受入目標人数	対象者	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度	計
	地域医療機関の医師	1	2	2	2	2	9
	計	1	2	2	2	2	9

教育プログラム・コースの概要

大学名等	石川県立看護大学大学院看護学研究科（博士前期課程）看護学専攻実践看護学領域成人看護学分野						
教育プログラム・コース名	がんライフステージコース						
対象者	看護専門看護師コース大学院学生						
修業年限（期間）	2年						
養成すべき人材像	がん患者のQOLの向上を目的として、小児、AYA世代、壮年、高齢者といった各ライフステージにおける痛みに関する知識・技術を駆使して、対象の治療・療養・生活過程の全般を統合・管理し、卓越した看護ケアを提供できる看護師。さらに、総合的な判断能力と組織的な問題解決力を持ち、専門領域における新しい課題に挑戦し、現場のみならず、教育や政策の課題にも反映できる開発的役割がとれる変革推進者として機能できる看護師。						
修了要件・履修方法	共通科目と各専門看護分野の専門科目から38単位の他に「がんライフステージ演習」を履修すること。「がんライフステージ演習」は、各大学のTV会議システムからの参加でも可能とする。						
履修科目等	<必修科目>看護科学論（2単位）、看護研究（2単位）、フィジカルアセスメント（2単位）、病態生理学（2単位）、臨床薬理学（2単位）、特別研究（6単位）、成人看護学特論（2単位）、がん看護援助論（2単位）、がん病態治療学特論（2単位）、緩和ケア演習Ⅰ（2単位）、がん看護学演習Ⅰ（2単位）、ほか6科目 <選択科目> コンサルテーション論（2単位）、ケアと哲学（2単位）、がんゲノム学特論（1単位）、在宅緩和ケア特論（1単位）、老年医療学特論（1単位）、がんライフステージ演習（1単位）、ほか5科目 全国規模のe-learning科目〔がんゲノム科目（1単位）、小児・AYAがん科目（1単位）、希少がん科目（1単位）、ライフステージ科目（1単位）〕						
教育内容の特色等（新規性・独創性等）	本コースでの「がんライフステージ演習」は、テレビ会議システム等を活用し、がん看護専門看護師養成コースを有する大学（石川県立看護大学、富山大学、福井大学）が提携し、単位互換を可能とする。従来の教育とは異なり、各大学の教授陣の専門を学ぶことが出来る。講師として、がん看護、小児看護、老年看護、リエゾン看護の専門看護師を採用することで、それぞれの専門性の視点から、各ライフステージにおけるがん看護について理解を深めることができる。						
指導体制	北信越におけるがん看護専門看護師、小児看護専門看護師、老人看護専門看護師、精神看護専門看護師を講師に迎え、講義や演習を通してライフステージにおけるがん看護の特徴と支援の在り方を教授する。						
教育プログラム・コース修了者のキャリアパス構想	本コース修了には北信がんプロNPO機構より「がんライフステージ・スペシャリスト」の認定を授与する。また、本コース修了生は、北信がんプロのインテンシブコース等で講義、演習を行い、さらに自身のキャリアアップを行う。						
受入開始時期	平成30年4月						
受入目標人数	対象者	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度	計
	看護師		2	2	2	2	8
	計	0	2	2	2	2	8

教育プログラム・コースの概要

大学名等	石川県立看護大学大学院看護学研究科（博士前期課程）看護学専攻実践看護学領域成人看護学分野						
教育プログラム・コース名	がんライフケアコース（インテンシブ）						
対象者	看護師、薬剤師、医師、理学・作業療法士、ソーシャルワーカー等						
修業年限（期間）	6月～1年						
養成すべき人材像	これまでのがん看護経験又はすでに取得している専門看護師が、がん看護、小児看護、老年看護のそれぞれの専門性を活かし、全人的痛みに関する事例やミニレクチャーを通して、小児、AYA世代、壮年、高齢者といった各ライフステージにおける全人的痛みに関する生活過程の全般を統合・管理し、卓越した看護ケアを提供できる看護師を養成する。						
修了要件・履修方法	＜修了要件＞がんライフステージ演習1単位以上の修得及び公開講演への参加。 ＜履修方法＞TV会議によるセミナー、演習等で履修する。						
履修科目等	＜必修科目＞がんライフステージ演習（1単位）、公開講演への参加。						
教育内容の特色等（新規性・独創性等）	北陸3県においてTV会議システムやWeb会議システムを利用して、各専門看護師や薬剤師、医師で、緩和ケア、がんリハビリ、化学療法中の患者への疼痛ケア事例について意見を交換をおこない、各対象に応じた緩和ケアの知識・技術を得ることができる。						
指導体制	北陸3県のがん看護専門看護師と薬学部の学生、薬剤師を中心に、小児専門看護師、老人看護専門看護師、薬剤師、医師、理学療法士がそれぞれの専門的立場からテレビ会議システムを通して、事例検討する。それぞれの専門を互いに共有することで、小児、AYA世代、老年期の特徴を理解すると共に患者の全人的理解とそのケアについて検討していく。がん患者の会などとも連携を取り、事例検討のうち1-2回は、患者会にも参加していただく。						
教育プログラム・コース修了者のキャリアパス構想	本コース修了者は、地域基幹病院のみならず、僻地におけるがん医療に貢献する。また、この経験を生かし、看護師、学部生（看護、薬学、医学）への関わりの中で、次世代のがん医療従事者の育成に関わる。						
受入開始時期	平成29年10月						
受入目標人数	対象者	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度	計
	看護師	1	3	3	3	3	13
	看護師以外の多職種	1	2	2	2	2	9
	計	2	5	5	5	5	22

事業の実施体制（担当者一覧）

	氏名	所属(研究科・専攻等)・職名	事業における役割
	(事業責任者)		
1	矢野 聖二	金沢大学大学院医薬保健学総合研究科医学専攻教授、がん進展制御研究所教授	事業推進統括コーディネーター、北信がんプロ運営協議会会長、総務委員会
2	山崎 光悦	金沢大学学長	学長連絡協議会会長
3	吉崎 智一	金沢大学大学院医薬保健学総合研究科医学専攻教授、附属病院研修医・専門医総合教育センター長	広報委員会委員長
4	絹谷 清剛	金沢大学大学院医薬保健学総合研究科医学専攻教授、附属病院核医学診療科長	プログラム間連携担当
5	中田 光俊	金沢大学大学院医薬保健学総合研究科医学専攻教授、附属病院脳神経外科診療科長	がんセンターハウス委員会委員長
6	溝上 敦	金沢大学大学院医薬保健学総合研究科医学専攻教授、附属病院泌尿器科診療科長	教務委員会委員長
7	大島 正伸	金沢大学がん進展制御研究所教授	広報委員会委員長
8	村山 敏典	金沢大学大学院医薬保健学総合研究科医学専攻教授、附属病院臨床開発部長	北信地域がんセンターハウス担当 (コアメンバー)
9	土屋 弘行	金沢大学医薬保健研究域医学系教授、附属病院整形外科主任教授	北信地域がんセンターハウス担当 (コアメンバー)
10	衣斐 寛倫	金沢大学大学院医薬保健学総合研究科医学専攻准教授、がん進展制御研究所准教授	北信地域がんセンターハウス担当 (コアメンバー)
11	堀 修	金沢大学大学院医薬保健学総合研究科医学専攻教授、大学院医薬保健学総合研究科長	医学系内の調整
12	原田 憲一	金沢大学大学院医薬保健学総合研究科医学専攻教授	教育カリキュラム開発・編成担当
13	蒲田 敏文	金沢大学大学院医薬保健学総合研究科医学専攻教授、附属病院病院長	実習総括
14	谷本 梓	金沢大学大学院医薬保健学総合研究科医学専攻助教、がん進展制御研究所助教	実習コーディネーター担当（医学総括）
15	稲垣 美智子	金沢大学大学院医薬保健学総合研究科保健学専攻教授、大学院医薬保健学総合研究科保健学専攻長	北信がんプロ運営協議会委員、保健学系内の調整
16	武村 哲治	金沢大学大学院医薬保健学総合研究科保健学専攻教授	保健学系内の調整
17	松下 良	金沢大学大学院医薬保健学総合研究科薬学専攻教授	北信がんプロ運営協議会

18	菅 幸生	金沢大学大学院医薬保健学総合研究科薬学専攻助教	教育カリキュラム開発・編成担当
19	松永 司	金沢大学大学院医薬保健学総合研究科創薬科学専攻教授	薬学系内の調整
20	国嶋 崇隆	金沢大学大学院医薬保健学総合研究科創薬科学専攻教授、大学院医薬保健学総合研究科創薬科学専攻長	薬学系内の調整
21	玉井 郁巳	金沢大学大学院医薬保健学総合研究科薬学専攻教授、大学院医薬保健学総合研究科薬学専攻長	薬学専攻内の調整
22	濱田 州博	信州大学長	事業総括・学長連絡協議会委員
23	田中 栄司	信州大学学術研究院医学系教授、大学院医学系研究科長	事業総括
24	小泉 知展	信州大学学術研究院医学系教授（包括的がん治療学教室）	事業推進プロジェクトリーダー、事業推進委員会委員長、教育プログラム責任者
25	中沢 洋三	信州大学学術研究院医学系教授（小児科学教室）	教育カリキュラム開発・編成担当
26	伊藤 研一	信州大学学術研究院医学系教授（外科学第二教室）	事業推進委員会委員
27	塩沢 丹里	信州大学学術研究院医学系教授（産婦人科教室）	事業推進委員会委員
28	古庄 知己	信州大学学術研究院医学系准教授（遺伝子医療研究センター）	事業推進委員会委員
29	本田 孝行	信州大学学術研究院医学系教授、医学部附属病院長	事業推進委員会委員
30	遠藤 俊郎	富山大学長	事業総括
31	齋藤 滋	富山大学附属病院長	事業推進プロジェクトリーダー
32	林 龍二	富山大学附属病院臨床腫瘍部教授	教育カリキュラム開発・編成担当（総括）
33	長田 拓哉	富山大学附属病院集学的がん診療センター人材育成部門長	広報戦略担当
34	北村 寛	富山大学大学院医学薬学研究部泌尿器科教授	教育カリキュラム開発・編成担当
35	関根 道和	富山大学大学院医学薬学研究部疫学・健康政策学教授	教育カリキュラム開発・編成担当
36	梶浦 新也	富山大学附属病院集学的がん診療センター緩和ケア部門長	実習コーディネーター担当（総括）
37	牧野 輝彦	富山大学大学院医学薬学研究部皮膚科准教授	実習コーディネーター担当
38	新田 淳美	富山大学大学院医学薬学研究部・薬物治療学研究室教授	富山地域での薬学関連事業の総括、金沢大学や他大学病院との連携担当
39	藤 秀人	富山大学大学院医学薬学研究部・医療薬学研究室教授	地域医療に対する実習・演習担当
40	櫻井 宏明	富山大学大学院医学薬学研究部・がん細胞生物学教授	ゲノム医療に関する講義実施の総括
41	眞弓 光文	福井大学長	事業総括・学長連絡協議会委員
42	片山 寛次	福井大学大学院医学領域附属病院部がん診療推進センター長	総務委員会委員、教務委員会委員、広報・ICT委員会委員、キャンサースポーツ運営委員会委員

43	谷澤 昭彦	福井大学大学院医学領域 がん専門医育成推進講座教授	総務委員会委員、カンサポード運営委員会委員、備品調達委員会委員
44	上野 栄一	福井大学大学院看護学領域 基礎看護学分野教授	広報・ICT委員会委員、看護保健系会議委員
45	磯見 智恵	福井大学大学院看護学領域成人・老年看護分野教授	総務委員会委員、教務委員会委員
46	小林 基弘	福井大学大学院医学領域腫瘍 病理学分野教授	教務委員会委員
47	山下 芳範	福井大学大学院医学領域附属 病院部医療情報部准教授	備品調達委員会委員
48	繁田 里美	福井大学大学院看護学領域成人・老年看護分野准教授	看護保健系会議委員
49	神田 享勉	金沢医科大学学長	事業総括・学長連絡協議会委員
50	元雄 良治	金沢医科大学腫瘍内科学教授	金沢医科大学コーディネータ、教育カリキュラム開発・編成担当
51	安本 和生	金沢医科大学腫瘍内科学教授	教育カリキュラム開発・編成担当
52	下平 滋隆	金沢医科大学再生医療学教授	教育カリキュラム開発・編成担当
53	浦本 秀隆	金沢医科大学呼吸器外科学教授	教育カリキュラム開発・編成担当
54	小坂 健夫	金沢医科大学消化器外科学教授	教育カリキュラム開発・編成担当
55	新井田 要	金沢医科大学総合医学研究所 准教授	教育カリキュラム開発・編成担当
56	石垣 和子	石川県立看護大学（看護学・ 地域看護）学長	事業総括・学長連絡協議会委員
57	牧野 智恵	石川県立看護大学（看護学研究科・がん看護）研究科長	事業推進プロジェクトリーダー、事業推進委員会委員長、教育プログラム責任者
58	川島 和代	石川県立看護大学（看護学研究科・老年看護）教授	がん看護教育カリキュラム開発
59	西村 真実子	石川県立看護大学（看護学研究科・小児看護）教授	がん看護教育カリキュラム開発
60	岩城 直子	石川県立看護大学（看護学研究科・がん看護）准教授	事業推進委員

申請資格の適合状況

以下に記載の i) から vii) の各指標について、該当する場合は<該当する>欄に○を、該当しない場合は<該当しない>欄に○を記入してください。

	該当する	該当しない
(組織運営関係)		
i) 学生募集停止中の大学	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
ii) 学校教育法第109条の規定に基づき文部科学大臣の認証を受けた者による直近の評価の結果、「不適合」の判定を受けている大学	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
iii) 「私立大学等経常費補助金」において、定員の充足状況に係る基準以外の事由により、前年度に不交付又は減額の措置を受けた大学	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
iv) 平成28年度に実施した再推費の事後評価の結果において、「事業目的が達成できなかった」と評価された大学（対象プログラムは別紙1のとおり。）	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
v) 申請時点において、再推費のプログラムの中間評価で、「中止することが必要」と評価された大学（対象プログラムは別紙1のとおり。）	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
(設置関係)		
vi) 設置計画履行状況等調査において、「警告」が付されている大学	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
vii) 大学、大学院、短期大学及び高等専門学校を設置等に係る認可の基準（平成15年文部科学省告示第45号）第1条第3号の要件を満たしていない大学又は第2条第1号若しくは第2号のいずれかに該当する者が設置する大学	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>

上記の回答について、間違いありません。

事業責任者職名・氏名 金沢大学がん進展制御研究所教授 矢野 聖二

申請の基礎となる教育改革の取組状況

設置計画履行状況等調査への対応状況

【指標への対応状況】対応済又は未対応に○。未対応の場合は対応予定時期を記入。

対応済	○	未対応		(全学での対応完了時期)
-----	---	-----	--	--------------

【実施計画】

--

多様な新ニーズに対応する「がん専門医療人材（がんプロフェッショナル）」養成プラン
取組の概要と推進委員会からのコメント

整理番号

5

申請担当大学 (連携大学)	金沢大学(計6大学) (信州大学、富山大学、福井大学、金沢医科大学、石川県立看護大学)
プログラム名	超少子高齢化地域での先進的がん医療人養成
事業推進責任者	矢野 聖二(金沢大学がん進展制御研究所腫瘍内科学教授)
取組の概要	
<p>本事業は、県の枠を超えた北信地域での戦略的がん医療人育成システム構築を目指す。6大学の強みを生かした最先端がんゲノム医療、小児・AYA世代・希少がんの集学的治療、ライフステージに応じたケアを大学の枠を超えて学習できる、共通科目や単位互換を導入した相互補完的教育コース(本科10、インテンシブ9)を新設する。2期がんプロで構築したTV会議システムを発展させた北信オンコロジーセミナー等を定期開催し、遠隔教育により多施設・多職種連携を推進する。さらに免疫チェックポイント阻害薬使用例など特色ある症例の北信地域がんデータベースを構築し、学会・論文発表に使用して専攻生や教員の意欲を高めると共に、地域がん対策に活用し成果を社会に還元する。これらの活動により、患者中心のチーム医療を行う超少子高齢化地域で活躍できる先進的がん医療人を輩出し、将来の日本の超少子高齢化社会におけるがん医療人材育成モデルを確立する。</p>	
<p>推進委員会からのコメント ○：優れた点等、●：改善を要する点等</p>	
<p>○北信地域は超少子高齢化地域であり、本地域でのがん医療の進め方は、今後、他地域や都市圏でのがん医療のモデルとして評価できる。</p> <p>○各大学の役割分担に具体性があり、かつ連携のメリットが明示されている点が評価できる。</p> <p>○相互補完的教育プログラムの追加と導入は、本事業活性化の点で評価できる。</p> <p>○地区医師会や患者会を含めた運営協議会を設置し、意思決定や運営を行うこと点は先進的な取組であり評価できる。</p> <p>●取組継続に関して、各大学の学長のガバナンスにおいて予算確保の継続は評価するが、中長期的戦略も必要であり、公的資金以外にも資金確保の工夫を期待したい。</p> <p>●事業計画の進捗管理・改善や北信地域がんデータベースの構築に関する方法論、実施体制等が提示されていない。</p> <p>●少子高齢化と小児・AYA世代のがん医療についてどのような問題点があり、どのように解決していくのか明確となっていない。</p> <p>●外部評価は隔年施行予定とあるが、アドバイスの、監査的要素も入れて毎年関与されるシステムの構築が望ましい。</p> <p>●北信地域の特徴は記してあるが、遠隔教育システムやデータベースを新たに構築する以外、その特徴に対して、具体的な教育・研究活動が明瞭に示されていない。</p> <p>●各大学の得意な領域を活用する趣旨は評価できるが、他大学の院生がどのような形でその恩恵に与えるのか具体策が不明確である。</p> <p>●人材養成モデルの情報発信の方法が不明確である。単なる教員、院生の研究成果の発表にとどまらないよう考慮する必要がある。</p>	

外部評価結果（委員提出用）

外部評価委員： 松浦成昭

【評価結果】

問題や不十分な点はない。

一部問題や不十分な点がある。

全体的に不十分であるか、一部に重大な問題がある。

[実施状況に関するコメント]

順調な滑り出しの昨年に引き続き、2年目としてがんプロの事業が優れた形で実施されたと高く評価できる。特にがんプロは人材養成事業であるので、すべての大学が各コースに多くの大学院生、受講生を確保した努力には敬意を表するものである。E-ラーニングの内容が質量とも充実したことと、ICTを用いたオンコロジーセミナー、ライフステージ事例検討会で学生に提供する教育環境は素晴らしい。ゲノム医療に必要な人材養成に向けての取組みも的確に行われている。また、学内外向けのセミナー・講演会も活発に開催され、ホームページ更新による情報提供も適切に行われ、全体としてがんプロ事業が高い内容で実施されたと評価できる。

がん医療の現場では多職種連携が必須なので、それぞれの職種が他の職種の専門性も理解し、交流するための取組みを考慮頂きたいと希望する。

次年度は中間評価の年なので、引き続き気を引き締めてがんプロ事業の実施にご尽力頂きたい。

(優れた点)

- ・がんプロ大学院コース、インテンシブコースとも予定人数を確保して教育を行っている点
- ・国がゲノム医療の推進の動きに呼応して、がんゲノム多職種連携入門のインテンシブコースを新設し、多職種の教育を行い、ゲノム医療開始に貢献している点
- ・E-ラーニングの教材をそれぞれの専門家が充実した内容で作成し、全国がんプロ e-ラーニングクラウドに提供した点
- ・各大学が積極的に市民向けの広報活動を行い、多くの参加者を得た点
- ・ライフステージ事例検討会はよく練られた内容で非常に優れた取り組みである
- ・ホームページを更新し、わかりやすい内容を発信していることは評価できる。特にがんプロの入学者確保に向けたアナウンスは優れている。

(改善を要する点)

- ・ E-ラーニングによる自主的な教育が中心なので、大学間・職種間の垣根を払うための取組みとしてオンコロジーセミナー、ライフステージ事例検討会は大変重要と考えられる。オンコロジーセミナーは年4回の開催で、大学院生が学ぶのに量的に十分か検証を頂きたい。また、多職種連携の重要性からオンコロジーセミナーへの医師以外のスタッフの参加、ライフステージ事例検討会への医師の参加をもっと増やすことが望ましい（特に後者）。
- ・ スタッフ研修を活発に行っており意味のあることと評価するが、参加職種に偏りが見られるので、できるだけ多職種が垣根なく交流するような配慮が望ましいと考える。
- ・ どの大学も自身のがんプロホームページを作り、北信がんプロのホームページからリンクを張るようにして頂きたい。

外部評価結果（委員提出用）

外部評価委員： 石岡千加史

【評価結果】
<input type="checkbox"/> 問題や不十分な点はない。 <input checked="" type="checkbox"/> 一部問題や不十分な点がある。 <input type="checkbox"/> 全体的に不十分であるか、一部に重大な問題がある。
[実施状況に関するコメント] 第3期を迎えたがんプロの新しいテーマであるがんゲノム医療、希少がん・難治がん、小児AYA世代のがん～高齢者のがんまでのライフステージに対応出来るがん医療従事者の養成のために、参加各大学が連携して幅広く精力的に活動している点が評価できる。また、これらの新しいテーマの啓発を目的とする市民向けのセミナーを多数開催している点についても評価できる。
(優れた点) 1. インターネット講義への収録について、参加各大学が積極的に取り組んでいる点 2. FDの一貫として、教員を海外の優れた取り組みを参考にしている点 3. 履修者ががん患者のライフステージに対応した医療が行えるようにセミナー等の開催に力を入れている点 4. 市民啓発活動に積極的である点
(改善を要する点) 1. 本科（大学院の修士または博士課程入学者）の学生の本来の専門性（例えば、医師なら消化器外科、呼吸器内科、腫瘍内科、放射線治療科、婦人科など、医師以外のメディカルスタッフについてもその専門職種について）が評価資料から読み取れない。 2. インテンシブコースについても1と同様である。履修者の将来の進路を各大学が客観的に把握できないと、地域での新しいテーマに対応するがん医療は推進できないのではないか。 3. プラン全体では各大学が専門性を補完して多職種への教育が包括されているように考えるが、大学毎に見た場合、特定の職種や専門性に力点が置かれている。地域での医療従事者の就労範囲を考えると県単位（＝大学単位）での包括的な養成が必要ではないか。

外部評価結果（委員提出用）

外部評価委員：眞島 喜幸

【評価結果】

- 問題や不十分な点はない。
- 一部問題や不十分な点がある。
- 全体的に不十分であるか、一部に重大な問題がある。

[実施状況に関するコメント]

総括：北信がんプロ全体「超少子高齢化地域での先進的がん医療人養成」

がんは多職種がうまく連携し、患者中心のチームワークとして本来対応すべき疾患である。しかし、臨床現場において患者や家族が多職種の大勢の方に守られている、チーム医療の恩恵を受けていると感じる機会はあまり多くない。それを打破すべく、北信がんプロによる人材育成と多職種によるオンコロジーケアの実現に向けた計画を着々と進めている点は高く評価できる。さらに、6大学の強みを生かしたがんプロ養成の取り組みをテクノロジーを駆使しつつ、効率的に進めていること、3期がんプロの新科目としてライフサイクルを取り入れた「がんゲノム学特論」、「小児・AYA/希少がん特論」、さらに「老年医療学徳論」が設置された点は高く評価できる。

また、今年度から本格的に始まる「がんゲノム医療」についての準備も、ゲノム検査が受けられなくて「ゲノム難民」になるのではと、患者の不安もこれから高まることが予想されるなか、北信がんプロの6大学中5大学がゲノム連携病院に指定されている点は当該地域にとり心強い点である。また、がんゲノム医療に関連し多職種を対象とした取り組みも着々と進んでいることは高く評価したい。少子高齢化地域社会を念頭においた、今後のさらなるがんゲノム医療関連の活動にも期待したい。

がんプロのプログラムが全般的に順調に進んでいる点、本科生コースの受け入れ人数もすべてのコースで目標値をクリアできた点、さらにインテンシブコースも目標値をクリアし、187%という素晴らしい達成率を実現できた点は高く評価できる。

北信がんプロで育成されたがんプロフェッショナルのこれからの活躍に期待したい。

(優れた点)

- ① 信州大学：多職種を含むチーム医療でがんゲノム医療と認定遺伝カウンセラーの重要性の習得を目指している点は評価できる。また、希少がんのデータベース構築を進めていることはアンメットニーズ解消を目指して活動である点が評価できる。また、ライフステージに応じた終末期在宅医療を進めている点は地域特性にマッチしており、優れている。また、当初はがんゲノム医療のボトルネックと言われてきたエキスパートパネルを岡山大学病院と定期的で開催している点は評価できる。今後、がんゲノム医療エキスパートパネルの課題、その解決策などについて、北信がんプロとしてまとめていただきたい。
- ② 富山大学：スタッフ研修会の企画の良さが光っている。また、小児・AYA・希少がん、さらにライフステージにおける高齢者のがん医療講義の内容もとてもいい。「高齢がん患者対策専門コース」は、がん患者の7割が65歳以上という、まさに高齢者のがん医療に関するガイドライン策定も関連学会において進んできていることを鑑み、今後は多職種による「高齢者がん医療多職種連携入門コース」などのようなコースも検討していただきたい。
- ③ 福井大学：緩和ケアチーム検討会は、7施設から多職種が参加し、PDCAサイクルを回すことでQOL向上を目指し、さらにピアレビューによる施設間調整を進めるという、まさに新風を吹き込む企画は高く評価できる。また、「在宅栄養管理コース」は大変重要なトピックであり、大勢の方が参加している点は高く評価できる。特に高齢者機能評価にインパクトを与える栄養摂取については、患者・家族のライフスタイルに適した指導をこれからも進めていただき、全国のがんプロが学べるサクセスストーリーとなっていきたい。
- ④ 金沢医科大学：「がん腫学的治療医養成コース」は、目標値をクリアしたことは評価できる。北信がんプロのテーマにそったセミナー、市民公開講座などを開催している点は評価できる。また、がん医療にかかわる医師に対するコミュニケーション技術研修会（ロールプレイを含む）は、とても重要なトピックであり高く評価できる。ライフステージ（患者・家族のライフスタイル）にあったがん医療を進める上で、これから始まるがんゲノム医療・遺伝カウンセリング・費用対効果評価など、医師のコミュニケーションスキルは今後ますます重要となるため、このような医師のコミュニケーション研修を北信がんプロ内で広めていただきたい。

⑤ 石川県立看護大学：看護師を対象とした「がんライフステージ」インテンシブコースの「がんライフケア」も参加者目標値をオーバーしていることは高く評価できる。がんゲノム医療に対する取り組みもすでに始めており評価できる。また、ライフステージ事例検討会、高齢者ケアに焦点をあてた講話、リンパ浮腫のケアなど、がんと高齢化社会のニーズをとらえた実践的な内容が多く、企画者の着眼点の良さが目立つ。これからも少子高齢化地域社会のニーズにマッチした北信がんプロを積極的に進めていただきたい。

⑥ 金沢大学：予定した受入人数をすべてクリアしている点は高く評価できる。「がんゲノム多職種連携入門コース」が順調に進んでいる点も高く評価できる。今後、ゲノム検査の導入とともに増大すると思われる現場のニーズに対応するがんプロ教育プログラムについては、受け入れ人数の増加等も考慮いただけるとよい。

また、地域がんデータベースは、年間 35,000 人が登録され、高齢者がん、小児・AYAがん、希少がんなどが解析される予定となっている点は素晴らしい。地域がん DB は北信がんプロに所属する大学グループが研究を進める上でも要となる事業。改正がん対策基本法でも第 3 期がん対策推進基本計画でも「希少がん・難治性がん」の両方が含まれている。いまは全がんの 5 年生存率が 75% に到達したと言われているが、いまだに 5 年生存率 50% にも満たないがん種がある。この難治がん患者こそ予後改善のためにゲノム検査を早い段階で受け、ゲノム医療の恩恵を最初に受けるべきグループである。従って、この難治ながん種に光をあてて臨床研究を進めることは重要なことから、難治性がんをグループとして加え、「希少がん・難治がん」で解析できるよう配慮していただきたい。

(改善を要する点)

・特になし

外部評価結果（委員提出用）

外部評価委員：  碓谷 武志

（自筆にてサインをお願いします）

【評価結果】

- 問題や不十分な点はない。
- 一部問題や不十分な点がある。
- 全体的に不十分であるか、一部に重大な問題がある。

[実施状況に関するコメント]

- ・北信がんプロの活動に参加する6大学が、それぞれの特徴を生かしながら、相互補完的にがん医療人材の育成に積極的に取り組んだと、評価できます。
- ・北信地区は全国に先駆けて超少子高齢化社会が進行しており、この北信がんプロの先進的がん医療人材の養成という取り組みは、社会的に非常に意義深い活動だと思います。

（優れた点）

- ・各大学が作成したe-learningクラウド教材を学生が大学の枠を超えて受講出来るうえ単位互換出来ること。またTV会議システムを利用し、北信オンコロジーセミナーを各大学やがん診療拠点病院間を結んで定期的開催し、地域のハンディを超えて相互補完的に遠隔教育に取り組み、先進的がん治療を学んでいることは評価できます。

北信がんプロのホームページがかなり充実しており、がんに関する情報源として大変有益なので、もっと利用・活用されるようにPRされたいと思います。

（改善を要する点）

- ・この北信がんプロの活動に関わった医療関係者が、どのような恩恵を受けてどんな成果を出したかを、もっとアピールされたいと思います。
- ・今後も引き続き、市民公開講座やホームページを通じて、早期発見、早期治療の大切さの啓蒙に努め、たとえがんに被曝しても早期に社会復帰が出来るようにする支援体制を強化してください。また、日進月歩するがん治療の最新情報などを発信・提供していただきたい。

外部評価結果（総括）

【評価結果】

■問題や不十分な点はない。

□一部問題や不十分な点がある。

□全体的に不十分であるか、一部に重大な問題がある。

[実施状況に関するコメント]

6大学がそれぞれの特徴を活かしながら連携・協力し、人材育成を中心に多様な関連事業に積極的に活動している点は高く評価できる。特に参加大学がすべて、各コースに多くの大学院生、受講生を確保した点、E-ラーニングの内容が質量とも充実した点、ICTを用いたオンコロジーセミナー、ライフステージ事例検討会で学生に良い教育環境を提供している点、ゲノム医療に必要な人材養成に向けての新しい取組み、学内外向けの活発なセミナー・講演会の開催、ホームページ更新による適切な情報提供など、全体としてがんプロ事業が優れた幅広い内容で精力的に実施された点が優れている。さらにレベルアップして全国のがんプロのトップランナーになって頂くことを期待したい。

(優れた点)

- ・がんプロ大学院コース、インテンシブコースとも予定人数を確保して教育を行っている点
- ・医科系5大学がゲノム医療拠点病院に指定された動きに呼応して、がんゲノム多職種連携入門のインテンシブコースを新設し、多職種の教育を行い、ゲノム医療開始に貢献している点
- ・E-ラーニングの教材をそれぞれの専門家が充実した内容で収録し、全国がんプロe-ラーニングクラウドに提供した点
- ・FDの一環として、教員を海外の優れた取組みを学んでいる点
- ・各大学が積極的に市民向けの広報活動を積極的に行い、多くの参加者を得た点
- ・ライフステージ事例検討会はよく練られた内容で非常に優れた取り組みである
- ・ホームページを更新し、内容も充実し、わかりやすい形で整備したことは評価できる。特にがんプロの入学者確保に向けたアナウンスは優れている。また、一般市民向けにもがんに関する情報源として大変有益と評価できる。

(改善を要する点)

- ・大学院コースおよびインテンシブコースの履修生・受講生の専門性やバックグラウンドを十分に把握したうえで、養成された人材が地域での新しいテーマに対応するがん医療が推進できるように考慮して頂きたい（評価資料やプレゼンで示して頂きたい）。
- ・オンコロジーセミナー、ライフステージ事例検討会は大学間連携・多職種連携に重要と考えられ、充実した内容であるが、大学を超えた取組み・多職種の連携を図る教育事業がほかにあまりない点を考えると、もう少し開催数をふやせないか考慮いただき、多職種が参加することによる幅広い議論を望みたい。
- ・各大学がそれぞれ教育内容を分担する形で全体して第3期がんプロのテーマが推進されているのはよく理解できるが、必然的に大学ごとにみると特定の職種や専門性にばらつきがみられることになる。各地域に必要な人材養成の観点から考えると地域単位（大学単位）での後発的な養成も考慮すべきである。
- ・がんプロの活動内容および成果をもっと発信してアピールすることが望ましい。